令和９年度

（２０２７年度）

入学者選抜要項



国立大学法人

秋　田　大　学

AKITA UNIVERSITY

この入学者選抜要項は，秋田大学が実施する令和９年度入学者選抜の概要をまとめたものです。
出願にあたっては，各選抜の学生募集要項で詳細を必ず確認してください。

秋田大学の入試区分等について

秋田大学の入試区分，実施学部は次のとおりです。

〇一般選抜（大学入学共通テストを課す）
①前期日程　実施学部：全学部
②後期日程　実施学部：全学部

〇学校推薦型選抜
①学校推薦型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない）
実施学部：教育文化学部，総合環境理工学部
②学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す）
実施学部：国際資源学部，教育文化学部，医学部医学科

〇総合型選抜
①総合型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない）
実施学部：国際資源学部，教育文化学部，総合環境理工学部，情報データ科学部
②総合型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す）
実施学部：医学部保健学科，情報データ科学部

〇国際バカロレア入試
実施学部：教育文化学部，総合環境理工学部，情報データ科学部

〇私費外国人留学生入試
実施学部：全学部

〇渡日前入学許可制度による私費外国人留学生入試
実施学部：総合環境理工学部

〇外国人留学生特別入試
実施学部：国際資源学部

目　　次

インターネット出願について ― 1
教員免許等の取得を目指す入学志願者のみなさんへ ― 1
出願書類の評価方法について ― 2
令和９年度入学者選抜日程の概要 ― 3

Ⅰ　募集人員 ― 4

Ⅱ　一般選抜
１．出願資格 ― 5
２．選抜関係日程 ― 5
３．一般選抜出願時の注意 ― 6
４．試験場 ― 6
５．入学者選抜方法 ― 6
６．２段階選抜 ― 6
７．令和９年度秋田大学入学者選抜の実施教科・科目等について ― 7
８．大学入学共通テストおよび個別学力検査等の配点 ― 15
９．実技検査の内容 ― 17

Ⅲ　学校推薦型選抜
１．選抜関係日程 ― 19
２．学校推薦型選抜出願時の注意 ― 19
３．推薦の要件，募集人員
［学校推薦型選抜Ⅰ］【教育文化学部，総合環境理工学部】 ― 19
［学校推薦型選抜Ⅱ］【国際資源学部，教育文化学部，医学部】 ― 20
４．選抜方法
［学校推薦型選抜Ⅰ］【教育文化学部，総合環境理工学部】 ― 22
［学校推薦型選抜Ⅱ］【国際資源学部，教育文化学部，医学部】 ― 22
５．大学入学共通テストおよび個別学力検査等の配点
［学校推薦型選抜Ⅰ］【教育文化学部，総合環境理工学部】 ― 26
［学校推薦型選抜Ⅱ］【国際資源学部，教育文化学部，医学部】 ― 26
６．実技検査の内容 ― 27

Ⅳ-１　総合型選抜Ⅰ【国際資源学部】 ― 28
Ⅳ-２　総合型選抜Ⅰ【教育文化学部】 ― 29
Ⅳ-３　総合型選抜Ⅰ（出願資格Ａ）【総合環境理工学部】 ― 30
Ⅳ-４　総合型選抜Ⅰ（出願資格Ｂ）【総合環境理工学部】 ― 31
Ⅳ-５　総合型選抜Ⅰ【情報データ科学部】 ― 32
Ⅳ-６　総合型選抜Ⅱ【医学部保健学科】 ― 33
Ⅳ-７　総合型選抜Ⅱ【情報データ科学部】 ― 36

Ⅴ-１　国際バカロレア入試【教育文化学部】 ― 38
Ⅴ-２　国際バカロレア入試【総合環境理工学部】 ― 39
Ⅴ-３　国際バカロレア入試【情報データ科学部】 ― 40

Ⅵ-１　私費外国人留学生入試 ― 41
Ⅵ-２　渡日前入学許可制度による私費外国人留学生入試【総合環境理工学部】 ― 43
Ⅵ-３　外国人留学生特別入試【国際資源学部】 ― 44

Ⅶ　秋田大学の理念と基本的な目標
全学および各学部等の入学者受入方針（アドミッション・ポリシー） ― 45
国際資源学部 ― 46
教育文化学部 ― 50
医学部 ― 56
総合環境理工学部 ― 61
情報データ科学部 ― 70
国際バカロレア入試 ― 72
私費外国人留学生入試 ― 76
Ⅷ　その他
１．配慮を必要とする入学志願者の事前相談について ― 81
２．令和９年度秋田大学「個別の入学資格審査」について ― 82
３．検定料免除について ― 83
４．一般選抜における入試過去問題の使用について ― 83
５．学生募集要項の公表・請求方法 ― 84
６．大学の案内図 ― 86

インターネット出願について

総合型選抜（Ⅰ，Ⅱ），学校推薦型選抜（Ⅰ，Ⅱ）および一般選抜（ 前期日程，後期日程 ）はインターネット出願となります。冊子での学生募集要項は配付しませんので，公表後（総合型選抜学生募集要項は６月～９月頃（学部により時期が異なる），学校推薦型選抜学生募集要項は９月下旬，一般選抜学生募集要項は１１月下旬公表予定)，本学ホームページからダウンロードしていただくこととなります。

インターネット出願に関する詳細は，各学生募集要項で確認してください。

秋田大学ホームページ　→　入試情報　→　入試の要項

https://www.akita-u.ac.jp/admission/

教員免許等の取得を目指す入学志願者のみなさんへ

心と身体を守るため 2026 年 12 月 25 日から「こども性暴力防止法」が施行されます。これに伴い，教育実習等を行う学生についても，法律施行後は実習を行う前に，法に基づく性犯罪に関する確認が行われる可能性があります。この手続きを通じて特定性犯罪前科が確認された場合は児童等に接する実習を行うことができず，教員免許等の取得要件を満たすことができなくなる場合があります。詳細はこども家庭庁のサイトをご確認ください。

◯こども家庭庁ＨＰ「こども性暴力防止法（学校設置者等及び民間教育保育等事業者による児童対象性暴力等の防止等のための措置に関する法律)」

リンク：https://www.cfa.go.jp/policies/child-safety/efforts/koseibouhou

出願書類の評価方法について

○面接を実施する選抜

出願書類（調査書，推薦書，志願理由書等）を参考資料とします。

○面接を実施しない選抜

調査書を評価し，点数化します。

（高等学校の教員の方へ）

・調査書の記載について

① 調査書様式裏面「７．指導上参考となる諸事項」欄については，簡潔に記載してください。

②「８．備考」欄については，記載を求めません。記載されている場合でも評価の対象としません。

なお，既卒者については，従前の様式による提出でも構いません。

令和9年度入学者選抜日程の概要

一般選抜

区　分	出願期間	試験日	合格者発表	入学手続期間
前期日程	1月25日(月) ～ 2月　3日(水)	2月25日(木)　(全) 2月26日(金) (教※,医医)	3月　7日(日)	3月14日(日) ～ 3月15日(月)
後期日程		3月12日(金)	3月21日(日)	3月26日(金) ～ 3月27日(土)
医学部医学科2段階選抜に係る第1段階選抜結果発表	―	―	2月10日(水)	―

※教育文化学部学校教育課程初等中等教育コースの実技検査受験者のみ

学校推薦型選抜

区　分	出願期間	試験日	合格者発表	入学手続期間
学校推薦型選抜Ⅰ (教, 総)	11月　2日(月) ～ 11月　9日(月)	11月21日(土)	12月　4日(金)	12月10日(木) ～ 12月11日(金)
学校推薦型選抜Ⅱ (国, 教, 医医)	12月　9日(水) ～ 12月15日(火)	1月21日(木)　(医医) 1月22日(金) (国,教,医医)	2月10日(水)	2月16日(火) ～ 2月17日(水)

総合型選抜

区　分	出願期間	試験日	合格者発表	入学手続期間
総合型選抜Ⅰ (国, 総)	9月　4日(金) ～ 9月10日(木)	10月　3日(土)	11月　4日(水)	11月　9日(月) ～ 11月12日(木)
総合型選抜Ⅰ (情)	9月　4日(金) ～ 9月10日(木)	10月10日(土)	11月　4日(水)	11月　9日(月) ～ 11月12日(木)
総合型選抜Ⅰ (教)	11月　2日(月) ～ 11月　9日(月)	11月21日(土)	12月　4日(金)	12月10日(木) ～ 12月11日(金)
総合型選抜Ⅱ (医保)	10月　9日(金) ～ 10月15日(木)	11月28日(土) 11月29日(日)	2月10日(水)	2月16日(火) ～ 2月17日(水)
総合型選抜Ⅱ (情)	12月　9日(水) ～ 12月15日(火)	1月22日(金)	2月10日(水)	2月16日(火) ～ 2月17日(水)

国際バカロレア入試

区　分	出願期間	試験日	合格者発表	入学手続期間
国際バカロレア入試 (教, 総)	9月　4日(金) ～ 9月10日(木)	10月　3日(土)	11月　4日(水)	11月　9日(月) ～ 11月12日(木)
国際バカロレア入試 (情)	9月　4日(金) ～ 9月10日(木)	10月10日(土)	11月　4日(水)	11月　9日(月) ～ 11月12日(木)

私費外国人留学生入試

区　分	出願期間	試験日	合格者発表	入学手続期間
私費外国人 (国, 教, 総, 情)	12月16日(水) ～ 12月18日(金)	1月22日(金)	2月10日(水)	2月16日(火) ～ 2月17日(水)
私費外国人 (医)	1月25日(月) ～ 1月27日(水)	2月25日(木)　(医) 2月26日(金)　(医医)	3月　7日(日)	3月14日(日) ～ 3月15日(月)

渡日前入学許可制度による私費外国人留学生入試

区　分	出願期間	試験日	合格者発表	入学手続期間
渡　日　前 (総)	9月　4日(金) ～ 9月10日(木)	―	11月　4日(水)	11月24日(火) ～ 11月27日(金)

外国人留学生特別入試

区　分	出願期間	試験日	合格者発表	入学手続期間
外国人留学生特別入試 (国)	8月17日(月) ～ 9月18日(金)	11月　5日(木)	11月20日(金)	3月15日(月) ～ 3月22日(月)

全:全学部,　国:国際資源学部,　教:教育文化学部,　医:医学部,　医医:医学部医学科,　医保:医学部保健学科,
総:総合環境理工学部,　情:情報データ科学部

Ⅰ　募集人員

学部・学科・課程 専攻・コース			入学定員	募集人員									
				一般選抜		総合型選抜			学校推薦型選抜		私費外国人留学生入試	渡日前入学許可制度による私費外国人留学生入試	外国人留学生特別入試	国際バカロレア入試
				前期日程	後期日程	Ⅰ 出願資格A	Ⅰ 出願資格B	Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ				
国際資源学部	国際資源学科	資源政策コース	120	18	6	4		－	－	4	6	－	6	－
		資源地球科学コース		20	5	5		－	－	4				
		資源開発環境コース		24	6	6		－	－	6				
	計		120	62	17	15		－	－	14	6		6	
教育文化学部	学校教育課程	初等中等教育コース	110	38	13	－		－	4	20	注5 若干名	－	－	注5 若干名
		特別支援教育コース		7	2	－		－	－	6				
		こども発達コース		8	3	－		－	－	9				
		小　計	110	53	18	－		－	4	35				
	地域文化学科		80	46	8	8		－	－	18				
	計		190	99	26	8		－	4	53				
医学部	医学科		注2 95	注1 45	注2 20	－		－	－	注2 30	注1 若干名	－	－	－
	保健学科	看護学専攻	106	30	5	－		35	－	－	注5 若干名			
		理学療法学専攻		8	2	－		8	－	－				
		作業療法学専攻		8	2	－		8	－	－				
		小　計	106	46	9	－		51	－	－				
	計		201	91	29	－		51	－	30				
総合環境理工学部	応用化学生物学科	生物学コース	100	注3 a 33 b 27	12	注4 13	注4 4	－	注4 3	－	注4 8	注5 若干名	－	注5 若干名
		有機・高分子化学コース												
		応用化学コース												
	環境数物科学科	数理科学・地球環境学コース	90	注3 a 28 b 22	16	4	－	－	3	－	5			
		機能デバイス物理コース				3	2	－	3	－	4			
	社会システム工学科	モビリティコース	125	注3 a 34 b 34	20	5	5	－	2	－	6			
		電気システムコース				2	3	－	2	－	2			
		社会基盤コース				3	3	－	2	－	2			
	計		315	注4 178	注4 48	30	17	－	15	－	27			
情報データ科学部	情報データ科学科		100	注3 a 35 (文系・理系) b 25	10	20		10	－	－	注5 若干名	－	－	注5 若干名
合　計			926	490	130	90		61	19	97	33		6	

注1：医学部医学科の一般選抜前期日程の募集人員には，私費外国人留学生入試の募集人員（若干名）を含みます。
注2：医学部医学科の入学定員については，令和８年度の入学定員を継続するよう申請予定です。
　　詳細については，本要項に挟み込みの「医学部医学科の募集人員について（申請予定）」を参照してください。
注3：ａとｂでは大学入学共通テストと個別学力検査の配点が異なります。配点については15ページを参照してください。
注4：総合環境理工学部一般選抜（前期日程・後期日程）で合格した入学者および総合環境理工学部応用化学生物学科への入学者は，入学した学科内の一つのコースへの配属を２年次後期に決定します。
注5：入学定員には，若干名と記載のある募集人員を含みます。

Ⅱ　一般選抜

１．出願資格

次のいずれかに該当する者
①　高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者および令和９年３月卒業見込みの者
②　通常の課程による12年の学校教育を修了した者および令和９年３月修了見込みの者
③　学校教育法施行規則第150条(第６号を除く。)の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる次のアからカのいずれかに該当する者および令和９年３月31日までにこれに該当する見込みの者
　ア　外国において学校教育における12年の課程を修了した者またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
　イ　文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
　ウ　専修学校の高等課程（修業年限が３年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
　エ　文部科学大臣の指定した者
　オ　高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第１号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第２条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。）で18歳に達したもの
　カ　本学において，個別の入学資格審査により，高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で，18歳に達したもの

　＊　③のカによる出願は，本学において個別の入学資格審査を要するので，82～83ページを参照の上，申請してください。

なお，医学部医学科後期日程の秋田県地域枠に出願する場合は，上記①から③のいずれかの出願資格に加えて，「秋田県内の高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）を卒業した者および令和９年３月卒業見込みの者」で，かつ「入学後は秋田県の修学資金の貸与を受けるとともに，医師免許取得後は，秋田県地域枠医師等キャリア形成プログラムに従って，定められた期間，義務履行することを確約できる者」が出願要件となります。また，出願にあたっては，21ページ「＊【医学部医学科：秋田県地域枠に関する事項】」を必ず確認してください。

※　医学科の後期日程の志願者は，本要項に挟み込みの「医学部医学科の募集人員について（申請予定）」を確認してください。また，詳細は決定次第，本学ホームページでお知らせしますので必ず確認してください。

２．選抜関係日程

	出　願　期　間	試　験　日	合　格　発　表　日	入学手続期間
前　期　日　程	**令和９年１月25日（月）** ～ **令和９年２月３日（水）（必着）**	**令和９年２月25日（木）** 教育文化学部※1および 医学部医学科は **２月25日（木）・26日（金）**	**令和９年３月７日（日）**	**令和９年** **３月14日（日）～** **３月15日（月）（必着）**
後　期　日　程		**令和９年３月12日（金）**	**令和９年３月21日（日）**	**令和９年** **３月26日（金）～** **３月27日（土）（必着）**

※1　教育文化学部の26日（金）は実技検査受験者のみ

３．一般選抜出願時の注意

「前期日程」から一つ，「後期日程」から一つの合計二つの大学・学部に出願できます。したがって，「前期–前期」または「後期–後期」の併願はできません。

本学の「前期日程」と「後期日程」の両方に出願することは，同じ学部・学科・課程・コース等の場合，異なる学部・学科・課程・コース等の場合とも可能です。

４．試験場

国際資源学部	秋田試験場 秋田大学手形キャンパス：秋田市手形学園町１番１号 東京試験場**（前期日程のみ）** タイム２４ビル：東京都江東区青海２‐４‐３２ 名古屋試験場**（前期日程のみ）** 愛知大学名古屋キャンパス：名古屋市中村区平池町４‐６０‐６
教育文化学部	秋田試験場 秋田大学手形キャンパス：秋田市手形学園町１番１号 東京試験場**（前期日程のみ）** タイム２４ビル：東京都江東区青海２‐４‐３２ （学校教育課程初等中等教育コースの志願者で，個別学力検査等において実技検査を選択した者は秋田試験場のみとなります。）
医学部	秋田大学本道キャンパス：秋田市本道一丁目１の１
総合環境理工学部	秋田試験場 秋田大学手形キャンパス：秋田市手形学園町１番１号 東京試験場**（前期日程のみ）** タイム２４ビル：東京都江東区青海２‐４‐３２ 名古屋試験場**（前期日程のみ）** 愛知大学名古屋キャンパス：名古屋市中村区平池町４‐６０‐６
情報データ科学部	秋田試験場 秋田大学手形キャンパス：秋田市手形学園町１番１号 東京試験場**（前期日程のみ）** タイム２４ビル：東京都江東区青海２‐４‐３２ 名古屋試験場**（前期日程のみ）** 愛知大学名古屋キャンパス：名古屋市中村区平池町４‐６０‐６

５．入学者選抜方法

（１）大学入学共通テストの成績，本学が実施する個別学力検査等の成績および調査書の点数を総合して判定します。（調査書の点数化は前期日程のみで，医学部を除く４学部で行います。）

（２）志望する学科，課程，専攻，コースの課す大学入学共通テストの教科・科目および個別学力検査等を，すべて受けなければ合格者としません。

（３）本学では，前年度の大学入学共通テストの成績は利用しません。必ず，令和９年度大学入学共通テストを受験してください。

６．２段階選抜

医学部医学科において，入学志願者が前期日程の募集人員（45名）の５倍，後期日程の一般枠，秋田県地域枠それぞれの募集人員（一般枠20名，秋田県地域枠（未確定））※１の10倍を超えた場合，大学入学共通テストの成績（６教科８科目の素点計。）により第１段階選抜を行うことがあります。実施の有無，合否については，令和９年２月10日（水）にお知らせします。

※１　後期日程の秋田県地域枠については，本要項に挟み込みの「医学部医学科の募集人員について（申請予定）」を参照してください。

７．令和９年度秋田大学入学者選抜の実施教科・科目等について

（１）国際資源学部

【大学入学共通テスト】

教科・科目等					受験を要する教科・科目名																										
					国語	地理歴史				公民			数学			理科								外国語					情報
学部・学科・コース			日程	パターン	国語	地理総合、地理探究	歴史総合、日本史探究	歴史総合、世界史探究	地理総合／歴史総合／公共	公共、倫理	公共、政治・経済	地理総合／歴史総合／公共	数学Ⅰ、数学A	数学Ⅰ	数学Ⅱ、数学B、数学C	物理基礎	化学基礎	生物基礎	地学基礎	物理	化学	生物	地学	英語	ドイツ語	フランス語	中国語	韓国語	情報Ⅰ
国際資源学部	国際資源学科	資源政策コース	前期後期	①	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	◎
					1	2							1		1	(2)								1					1
				②	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
					1	2							1		1					1				1					1
		資源地球科学コース	前期後期	①	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
					1	1							1		1	(2)				1				1					1
				②	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
					1	1							1		1					2				1					1
		資源開発環境コース	前期後期	①	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
					1	1							1		1	(2)				1				1					1
				②	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
					1	1							1		1					2				1					1

◎は必ず受験を要する科目，○は選択して受験を要する科目，×は受験を要しない科目，その下欄の数字は必要科目数を示します。但し理科「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」は科目として１つであり，カッコ内の数字は解答が必要な出題範囲数を示します。

〔国際資源学部における注意事項〕

ア　上記の教科・科目一覧表において，物理基礎，化学基礎，生物基礎，地学基礎は，大学入学共通テストの受験教科・科目上では，それぞれを「出題範囲」と呼び，理科「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」として１科目扱いとなり，この中から必ず２つの出題範囲を選択し受験することになります。

イ　理科で［「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」］と［「物理」，「化学」，「生物」，「地学」から１科目］を選択する場合には，「同一名称を含む科目・出題範囲」を選択することができます。

ウ　大学入学共通テストで１科目を指定しているもののうち，理科の試験時間において「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」，「物理」，「化学」，「生物」，「地学」から２科目を受験した場合は，解答順に，前半に受験した科目を第１解答科目，後半に受験した科目を第２解答科目とし，第１解答科目の得点を合格判定に用います。

エ　地理歴史および公民の「地理総合／歴史総合／公共」を受験する場合は，この中から必ず２つを選択し受験することになります。

オ　地理歴史および公民においては，「公共、倫理」と「公共、政治・経済」の組み合わせを選択することはできません。また，「地理総合／歴史総合／公共」を選択した者は，選択解答したものと同一名称を含む科目の組み合わせを選択することはできません。

カ　大学入学共通テストで１科目を指定しているもののうち，地理歴史・公民の試験時間において２科目受験した場合は，解答順に，前半に受験した科目を第１解答科目，後半に受験した科目を第２解答科目とし，第１解答科目の得点を合格判定に用います。

キ　英語にはリスニングテストを含みます。なお，リスニングの受験を免除された者については，リーディング（100 点満点）の素点を 200 点満点に換算して利用します。

ク　それぞれのパターンのいずれかを満たすように受験してください。複数のパターンを満たす場合は，高得点のパターンを合格判定に用います。

【個別学力検査等】

学部・学科・コース ＼ 日程・教科・科目等			前期日程									後期日程	
			教科							その他	備考	面接	備考
			国語	数学	英語	理科							
						物理	化学	生物	地学				
			※1	※2	※3	※4	※5	※6	※7				
国際資源学部	国際資源学科	資源政策コース	◎	×	◎	×	×	×	×	×		◎	
			1		1							1	
		資源地球科学コース	×	◎	◎	○	○	○	○	×	理科は，物理，化学，生物，地学から1科目選択 数学は，数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ⅲ，数学A，数学B，数学C	◎	
				1	1	1						1	
		資源開発環境コース	×	◎	◎	○	○	○	○	×	理科は，物理，化学，生物，地学から1科目選択 数学は，数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ⅲ，数学A，数学B，数学C	◎	
				1	1	1						1	

◎は必ず受験を要する科目等，○は選択して受験を要する科目等，×は受験を要しない科目等，その下欄の数字は必要科目等数を示します。
※1　現代の国語，言語文化（近代以降の文章。ただし，古文・漢文との融合問題を含むことがあります。）
※2　数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ⅲの出題範囲は，高等学校学習指導要領に記載されている全項目とします。ただし，数学Aは「図形の性質」および「場合の数と確率」，数学Bは「数列」，数学Cは「ベクトル」および「平面上の曲線と複素数平面」を出題範囲とします。
※3　英語コミュニケーションⅠ，Ⅱ，Ⅲ，論理・表現Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ
※4　物理基礎，物理
※5　化学基礎，化学
※6　生物基礎，生物
※7　地学基礎，地学

《英語資格等の活用》

次の（1）から（5）のいずれかの要件を満たしている者は，個別学力検査の「英語」科目を免除し，満点と換算して合否判定します。

（1）　TOEFL　iBT	61点以上
（2）　TOEFL　ITP	500点以上
（3）　TOEIC　L&R	730点以上
（4）　IELTS	6.0以上
（5）　英検	準1級以上

・令和7年（2025年）1月以降に受験したものを対象とします。
・当該スコア等を証明する書類は出願書類と同時に提出する必要があります。
・成績証明書の交付には相当期間を要するため，出願期間に留意の上，早めに準備してください。

（２）教育文化学部

【大学入学共通テスト】

学部・課程・学科等	日程	パターン	教科・科目等	受験を要する教科・科目名																								
				国語	地理歴史				公民			数学			理科								外国語					情報
				国語	地理総合、地理探究	歴史総合、日本史探究	歴史総合、世界史探究	地理総合／歴史総合／公共	公共、倫理	公共、政治・経済	地理総合／歴史総合／公共	数学Ⅰ、数学A	数学Ⅰ	数学Ⅱ、数学B、数学C	物理基礎	化学基礎	生物基礎	地学基礎	物理	化学	生物	地学	英語	ドイツ語	フランス語	中国語	韓国語	情報Ⅰ
教育文化学部 学校教育課程	初等中等教育コース	前期後期	①	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
				1	2							1			(2)			1				1					1
			②	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
				1	2							1						2				1					1
			③	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
				1	1							1		1	(2)			1				1					1
			④	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
				1	1							1		1				2				1					1
			⑤	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	◎
				1	2							1		1	(2)							1					1
			⑥	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
				1	2							1		1				1				1					1
	特別支援教育コース	前期後期	①	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
				1	2							1			(2)			1				1					1
			②	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
				1	2							1						2				1					1
			③	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
				1	1							1		1	(2)			1				1					1
			④	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
				1	1							1		1				2				1					1
			⑤	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	◎
				1	2							1		1	(2)							1					1
			⑥	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
				1	2							1		1				1				1					1
	こども発達コース	前期後期	①	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
				1	2							1			(2)			1				1					1
			②	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
				1	2							1						2				1					1
			③	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
				1	1							1		1	(2)			1				1					1
			④	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
				1	1							1		1				2				1					1
			⑤	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	◎
				1	2							1		1	(2)							1					1
			⑥	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
				1	2							1		1				1				1					1
	地域文化学科	前期後期	①	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
				1	2							1			(2)			1				1					1
			②	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
				1	2							1						2				1					1
			③	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
				1	1							1		1	(2)			1				1					1
			④	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
				1	1							1		1				2				1					1
			⑤	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	◎
				1	2							1		1	(2)							1					1
			⑥	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
				1	2							1		1				1				1					1

◎は必ず受験を要する科目，○は選択して受験を要する科目，×は受験を要しない科目，その下欄の数字は必要科目数を示します。但し理科「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」は科目として１つであり，カッコ内の数字は解答が必要な出題範囲数を示します。

〔教育文化学部における注意事項〕

ア　上記の教科･科目一覧表において，物理基礎，化学基礎，生物基礎，地学基礎は，大学入学共通テストの受験教科･科目上では，それぞれを「出題範囲」と呼び，理科「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」として１科目扱いとなり，この中から必ず２つの出題範囲を選択し受験することになります。

イ　理科で［「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」］と［「物理」，「化学」，「生物」，「地学」から１科目］を選択する場合には，「同一名称を含む科目・出題範囲」を選択することができます。

ウ　大学入学共通テストで１科目を指定しているもののうち，理科の試験時間において「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」，「物理」，「化学」，「生物」，「地学」から２科目を受験した場合は，解答順に，前半に受験した科目を第１解答科目，後半に受験した科目を第２解答科目とし，第１解答科目の得点を合格判定に用います。

エ　地理歴史および公民の「地理総合／歴史総合／公共」を受験する場合は，この中から必ず２つを選択し受験することになります。

オ　地理歴史および公民においては，「公共、倫理」と「公共、政治・経済」の組み合わせを選択することはできません。また，「地理総合／歴史総合／公共」を選択した者は，選択解答したものと同一名称を含む科目の組み合わせを選択することはできません。

カ　大学入学共通テストで１科目を指定しているもののうち，地理歴史・公民の試験時間において２科目受験した場合は，解答順に，前半に受験した科目を第１解答科目，後半に受験した科目を第２解答科目とし，第１解答科目の得点を合格判定に用います。

キ　英語にはリスニングテストを含みます。なお，リスニングの受験を免除された者については，リーディング（100 点満点）の素点を 200 点満点に換算して利用します。

ク　それぞれのパターンのいずれかを満たすように受験してください。複数のパターンを満たす場合は，高得点のパターンを合格判定に用います。

【個別学力検査等】

学部・課程・学科等 ＼ 日程・教科・科目等				前期日程										後期日程				
				教科							実技検査	備考		小論文	記述問題	実技検査	面接	備考
				国語 ※1	数学 ※2	英語 ※3	理科 物理 ※4	理科 化学 ※5	理科 生物 ※6	理科 地学 ※7								
教育文化学部	学校教育課程	初等中等教育コース	①	○	○	○	×	×	×	×	○	国語，数学，英語，理科，実技検査から２教科等を選択（国語と理科の組合せは不可） 理科は，物理，化学，生物，地学から１科目を選択 数学は，数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学A，数学B，数学C 実技検査は，音楽，美術，体育から一つ選択	○	×	○	◎	小論文または実技検査（音楽，美術，体育から一つ選択）と面接
			②	×	○	○	○	○	○	○	○			1			1	
				2														
		特別支援教育コース		○	○	○	×	×	×	×	×	国語，数学，英語から２教科選択 数学は，数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学A，数学B，数学C	◎	×	×	◎	
				2										1			1	
		こども発達コース		○	○	○	×	×	×	×	×	国語，数学，英語から２教科選択 数学は，数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学A，数学B，数学C	×	◎	×	◎	
				2											1		1	
	地域文化学科			○	○	○	×	×	×	×	×	国語，数学，英語から２教科選択 数学は，数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学A，数学B，数学C	◎	×	×	◎	
				2										1			1	

◎は必ず受験を要する科目等，○は選択して受験を要する科目等，×は受験を要しない科目等，その下欄の数字は必要科目等数を示します。
初等中等教育コースの前期日程では○印の科目から２教科等を選択しますが，国語と理科の組み合わせは選択できません。
※１　現代の国語，言語文化（近代以降の文章。ただし，古文・漢文との融合問題を含むことがあります。）
※２　数学Ⅰ，数学Ⅱの出題範囲は，高等学校学習指導要領に記載されている全項目とします。
　　ただし，数学Aは「図形の性質」および「場合の数と確率」，数学Bは「数列」とし，数学Cについては「ベクトル」を出題範囲とします。
※３　英語コミュニケーションⅠ，Ⅱ，Ⅲ，論理・表現Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ
※４　物理基礎，物理
※５　化学基礎，化学
※６　生物基礎，生物
※７　地学基礎，地学

（３）医学部

【大学入学共通テスト】

学部・学科・専攻	日程	パターン	教科・科目等	受験を要する教科・科目名																								
				国語	地理歴史				公民			数学			理科								外国語					情報
				国語	地理総合、地理探究	歴史総合、日本史探究	歴史総合、世界史探究	地理総合／歴史総合／公共	公共、倫理	公共、政治・経済	地理総合／歴史総合／公共	数学Ⅰ、数学A	数学Ⅰ	数学Ⅱ、数学B、数学C	物理基礎	化学基礎	生物基礎	地学基礎	物理	化学	生物	地学	英語	ドイツ語	フランス語	中国語	韓国語	情報Ⅰ
医学部	医学科		前期	◎	○	○	○	×	○	○	×	◎	×	◎	×	×	×	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	◎
			後期	1	1							1		1					2				1					1
	保健学科	看護学専攻 理学療法学専攻 作業療法学専攻	前期 後期	◎	○	○	○	○	○	○	○	◎	×	◎	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	◎
			①	1	1							1		1	(2)				1				1					1
			②	◎	○	○	○	○	○	○	○	◎	×	◎	×	×	×	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	◎
				1	1							1		1					2				1					1
			③	◎	○	○	○	○	○	○	○	◎	×	◎	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	◎
				1	2							1		1	(2)								1					1
			④	◎	○	○	○	○	○	○	○	◎	×	◎	×	×	×	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	◎
				1	2							1		1					1				1					1

◎は必ず受験を要する科目，○は選択して受験を要する科目，×は受験を要しない科目，その下欄の数字は必要科目数を示します。但し理科「物理基礎 / 化学基礎 / 生物基礎 / 地学基礎」は科目として１つであり，カッコ内の数字は解答が必要な出題範囲数を示します。

〔医学部における注意事項〕

ア　上記の教科･科目一覧表において，物理基礎，化学基礎，生物基礎，地学基礎は，大学入学共通テストの受験教科･科目上では，それぞれを「出題範囲」と呼び，理科「物理基礎 / 化学基礎 / 生物基礎 / 地学基礎」として１科目扱いとなり，この中から必ず２つの出題範囲を選択し受験することになります。

イ　理科で［「物理基礎 / 化学基礎 / 生物基礎 / 地学基礎」］と［「物理」，「化学」，「生物」，「地学」から１科目］を選択する場合には，「同一名称を含む科目・出題範囲」を選択することができます。なお，医学部においては「地学基礎」，「地学」を選択することはできません。

ウ　大学入学共通テストで１科目を指定しているもののうち，理科の試験時間において「物理基礎 / 化学基礎 / 生物基礎 / 地学基礎」，「物理」，「化学」，「生物」，「地学」から２科目を受験した場合は，解答順に，前半に受験した科目を第１解答科目，後半に受験した科目を第２解答科目とし，第１解答科目の得点を合格判定に用います。

エ　地理歴史および公民の「地理総合 / 歴史総合 / 公共」を受験する場合は，この中から必ず２つを選択し受験することになります。

オ　地理歴史および公民においては，「公共、倫理」と「公共、政治・経済」の組み合わせを選択することはできません。また，「地理総合 / 歴史総合 / 公共」を選択した者は，選択解答したものと同一名称を含む科目の組み合わせを選択することはできません。

カ　大学入学共通テストで１科目を指定しているもののうち，地理歴史・公民の試験時間において２科目受験した場合は，解答順に，前半に受験した科目を第１解答科目，後半に受験した科目を第２解答科目とし，第１解答科目の得点を合格判定に用います。

キ　英語にはリスニングテストを含みます。なお，リスニングの受験を免除された者については，リーディング（100 点満点）の素点を 200 点満点に換算して利用します。

ク　それぞれのパターンのいずれかを満たすように受験してください。複数のパターンを満たす場合は，高得点のパターンを合格判定に用います。

【個別学力検査等】

学部・学科等			日程・教科・科目等	前期日程									後期日程			
				教科							面接	備考	小論文	記述問題	面接	備考
				国語	数学 ※1	英語 ※2	理科 物理	理科 化学	理科 生物	理科 地学						
医学部	医学科			×	◎	◎	×	×	×	×	◎	数学は，数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ⅲ，数学A，数学B，数学C	◎	×	◎	
					1	1					1		1		1	
	保健学科	看護学専攻		×	×	◎	×	×	×	×	◎		◎	×	◎	
						1					1		1		1	
		理学療法学専攻		×	×	◎	×	×	×	×	◎		◎	×	◎	
						1					1		1		1	
		作業療法学専攻		×	×	◎	×	×	×	×	◎		◎	×	◎	
						1					1		1		1	

◎は必ず受験を要する科目等，×は受験を要しない科目等，その下欄の数字は必要科目等数を示します。

※１　数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ⅲの出題範囲は，高等学校学習指導要領に記載されている全項目とします。ただし，数学Ａは「図形の性質」および「場合の数と確率」，数学Ｂは「数列」，数学Ｃは「ベクトル」および「平面上の曲線と複素数平面」を出題範囲とします。

※２　英語コミュニケーションⅠ，Ⅱ，Ⅲ，論理・表現Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ

（４）総合環境理工学部

【大学入学共通テスト】

教科・科目等			受験を要する教科・科目名																										
			国語	地理歴史				公民			数学			理科									外国語					情報
学部・学科・コース		日程	パターン	国語	地理総合、地理探究	歴史総合、日本史探究	歴史総合、世界史探究	地理総合／歴史総合／公共	公共、倫理	公共、政治・経済	地理総合／歴史総合／公共	数学Ⅰ、数学A	数学Ⅰ	数学Ⅱ、数学B、数学C	物理基礎	化学基礎	生物基礎	地学基礎	物理	化学	生物	地学	英語	ドイツ語	フランス語	中国語	韓国語	情報Ⅰ
総合環境理工学部	応用化学生物学科 生物学コース 有機・高分子化学コース 応用化学コース 環境数物科学科 数理科学・地球環境学コース 機能デバイス物理コース 社会システム工学科 モビリティコース 電気システムコース 社会基盤コース	前期 後期	①	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	◎
				1	1							1		1	(2)				1				1					1
			②	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	×	×	×	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	◎
				1	1							1		1					2				1					1

◎は必ず受験を要する科目，○は選択して受験を要する科目，×は受験を要しない科目，その下欄の数字は必要科目数を示します。但し理科「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」は科目として１つであり，カッコ内の数字は解答が必要な出題範囲数を示します。

〔総合環境理工学部における注意事項〕

ア　上記の教科・科目一覧表において，物理基礎，化学基礎，生物基礎，地学基礎は，大学入学共通テストの受験教科・科目上では，それぞれを「出題範囲」と呼び，理科「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」として１科目扱いとなり，この中から必ず２つの出題範囲を選択し受験することになります。

イ　理科で［「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」］と［「物理」，「化学」，「生物」，「地学」から１科目］を選択する場合には，「同一名称を含む科目・出題範囲」を選択することができます。なお，総合環境理工学部においては「地学基礎」，「地学」を選択することはできません。

ウ　地理歴史および公民の「地理総合／歴史総合／公共」を受験する場合は，この中から必ず２つを選択し受験することになります。

エ　大学入学共通テストで１科目を指定しているもののうち，地理歴史・公民の試験時間において２科目受験した場合は，解答順に，前半に受験した科目を第１解答科目，後半に受験した科目を第２解答科目とし，第１解答科目の得点を合格判定に用います。

オ　英語にはリスニングテストを含みます。なお，リスニングの受験を免除された者については，リーディング（100 点満点）の素点を 200 点満点に換算して利用します。

カ　それぞれのパターンのいずれかを満たすように受験してください。

【個別学力検査等】

日程・教科・科目等			前期日程									後期日程				
			教科							その他	備考	教科（数学※1）	小論文	記述問題	面接	備考
学部・学科・コース			国語	数学※1	英語	理科 物理※2	理科 化学※3	理科 生物※4	理科 地学							
総合環境理工学部	応用化学生物学科	生物学コース 有機・高分子化学コース 応用化学コース	×	◎	×	○	○	○	×	×	数学は，数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ⅲ，数学A，数学B，数学C 理科は，物理，化学，生物から１科目選択	◎	×	×	◎	数学は，数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ⅲ，数学A，数学B，数学C
				1		1						1			1	
	環境数物科学科	数理科学・地球環境学コース 機能デバイス物理コース	×	◎	×	○	○	×	×	×	数学は，数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ⅲ，数学A，数学B，数学C 理科は，物理，化学から１科目選択	◎	×	×	◎	数学は，数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ⅲ，数学A，数学B，数学C
				1		1						1			1	
	社会システム工学科	モビリティコース 電気システムコース 社会基盤コース	×	◎	×	○	○	×	×	×	数学は，数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ⅲ，数学A，数学B，数学C 理科は，物理，化学から１科目選択	◎	×	×	◎	数学は，数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ⅲ，数学A，数学B，数学C
				1		1						1			1	

◎は必ず受験を要する科目等，○は選択して受験を要する科目等，×は受験を要しない科目等，その下欄の数字は必要科目等数を示します。

※１　数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ⅲの出題範囲は，高等学校学習指導要領に記載されている全項目とします。ただし，数学Ａは「図形の性質」および「場合の数と確率」，数学Ｂは「数列」，数学Ｃは「ベクトル」および「平面上の曲線と複素数平面」を出題範囲とします。

※２　物理基礎，物理

※３　化学基礎，化学

※４　生物基礎，生物

（５）情報データ科学部

【大学入学共通テスト】

教科・科目等				受験を要する教科・科目名																										
				国語	地理歴史				公民			数学			理科								外国語					情報		
学部・学科		日程	パターン	国語	地理総合、地理探究	歴史総合、日本史探究	歴史総合、世界史探究	地理総合／歴史総合／公共	公共、倫理	公共、政治・経済	地理総合／歴史総合／公共	数学Ⅰ、数学A	数学Ⅰ	数学Ⅱ、数学B、数学C	物理基礎	化学基礎	生物基礎	地学基礎	物理	化学	生物	地学	英語	ドイツ語	フランス語	中国語	韓国語	情報Ⅰ		
情報データ科学部	情報データ科学科	前期	文系a	①	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	◎		
					1	2						1		1	(2)								1					1		
				②	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎		
					1	2						1		1					1				1					1		
			理系ab	①	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎		
					1	1						1		1	(2)				1				1					1		
				②	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎		
					1	1						1		1					2				1					1		
		後期		①	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎		
					1	1						1		1	(2)				1				1					1		
				②	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎		
					1	1						1		1					2				1					1		

◎は必ず受験を要する科目，○は選択して受験を要する科目，×は受験を要しない科目，その下欄の数字は必要科目数を示します。但し理科「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」は科目として１つであり，カッコ内の数字は解答が必要な出題範囲数を示します。

〔情報データ科学部における注意事項〕

ア　国語は「近代以降の文章」の得点のみを合格判定に用います。

イ　上記の教科・科目一覧表において，物理基礎，化学基礎，生物基礎，地学基礎は，大学入学共通テストの受験教科・科目上では，それぞれを「出題範囲」と呼び，理科「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」として１科目扱いとなり，この中から必ず２つの出題範囲を選択し受験することになります。

ウ　理科で［「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」］と［「物理」，「化学」，「生物」，「地学」から１科目］を選択する場合には，「同一名称を含む科目・出題範囲」を選択することができます。

エ　大学入学共通テストで１科目を指定しているもののうち，理科の試験時間において「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」，「物理」，「化学」，「生物」，「地学」から２科目を受験した場合は，解答順に，前半に受験した科目を第１解答科目，後半に受験した科目を第２解答科目とし，第１解答科目の得点を合格判定に用います。

オ　地理歴史および公民の「地理総合／歴史総合／公共」を受験する場合は，この中から必ず２つを選択し受験することになります。

カ　地理歴史および公民においては，「公共、倫理」と「公共、政治・経済」の組み合わせを選択することはできません。また，「地理総合／歴史総合／公共」を選択した者は，選択解答したものと同一名称を含む科目の組み合わせを選択することはできません。

キ　大学入学共通テストで１科目を指定しているもののうち，地理歴史・公民の試験時間において２科目受験した場合は，解答順に，前半に受験した科目を第１解答科目，後半に受験した科目を第２解答科目とし，第１解答科目の得点を合格判定に用います。

ク　英語にはリスニングテストを含みます。なお，リスニングの受験を免除された者については，リーディング（100 点満点）の素点を 200 点満点に換算して利用します。

ケ　それぞれのパターンのいずれかを満たすように受験してください。

【個別学力検査等】

日程・教科・科目等		前期日程									後期日程			
		教科							その他	備考	教科（数学※1）	小論文	面接	備考
		国語	数学 ※1	英語 ※2	理科 物理	理科 化学	理科 生物	理科 地学						
学部・学科														
情報データ科学部	情報データ科学科	×	◎	◎	×	×	×	×	×	数学は文系型が数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学 A，数学 B，数学 C，理系型は数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ⅲ，数学 A，数学 B，数学 C	◎	×	◎	数学は数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ⅲ，数学 A，数学 B，数学 C
			1	1							1		1	

◎は必ず受験を要する科目等，×は受験を要しない科目等，その下欄の数字は必要科目等数を示します。

※１

（前期日程）

数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ⅲの出題範囲は，高等学校学習指導要領に記載されている全項目とします。ただし，数学Ａは「図形の性質」および「場合の数と確率」，数学Ｂは「数列」とし，数学Ｃについては文系型が「ベクトル」，理系型が「ベクトル」および「平面上の曲線と複素数平面」を出題範囲とします。

（後期日程）

数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ⅲの出題範囲は，高等学校学習指導要領に記載されている全項目とします。ただし，数学Ａは「図形の性質」および「場合の数と確率」，数学Ｂは「数列」，数学Ｃは「ベクトル」および「平面上の曲線と複素数平面」を出題範囲とします。

※２　英語コミュニケーションⅠ，Ⅱ，Ⅲ，論理・表現Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ

８．大学入学共通テストおよび個別学力検査等の配点

【前期日程】

学部・学科・課程等				試験の区分	国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	情報	実技検査	小論文	面接	調査書	合計	
国際資源学部	国際資源学科	資源政策コース		大学入学共通テスト	200 (200×1.0×1)	200 (100×1.0×2)	200 (100×1.0×2)	100 (100×1.0×1)	200 (200×1.0×1)	50 (100×0.5×1)					950	1470
				個別学力検査等	250				250					20	520	
		資源地球科学コース 資源開発環境コース		大学入学共通テスト	200 (200×1.0×1)	50 (100×0.5×1)	200 (100×1.0×2)	200 (100×1.0×2)	200 (200×1.0×1)	50 (100×0.5×1)					900	1370
				個別学力検査等			200	150	100					20	470	
教育文化学部	学校教育課程	初等中等教育コース		大学入学共通テスト	200×2/3×1	※100×2/3×1 ※100×2/3×1	※100×2/3×1 ※100×2/3×1	※100×2/3×1 ※100×2/3×1	200×2/3×1	50 (100×0.5×1)					650	1060
				個別学力検査等	#200		#200	#200	#200		#200			10	410	
		特別支援教育コース こども発達コース		大学入学共通テスト	200 (200×1.0×1)	※100 (100×1.0×1) ※100 (100×1.0×1)	※100 (100×1.0×1) ※100 (100×1.0×1)	※100 (100×1.0×1) ※100 (100×1.0×1)	200 (200×1.0×1)	50 (100×0.5×1)					950	1360
				個別学力検査等	#200		#200		#200					10	410	
	地域文化学科			大学入学共通テスト	140 (200×0.7×1)	※70 (100×0.7×1) ※70 (100×0.7×1)	※70 (100×0.7×1) ※70 (100×0.7×1)	※70 (100×0.7×1) ※70 (100×0.7×1)	140 (200×0.7×1)	70 (100×0.7×1)					700	1110
				個別学力検査等	#200		#200		#200					10	410	
医学部	医学科			大学入学共通テスト	100 (200×0.5×1)	50 (100×0.5×1)	100 (100×0.5×2)	200 (100×1.0×2)	100 (200×0.5×1)	50 (100×0.5×1)					600	1000
				個別学力検査等			100		100				200		400	
	保健学科	看護学専攻		大学入学共通テスト	160 (200×0.8×1)	※80 (100×0.8×1) ※80 (100×0.8×1)	160 (100×0.8×2)	※80 (100×0.8×1) ※80 (100×0.8×1)	160 (200×0.8×1)	35 (100×0.35×1)					755	955
				個別学力検査等					100				100		200	
		理学療法学専攻		大学入学共通テスト	140 (200×0.7×1)	※70 (100×0.7×1) ※70 (100×0.7×1)	140 (100×0.7×2)	※70 (100×0.7×1) ※70 (100×0.7×1)	140 (200×0.7×1)	35 (100×0.35×1)					665	1065
				個別学力検査等					200				200		400	
		作業療法学専攻		大学入学共通テスト	140 (200×0.7×1)	※70 (100×0.7×1) ※70 (100×0.7×1)	140 (100×0.7×2)	※70 (100×0.7×1) ※70 (100×0.7×1)	140 (200×0.7×1)	30 (100×0.3×1)					660	1060
				個別学力検査等					200				200		400	
総合環境理工学部	応用化学生物学科 生物学コース 有機・高分子化学コース 応用化学コース 環境数物科学科 数理科学・地球環境学コース 機能デバイス物理コース 社会システム工学科 モビリティコース 電気システムコース 社会基盤コース		a	大学入学共通テスト	25 (200×0.125×1)	50 (100×0.5×1)	100 (100×0.5×2)	100 (100×0.5×2)	200 (200×1.0×1)	50 (100×0.5×1)					525	985
				個別学力検査等			250	200						10	460	
			b	大学入学共通テスト	25 (200×0.125×1)	25 (100×0.25×1)	100 (100×0.5×2)	100 (100×0.5×2)	200 (200×1.0×1)	25 (100×0.25×1)					475	1385
				個別学力検査等			500	400						10	910	
情報データ科学部	情報データ科学科		文系a	大学入学共通テスト	220 (110×2.0×1)	200 (100×1.0×2)	200 (100×1.0×2)	100 (100×1.0×1)	200 (200×1.0×1)	50 (100×0.5×1)					970	2300
				個別学力検査等			800		500					30	1330	
			理系a	大学入学共通テスト	220 (110×2.0×1)	100 (100×1.0×1)	200 (100×1.0×2)	200 (100×1.0×2)	200 (200×1.0×1)	50 (100×0.5×1)					970	2300
				個別学力検査等			800		500					30	1330	
			理系b	大学入学共通テスト	110 (110×1.0×1)	50 (100×0.5×1)	100 (100×0.5×2)	100 (100×0.5×2)	100 (200×0.5×1)	25 (100×0.25×1)					485	1800
				個別学力検査等			800		500					15	1315	

注１：大学入学共通テスト欄の（　）内は，大学入学共通テストの素点，傾斜率および科目数を示します。（素点×傾斜率×科目数）
注２：大学入学共通テストの地理歴史，公民の「地理総合/歴史総合/公共」の素点は，この中から2つ選択で100点とします。
注３：大学入学共通テストの理科の素点は，「物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎」の中から2つ選択で100点，「基礎を付さない科目」1科目選択で100点とします。
注４：大学入学共通テストの外国語において「英語」を選択した者で，リスニングの受験を免除された者については，リーディング（100点満点）の素点を200点満点に換算して利用します。
注５：教育文化学部および医学部保健学科の大学入学共通テスト欄の※印は，このうちから必要科目を選択するものです。
注６：教育文化学部の個別学力検査等欄の＃印は２科目等を選択するものです。ただし，国語と理科の組み合わせは選択できません。実技検査は，音楽，美術，体育から１つを選択します。
注７：総合環境理工学部のa・bにおける個別学力検査の試験問題は同一のものです。
注８：情報データ科学部における理系ａ・ｂの個別学力検査の試験問題は同一のものです。なお，文系と理系においては，数学は一部の問題が異なりますが，英語は同一の問題です。
注９：情報データ科学部における大学入学共通テストの国語は「近代以降の文章」のみ（素点は110点）を利用します。

【後期日程】

学部・学科・課程等			試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	実技検査	小論文	面接	合計	
国際資源学部	国際資源学科	資源政策コース	大学入学共通テスト	200 (200×1.0×1)	200 (100×1.0×2)		200 (100×1.0×2)	100 (100×1.0×1)	200 (200×1.0×1)	50 (100×0.5×1)				950	1250
			個別学力検査等										300	300	
		資源地球科学コース 資源開発環境コース	大学入学共通テスト	200 (200×1.0×1)	50 (100×0.5×1)		300 (100×1.5×2)	300 (100×1.5×2)	200 (200×1.0×1)	50 (100×0.5×1)				1100	1500
			個別学力検査等										400	400	
教育文化学部	学校教育課程	初等中等教育コース	大学入学共通テスト	200×7/9×1	※100×7/9×1 ※100×7/9×1		※100×7/9×1 ※100×7/9×1	※100×7/9×1 ※100×7/9×1	200×7/9×1	50 (100×0.5×1)				750	1100
			個別学力検査等									#300	50	350	
		特別支援教育コース こども発達コース	大学入学共通テスト	200 (200×1.0×1)	※100 (100×1.0×1) ※100 (100×1.0×1)		※100 (100×1.0×1) ※100 (100×1.0×1)	※100 (100×1.0×1) ※100 (100×1.0×1)	200 (200×1.0×1)	50 (100×0.5×1)				950	1500
			個別学力検査等									注7 250	300	550	
	地域文化学科		大学入学共通テスト	140 (200×0.7×1)	※70 (100×0.7×1) ※70 (100×0.7×1)		※70 (100×0.7×1) ※70 (100×0.7×1)	※70 (100×0.7×1) ※70 (100×0.7×1)	140 (200×0.7×1)	70 (100×0.7×1)				700	1150
			個別学力検査等									300	150	450	
医学部	医学科	一般枠	大学入学共通テスト	150 (200×0.75×1)	50 (100×0.5×1)		150 (100×0.75×2)	200 (100×1.0×2)	150 (200×0.75×1)	50 (100×0.5×1)				750	1050
			個別学力検査等									100	200	300	
		秋田県地域枠	大学入学共通テスト	100 (200×0.5×1)	50 (100×0.5×1)		100 (100×0.5×2)	100 (100×0.5×2)	100 (200×0.5×1)	50 (100×0.5×1)				500	750
			個別学力検査等									100	150	250	
	保健学科	看護学専攻	大学入学共通テスト	160 (200×0.8×1)	※80 (100×0.8×1) ※80 (100×0.8×1)		160 (100×0.8×2)	※80 (100×0.8×1) ※80 (100×0.8×1)	160 (200×0.8×1)	35 (100×0.35×1)				755	955
			個別学力検査等									100	100	200	
		理学療法学専攻	大学入学共通テスト	140 (200×0.7×1)	※70 (100×0.7×1) ※70 (100×0.7×1)		140 (100×0.7×2)	※70 (100×0.7×1) ※70 (100×0.7×1)	140 (200×0.7×1)	35 (100×0.35×1)				665	1065
			個別学力検査等									200	200	400	
		作業療法学専攻	大学入学共通テスト	140 (200×0.7×1)	※70 (100×0.7×1) ※70 (100×0.7×1)		140 (100×0.7×2)	※70 (100×0.7×1) ※70 (100×0.7×1)	140 (200×0.7×1)	30 (100×0.3×1)				660	1060
			個別学力検査等									200	200	400	
総合環境理工学部	応用化学生物学科 生物学コース 有機・高分子化学コース 応用化学コース 環境数物科学科 数理科学・地球環境学コース 機能デバイス物理コース 社会システム工学科 モビリティコース 電気システムコース 社会基盤コース		大学入学共通テスト	25 (200×0.125×1)	50 (100×0.5×1)		100 (100×0.5×2)	200 (100×1.0×2)	200 (200×1.0×1)	50 (100×0.5×1)				625	925
			個別学力検査等				100						200	300	
情報データ科学部	情報データ科学科		大学入学共通テスト	110 (110×1.0×1)	50 (100×0.5×1)		500 (100×2.5×2)	100 (100×0.5×2)	300 (200×1.5×1)	50 (100×0.5×1)				1110	1410
			個別学力検査等				100						200	300	

注１：大学入学共通テスト欄の（　）内は，大学入学共通テストの素点，傾斜率および科目数を示します。（素点×傾斜率×科目数）
注２：大学入学共通テストの地理歴史，公民の「地理総合/歴史総合/公共」の素点は，この中から2つ選択で100点とします。
注３：大学入学共通テストの理科の素点は，「物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎」の中から2つ選択で100点，「基礎を付さない科目」1科目選択で100点とします。
注４：大学入学共通テストの外国語において「英語」を選択した者で，リスニングの受験を免除された者については，リーディング（100点満点）の素点を200点満点に換算して利用します。
注５：教育文化学部および医学部保健学科の大学入学共通テスト欄の※印は，このうちから必要科目を選択するものです。
注６：教育文化学部学校教育課程初等中等教育コースにおける個別学力検査等欄の＃印は，１科目等を選択するものです。実技検査は，音楽，美術，体育から１つを選択します。
注７：教育文化学部学校教育課程こども発達コースの小論文欄は，記述問題の配点を示します。
注８：医学部医学科の秋田県地域枠については，本要項に挟み込みの「医学部医学科の募集人員について（申請予定）」を参照してください。
注９：情報データ科学部における大学入学共通テストの国語は「近代以降の文章」のみ（素点は110点）を利用します。
注10：情報データ科学部における個別学力検査等の数学は，文系・理系の区分を設けませんので，出題範囲は14ページを参照してください。

９．実技検査の内容

［前期日程］

教育文化学部　　学校教育課程　初等中等教育コース

次に掲げる【音楽】，【美術】または【体育】のうちから，いずれか１教科を選択して受験してください。

【音楽】
次の①，②を受験してください。
①共通課題
ピアノ‥‥ツェルニー40番練習曲から任意の１曲（暗譜，繰り返しなし）

②選択課題‥‥‥次の１），２），３）のうちから１つを選択して受験してください。

１）　ピアノ‥‥任意の楽曲（暗譜，繰り返しなし）

２）　声　楽‥‥（以下の４曲から１曲を選び，原語および暗譜で演奏）
ａ．中田章作曲　早春賦　変ホ長調（２番まで）
ｂ．A. スカルラッティ作曲　Se tu della mia morte　ヘ短調
ｃ．G. トレッリ作曲　Tu lo sai　ニ長調
ｄ．G. パイジェッロ作曲　Nel cor più non mi sento　ヘ長調
※　伴奏は本学教員が担当します。伴奏譜は本学で用意します。

３）　管楽器，弦楽器，打楽器，和楽器のうちから１つの楽器を選び，任意の独奏曲を暗譜，無伴奏で演奏
※　無伴奏の作品は独奏譜を，ピアノ伴奏付き独奏曲は伴奏譜を出願時に提出してください。
なお楽譜には楽器名を記載し，前期日程と明記してください。
使用する楽器は次に示すものとし，各自持参してください。
ただし，マリンバ（Ｃスケール，４オクターヴ）は大学で用意します。
管楽器‥‥フルート，オーボエ，クラリネット，サクソフォーン，ファゴット，ホルン，
トランペット，トロンボーン，ユーフォニアム，テューバ
弦楽器‥‥ヴァイオリン，ヴィオラ，チェロ，コントラバス
打楽器‥‥マリンバ
和楽器‥‥三味線，箏，尺八

【美術】
実技の内容：静物描写（３時間）
※　出願時に，次の①から③の表現方法の中からいずれかを選択した上で受験してください。
①鉛筆　　②木炭　　③水彩

実技検査に必要なもの：上記①から③に応じて，当日持参してください。
「①鉛筆」の場合：鉛筆，消しゴム
「②木炭」の場合：木炭，練り消しゴムやパンなど
「③水彩」の場合：水彩用具一式，鉛筆，消しゴム

【体育】
次の運動種目①から⑩のうちから１種目を選択して受験してください。
運動種目　①陸上競技（競走，跳躍，または投てき）　②器械運動（跳び箱運動およびマット運動）
③バレーボール　　④バスケットボール　　⑤サッカー　　⑥ハンドボール　　⑦卓球
⑧柔道　　⑨ダンス　　⑩基礎運動能力（シャトルラン，反復横とび，および握力）
注）出願書類と同時に提出するもの：スポーツ活動の調書（本学指定の様式）
調書には，調書に記載した各種大会出場における成績（順位，タイムなど）を証明する資料を添付すること。（**記載事項がない場合も調書は必ず提出してください。**）
※　証明する資料とは，大会プログラム，メンバー表，賞状，認定証，ランキング表，新聞や専門雑誌の切り抜きなどです。（いずれもコピーにて可。資料は可能な限りＡ４判としてください。）

［後期日程］

教育文化学部　　学校教育課程　初等中等教育コース

次に掲げる【音楽】，【美術】または【体育】のうちから，いずれか１教科を選択して受験してください。

【音楽】
次の①，②を受験してください。
①共通課題
ピアノ‥‥ツェルニー40番練習曲から任意の１曲（暗譜，繰り返しなし）

②選択課題‥‥‥次の１），２），３）のうちから１つを選択して受験してください。

１）　ピアノ‥‥任意の楽曲（暗譜，繰り返しなし）

２）　声　楽‥‥（以下の４曲から１曲を選び，原語および暗譜で演奏）
ａ．中田章作曲　早春賦　変ホ長調（２番まで）
ｂ．Ａ．スカルラッティ作曲　Se tu della mia morte　ヘ短調
ｃ．Ｇ．トレッリ作曲　Tu lo sai　ニ長調
ｄ．Ｇ．パイジェッロ作曲　Nel cor più non mi sento　ヘ長調
※　伴奏は本学教員が担当します。伴奏譜は本学で用意します。

３）　管楽器，弦楽器，打楽器，和楽器のうちから１つの楽器を選び，任意の独奏曲を暗譜，無伴奏で演奏
※　無伴奏の作品は独奏譜を，ピアノ伴奏付き独奏曲は伴奏譜を出願時に提出してください。
なお楽譜には楽器名を記載し，後期日程と明記してください。
使用する楽器は次に示すものとし，各自持参してください。
ただし，マリンバ（Ｃスケール，４オクターヴ）は大学で用意します。
管楽器‥‥フルート，オーボエ，クラリネット，サクソフォーン，ファゴット，ホルン，
トランペット，トロンボーン，ユーフォニアム，テューバ
弦楽器‥‥ヴァイオリン，ヴィオラ，チェロ，コントラバス
打楽器‥‥マリンバ
和楽器‥‥三味線，箏，尺八

【美術】
実技の内容：静物描写（３時間）
※　出願時に，次の①から③の表現方法の中からいずれかを選択した上で受験してください。
①鉛筆　　②木炭　　③水彩

実技検査に必要なもの：上記①から③に応じて，当日持参してください。
「①鉛筆」の場合：鉛筆，消しゴム
「②木炭」の場合：木炭，練り消しゴムやパンなど
「③水彩」の場合：水彩用具一式，鉛筆，消しゴム

【体育】
次の運動種目①から⑧のうちから１種目を選択して受験してください。
運動種目　①陸上競技（競走，跳躍，または投てき）　②バレーボール　③バスケットボール
④サッカー　⑤ハンドボール　⑥卓球　⑦柔道　⑧ダンス
注）出願書類と同時に提出するもの：スポーツ活動の調書（本学指定の様式）
調書には，調書に記載した各種大会出場における成績（順位，タイムなど）を証明する資料を添付すること。（**記載事項がない場合も調書は必ず提出してください。**）
※　証明する資料とは，大会プログラム，メンバー表，賞状，認定証，ランキング表，新聞や専門雑誌の切り抜きなどです。（いずれもコピーにて可。資料は可能な限りＡ４判としてください。）

Ⅲ　学校推薦型選抜

１．選抜関係日程

［学校推薦型選抜Ⅰ］（大学入学共通テストを課さない）

出　願　期　間　：　令和８年１１月　２日（月）　～　令和８年１１月　９日（月）（必着）
試　　験　　日　：　令和８年１１月２１日（土）
合 格 発 表 日　：　令和８年１２月　４日（金）
入学手続期間　：　令和８年１２月１０日（木）　～　令和８年１２月１１日（金）（必着）

［学校推薦型選抜Ⅱ］（大学入学共通テストを課す）

出　願　期　間　：　令和８年１２月　９日（水）　～　令和８年１２月１５日（火）（必着）
試　　験　　日　：　令和９年　１月２１日（木）【医学部医学科】
　　令和９年　１月２２日（金）【国際資源学部，教育文化学部，医学部医学科（地域枠のみ）】
合 格 発 表 日　：　令和９年　２月１０日（水）
入学手続期間　：　令和９年　２月１６日（火）　～　令和９年　２月１７日（水）（必着）

２．学校推薦型選抜出願時の注意

国公立大学の学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課す場合，課さない場合含めて）への出願は，一つの大学・学部の学校推薦型選抜募集単位（学科・課程・専攻・コース等）に限られています。本学の場合，教育文化学部学校教育課程初等中等教育コースの学校推薦型選抜Ⅰで不合格になった場合に，同一の学校教育課程初等中等教育コースの学校推薦型選抜Ⅱに出願できます。

なお，学校推薦型選抜で不合格になった場合に備えて，本学または他大学の一般選抜に出願しておくことは差し支えありません。

３．推薦の要件，募集人員

［学校推薦型選抜Ⅰ］

学部	学科・課程等		募集人員	推　薦　の　要　件
教育文化学部	学校教育課程	初等中等教育コース	４人	次の(1)から(4)の要件すべてに該当する者 (1)　次のいずれかに該当する者 ①　高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）もしくは中等教育学校を卒業した者および令和９年３月卒業見込みの者 ②　文部科学大臣が高等学校の課程と同等または相当する課程を有するものとして認定または指定した在外教育施設の当該課程を修了した者および令和９年３月修了見込みの者 (2)　教員を志望し，学業成績・人物ともに優れ，出身学校長（高等学校長等）が責任を持って推薦でき，合格した場合，入学を確約できる者 (3)　調査書の保健体育の学習成績の状況が 4.0 以上の者 (4)　本学他学部および他の国公立大学の学校推薦型選抜に出願していない者
総合環境理工学部	応用化学生物学科	生物学コース	３人	《女　子　枠》 次の(1)から(4)の要件すべてに該当する者。これに加え，戸籍上の性別が「女性」であることを出願資格とする。 (1)　次のいずれかに該当する者 ①　高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）もしくは中等教育学校を卒業した者および令和９年３月卒業見込みの者 ②　文部科学大臣が高等学校の課程と同等または相当する課程を有するものとして認定または指定した在外教育施設の当該課程を修了した者および令和９年３月修了見込みの者 (2)　学業成績および人物ともに優れ，出身学校長（高等学校長等）が責任を持って推薦でき，合格した場合，入学を確約できる者 (3)　調査書の学習成績概評がＢ段階以上（全体の学習成績の状況が 3.5 以上）で，なおかつ，数学，理科および英語の学習成績の状況が 3.5 以上の者 (4)　本学他学部および他の国公立大学の学校推薦型選抜に出願していない者
		有機・高分子化学コース		
		応用化学コース		
	環境数物科学科	数理科学・地球環境学コース	３人	
		機能デバイス物理コース	３人	
	社会システム工学科	モビリティコース	２人	
		電気システムコース	２人	
		社会基盤コース	２人	

［学校推薦型選抜Ⅱ］

学部	学科・課程等		募集人員	推　薦　の　要　件
国際資源学部	国際資源学科	資源政策コース	4人	次の(1)から(3)の要件すべてに該当する者 (1)　次のいずれかに該当する者 ①　高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）もしくは中等教育学校を令和９年３月卒業見込みの者（令和８年度の途中に卒業を認められる者を含む。） ②　文部科学大臣が高等学校の課程と同等または相当する課程を有するものとして認定または指定した在外教育施設の当該課程を令和９年３月修了見込みの者（令和８年度の途中に修了を認められる者を含む。） (2)　(1)の学校における学業成績及び人物ともに優れ，出身学校長（高等学校長等）が責任を持って推薦でき，合格した場合，入学を確約できる者 (3)　本学他学部および他の国公立大学の学校推薦型選抜に出願していない者
		資源地球科学コース	4人	
		資源開発環境コース	6人	
教育文化学部	学校教育課程	初等中等教育コース	20人	次の(1)から(6)の要件すべてに該当する者 (1)　次のいずれかに該当する者 ①　高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）もしくは中等教育学校を卒業した者および令和９年３月卒業見込みの者 ②　文部科学大臣が高等学校の課程と同等または相当する課程を有するものとして認定または指定した在外教育施設の当該課程を修了した者および令和９年３月修了見込みの者 ③　文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程を令和９年３月修了見込みの者（③の要件は実技検査で受験する者に限る。） (2)　教員を志望し，人物等について出身学校長（高等学校長等）が責任を持って推薦でき，合格した場合，入学を確約できる者 (3)　小論文で受験する者は調査書の学習成績概評がＢ段階以上（全体の学習成績の状況が 3.5 以上）で，なおかつ，国語，地理歴史，公民，数学，理科，外国語または家庭いずれか１教科の学習成績の状況が 4.0 以上の者 (4)　音楽の実技検査で受験する者は技能・表現力が優れている者 (5)　美術の実技検査で受験する者は造形表現力が優れている者 (6)　本学他学部および他の国公立大学の学校推薦型選抜に出願していない者
		特別支援教育コース	6人	次の (1) から (4) の要件すべてに該当する者 (1)　次のいずれかに該当する者 ①　高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）もしくは中等教育学校を卒業した者および令和９年３月卒業見込みの者。 ②　文部科学大臣が高等学校の課程と同等または相当する課程を有するものとして認定または指定した在外教育施設の該当課程を修了した者および令和９年３月修了見込みの者 (2)　人物等について，出身学校長（高等学校長等）が責任を持って推薦でき，合格した場合，入学を確約できる者 (3)　調査書の学習成績概評がＢ段階以上（全体の学習成績の状況が 3.5 以上）の者 (4)　本学他学部および他の国公立大学の学校推薦型選抜に出願していない者
		こども発達コース	9人	次の(1)から(4)の要件すべてに該当する者 (1)　次のいずれかに該当する者 ①　高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）もしくは中等教育学校を卒業した者および令和９年３月卒業見込みの者 ②　文部科学大臣が高等学校の課程と同等または相当する課程を有するものとして認定または指定した在外教育施設の当該課程を修了した者および令和９年３月修了見込みの者 (2)　人物等について，出身学校長（高等学校長等）が責任を持って推薦でき，合格した場合，入学を確約できる者 (3)　(1) の学校における調査書の学習成績概評がＢ段階以上（全体の学習成績の状況が 3.5 以上）の者 (4)　本学他学部および他の国公立大学の学校推薦型選抜に出願していない者

学部	学科		募集人員	推薦の要件
教育文化学部	地域文化学科		18人	次の(1)から(4)の要件すべてに該当する者 (1) 次のいずれかに該当する者 ① 高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）もしくは中等教育学校を卒業した者および令和９年３月卒業見込みの者 ② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等または相当する課程を有するものとして認定または指定した在外教育施設の当該課程を修了した者および令和９年３月修了見込みの者 (2) 学業成績および人物ともに優れ，出身学校長（高等学校長）が責任を持って推薦でき，合格した場合，入学を確約できる者 (3) 調査書の学習成績概評がＢ段階以上（全体の学習成績の状況が3.5以上）で，なおかつ，①国語，②地理歴史または公民，③外国語の３教科の学習成績の状況の平均が4.0以上※の者 外国語の学習成績の状況について，各高等学校等において外国語教科を第１外国語・第２外国語のように２以上に区分している場合，調査書に記載された第１外国語（英語）の学習成績の状況，または第１外国語・第２外国語を合わせた学習成績の状況のいずれか高い方を対象とする。 (4) 本学他学部および他の国公立大学の学校推薦型選抜に出願していない者 ※少数点第２位以下を切り捨てとする。
医学部	医学科	一般枠	20人	次の(1)から(3)の要件すべてに該当する者 (1) 次のいずれかに該当する者 ① 高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）もしくは中等教育学校を令和９年３月卒業見込みの者（令和８年度の途中に卒業を認められた者を含む。） ② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等または相当する課程を有するものとして認定または指定した在外教育施設の当該課程を令和９年３月修了見込みの者(令和８年度の途中に修了を認められた者を含む。) (2) 調査書の学習成績概評がＡ段階（全体の学習成績の状況が4.3以上）に属する者のうち，本学科への入学に固い意志を持ち，特に医学の分野で将来にわたり活躍を期待する十分な資質を有すると思われる者で，出身学校長（高等学校長等）が責任を持って推薦でき，合格した場合，入学を確約できる者 (3) 本学他学部および他の国公立大学の学校推薦型選抜に出願していない者
		＊下記必読 東北地域枠	10人	次の(1)から(6)の要件すべてに該当する者 (1) 次にあげる地域の高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）もしくは中等教育学校を令和８年３月以降に卒業した者および令和９年３月卒業見込みの者 ［青森県，岩手県，宮城県，山形県，福島県］ (2) 大学卒業後，次にあげるⅰ）～ⅲ）を確約できる者 ⅰ）秋田県内の研修指定病院で２年間の臨床研修（初期研修）に従事すること ⅱ）臨床研修修了後，秋田大学の専門研修プログラムにおいて大学病院を含む秋田県内医療機関での専門研修を行い専門医資格を取得すること ⅲ）臨床研修修了後，少なくとも５年間，秋田県内の研修指定病院で勤務すること (3) 「同意書（東北地域枠）」を提出する者 (4) 学業成績および人物ともに優れ，出身学校長(高等学校長等)が責任を持って推薦でき，合格した場合，入学を確約できる者 (5) 調査書の学習成績概評がＡ段階（全体の学習成績の状況が4.3以上）の者 (6) 本学他学部および他の国公立大学の学校推薦型選抜に出願していない者
		＊下記必読 秋田県地域枠	※	次の(1)から(5)の要件すべてに該当する者 (1) 秋田県内の高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）もしくは中等教育学校を令和８年３月以降に卒業した者および令和９年３月卒業見込みの者 (2) 入学後は秋田県の修学資金の貸与を受けるとともに，医師免許取得後は，秋田県地域枠医師等キャリア形成プログラムに従って，定められた期間，義務履行することを確約できる者 (3) 学業成績および人物ともに優れ，出身学校長（高等学校長等）が責任を持って推薦でき，合格した場合，入学を確約できる者 (4) 調査書の学習成績概評がＡ段階（全体の学習成績の状況が4.3以上）の者 (5) 本学他学部および他の国公立大学の学校推薦型選抜に出願していない者

＊【医学部医学科：東北地域枠に関する事項】
秋田県内の研修指定病院については以下のURLから確認してください。
URL:https://common3.pref.akita.lg.jp/ishikakuho/student/hospital

秋田の医療情報
みてたんせ
QRコード

＊【医学部医学科：秋田県地域枠に関する事項】
秋田県地域枠の出願にあたっては，「秋田県地域枠医師等キャリア形成プログラム」を必読し，秋田県医学生修学資金制度を理解のうえ，出願してください。

秋田県医学生修学資金について
URL：https://common3.pref.akita.lg.jp/ishikakuho/study-funding/student
あきたの医師・医療情報総合サイト「秋田の医療情報，みてたんせ」
＞秋田県の修学資金制度＞医学生向け修学資金＞秋田県地域枠医師等キャリア形成プログラム
問合せ先 ： 秋田県医療人材対策室　　電話番号　018－860－1410

※ 医学科の学校推薦型選抜Ⅱの志願者は，本要項に挟み込みの「医学部医学科の募集人員について（申請予定）」を確認してください。また，詳細は決定次第，本学ホームページでお知らせしますので必ず確認してください。

４．選抜方法

［学校推薦型選抜Ⅰ］

学部・学科・課程・コース			選抜方法等	
教育文化学部	学校教育課程	初等中等教育コース	選抜方法	大学入学共通テストを免除し，調査書，推薦書，志願理由書，実技検査調書，小論文，実技検査（体育）および面接（口頭試問を含む）の結果を総合して判定します。
			個別学力検査等	小論文，実技検査（体育）および面接（口頭試問を含む） 注：小論文は英語の和訳を含みます。口頭試問は，国語，社会，保健体育の基礎学力について行います。
総合環境理工学部	応用化学生物学科	生物学コース 有機・高分子化学コース 応用化学コース	選抜方法	大学入学共通テストを免除し，調査書，推薦書，志願理由書および面接（口頭試問を含む）の結果を総合して判定します。
			個別学力検査等	面接［理科（物理基礎，化学基礎，生物基礎のうちから２科目を選択）の基礎学力に関する試問を含む。］
	環境数物科学科	数理科学・地球環境学コース	選抜方法	大学入学共通テストを免除し，調査書，推薦書，志願理由書および面接（口頭試問を含む）の結果を総合して判定します。
			個別学力検査等	面接（数学＊の基礎学力に関する試問を含む。）
		機能デバイス物理コース	選抜方法	大学入学共通テストを免除し，調査書，推薦書，志願理由書および面接（口頭試問を含む）の結果を総合して判定します。
			個別学力検査等	面接［数学＊と理科（物理基礎，化学基礎のうちから１科目を選択）の基礎学力に関する試問を含む。］
	社会システム工学科	モビリティコース	選抜方法	大学入学共通テストを免除し，調査書，推薦書，志願理由書および面接（口頭試問を含む）の結果を総合して判定します。
			個別学力検査等	面接（数学＊と理科（物理基礎）の基礎学力に関する試問を含む。）
		電気システムコース	選抜方法	大学入学共通テストを免除し，調査書，推薦書，志願理由書および面接（口頭試問を含む）の結果を総合して判定します。
			個別学力検査等	面接（数学＊と理科（物理基礎）の基礎学力に関する試問を含む。）
		社会基盤コース	選抜方法	大学入学共通テストを免除し，調査書，推薦書，志願理由書および面接（口頭試問を含む）の結果を総合して判定します。
			個別学力検査等	面接（数学＊と理科（物理基礎）の基礎学力に関する試問を含む。）

＊　数学の出題範囲は，数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ａ，数学Ｂとします。数学Ⅰ，数学Ⅱの出題範囲は，高等学校学習指導要領に記載されている全項目とします。ただし，数学Ａは「図形の性質」および「場合の数と確率」，数学Ｂは「数列」を出題範囲とします。

［学校推薦型選抜Ⅱ］

（１）国際資源学部

選抜方法：大学入学共通テストの成績と個別学力検査等の結果を総合して判定します。

【大学入学共通テスト】

学部・学科・コース			パターン	教科・科目等	国語	地理歴史				公民			数学			理科								外国語					情報
					国語	地理総合、地理探究	歴史総合、日本史探究	歴史総合、世界史探究	地理総合／歴史総合／公共	公共、倫理	公共、政治・経済	地理総合／歴史総合／公共	数学Ⅰ、数学A	数学Ⅰ	数学Ⅱ、数学B、数学C	物理基礎	化学基礎	生物基礎	地学基礎	物理	化学	生物	地学	英語	ドイツ語	フランス語	中国語	韓国語	情報Ⅰ
国際資源学部	国際資源学科	資源政策コース			◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	◎
					1	2							1											1				1
		資源地球科学コース		①	◎	×	×	×	×	×	×	×	○	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
					1								1		1	(2)				1				1					1
				②	◎	×	×	×	×	×	×	×	○	○	◎	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
					1								1		1					2				1					1
		資源開発環境コース		①	◎	×	×	×	×	×	×	×	○	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
					1								1		1	(2)				1				1					1
				②	◎	×	×	×	×	×	×	×	○	○	◎	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
					1								1		1					2				1					1

◎は必ず受験を要する科目，○は選択して受験を要する科目，×は受験を要しない科目，その下欄の数字は必要科目数を示します。但し理科「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」は科目として１つであり，カッコ内の数字は解答が必要な出題範囲数を示します。

〔国際資源学部における注意事項〕

ア　上記の教科・科目一覧表において，物理基礎，化学基礎，生物基礎，地学基礎は，大学入学共通テストの受験教科・科目上では，それぞれを「出題範囲」と呼び，理科「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」として１科目扱いとなり，このなかから必ず２つの出題範囲を選択し受験することになります。

イ　理科で［「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」］と［「物理」，「化学」，「生物」，「地学」から１科目］を選択する場合には，「同一名称を含む科目・出題範囲」を選択することができます。

ウ　地理歴史および公民の「地理総合／歴史総合／公共」を受験する場合は，このなかから必ず２つを選択し受験することになります。

エ　地理歴史および公民においては，「公共、倫理」と「公共、政治・経済」の組み合わせを選択することはできません。また，「地理総合／歴史総合／公共」を選択した者は，選択解答したものと同一名称を含む科目の組み合わせを選択することはできません。

オ　英語にはリスニングテストを含みます。なお，リスニングの受験を免除された者については，リーディング（100 点満点）の素点を 200 点満点に換算して利用します。

カ　資源地球科学コースと資源開発環境コースの受験者は，それぞれのパターンのいずれかを満たすように受験してください。

キ　資源政策コースの数学で，２科目受験した場合は，高得点の科目を合格判定に用います。

【個別学力検査等】

学部・学科・コース			個別学力検査等
国際資源学部	国際資源学科	資源政策コース	面　接
		資源地球科学コース	面　接
		資源開発環境コース	面　接

（２）教育文化学部

選抜方法：大学入学共通テストの成績，調査書，推薦書，および個別学力検査等の結果を総合して判定します。

【大学入学共通テスト】

教科・科目等				受験を要する教科・科目名																								
				国語	地理歴史				公民			数学			理科								外国語					情報
学部・課程・学科等			パターン	国語	地理総合、地理探究	歴史総合、日本史探究	歴史総合、世界史探究	地理総合／歴史総合／公共	公共、倫理	公共、政治・経済	地理総合／歴史総合／公共	数学Ⅰ、数学A	数学Ⅰ	数学Ⅱ、数学B、数学C	物理基礎	化学基礎	生物基礎	地学基礎	物理	化学	生物	地学	英語	ドイツ語	フランス語	中国語	韓国語	情報Ⅰ
教育文化学部	学校教育課程	初等中等教育コース	①	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
				1	2							1			(2)				1				1				1
			②	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
				1	2							1							2				1				1
			③	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
				1	1							1		1	(2)				1				1				1
			④	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
				1	1							1		1					2				1				1
			⑤	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	◎
				1	2							1		1	(2)								1				1
			⑥	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
				1	2							1		1					1				1				1
		特別支援教育コース	①	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
				1	2							1			(2)				1				1				1
			②	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
				1	2							1							2				1				1
			③	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
				1	1							1		1	(2)				1				1				1
			④	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
				1	1							1		1					2				1				1
			⑤	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	◎
				1	2							1		1	(2)								1				1
			⑥	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
				1	2							1		1					1				1				1
		こども発達コース	①	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
				1	2							1			(2)				1				1				1
			②	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
				1	2							1							2				1				1
			③	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
				1	1							1		1	(2)				1				1				1
			④	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
				1	1							1		1					2				1				1
			⑤	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	◎
				1	2							1		1	(2)								1				1
			⑥	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
				1	2							1		1					1				1				1
		地域文化学科	①	◎	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
				1																								
			②	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×
																							1					

◎は必ず受験を要する科目，○は選択して受験を要する科目，×は受験を要しない科目，その下欄の数字は必要科目数を示します。但し理科「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」は科目として１つであり，カッコ内の数字は解答が必要な出題範囲数を示します。

〔教育文化学部における注意事項〕

ア　上記の教科・科目一覧表において，物理基礎，化学基礎，生物基礎，地学基礎は，大学入学共通テストの受験教科・科目上では，それぞれを「出題範囲」と呼び，理科「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」として１科目扱いとなり，このなかから必ず２つの出題範囲を選択し受験することになります。

イ　理科で［「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」］と［「物理」，「化学」，「生物」，「地学」から１科目］を選択する場合には，「同一名称を含む科目・出題範囲」を選択することができます。

ウ　大学入学共通テストで１科目を指定しているもののうち，理科の試験時間において「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」，「物理」，「化学」，「生物」，「地学」から２科目を受験した場合は，解答順に，前半に受験した科目を第１解答科目，後半に受験した科目を第２解答科目とし，第１解答科目の得点を合格判定に用います。

エ　地理歴史および公民の「地理総合／歴史総合／公共」を受験する場合は，このなかから必ず２つを選択し受験することになります。

オ　地理歴史および公民においては，「公共、倫理」と「公共、政治・経済」の組み合わせを選択することはできません。また，「地理総合／歴史総合／公共」を選択した者は，選択解答したものと同一名称を含む科目の組み合わせを選択することはできません。

カ　大学入学共通テストで１科目を指定しているもののうち，地理歴史・公民の試験時間において２科目受験した場合は，解答順に，前半に受験した科目を第１解答科目，後半に受験した科目を第２解答科目とし，第１解答科目の得点を合格判定に用います。

キ　英語にはリスニングテストを含みます。なお，リスニングの受験を免除された者については，リーディング（100 点満点）の素点を 200 点満点に換算して利用します。

ク　それぞれのパターンのいずれかを満たすように受験してください。複数のパターンを満たす場合は，高得点のパターンを合格判定に用います。

【個別学力検査等】

学部・課程・学科等			個別学力検査等
教育文化学部	学校教育課程	初等中等教育コース	小論文および面接，または実技検査（音楽か美術）および面接
		特別支援教育コース	小論文および面接
		こども発達コース	小論文および面接（口頭試問を含む。）
	地域文化学科		小論文および面接

（3）医学部

選抜方法：大学入学共通テストの成績，調査書，推薦書，志願理由書，小論文および面接の結果を総合して判定します。

【大学入学共通テスト】

教科・科目等			受験を要する教科・科目名																							
			国語	地理歴史				公民			数学			理科								外国語					情報
学部・学科		パターン	国語	地理総合、地理探究	歴史総合、日本史探究	歴史総合、世界史探究	地理総合／歴史総合／公共	公共、倫理	公共、政治・経済	地理総合／歴史総合／公共	数学Ⅰ、数学A	数学Ⅰ	数学Ⅱ、数学B、数学C	物理基礎	化学基礎	生物基礎	地学基礎	物理	化学	生物	地学	英語	ドイツ語	フランス語	中国語	韓国語	情報Ⅰ
医学部	医学科		◎	○	○	○	×	○	○	×	◎	×	◎	×	×	×	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	◎
			1	1							1		1					2				1					1

◎は必ず受験を要する科目，○は選択して受験を要する科目，×は受験を要しない科目，その下欄の数字は必要科目数を示します。

〔医学部における注意事項〕

ア　大学入学共通テストで１科目を指定しているもののうち，地理歴史・公民の試験時間において２科目受験した場合は，解答順に，前半に受験した科目を第１解答科目，後半に受験した科目を第２解答科目とし，第１解答科目の得点を合格判定に用います。

イ　英語にはリスニングテストを含みます。なお，リスニングの受験を免除された者については，リーディング（100 点満点）の素点を 200 点満点に換算して利用します。

【個別学力検査等】

学部・学科等		個別学力検査等
医学部	医学科	小論文および面接

５．大学入学共通テストおよび個別学力検査等の配点

【学校推薦型選抜Ⅰ】

学部・学科・課程等			個別学力検査等	配　点	
教育文化学部	学校教育課程	初等中等教育コース	小　論　文	200 点	500 点
			実 技 検 査	200 点	
			面　　接	100 点	
総合環境理工学部	応用化学生物学科 生物学コース 有機・高分子化学コース 応用化学コース 環境数物科学科 数理科学・地球環境学コース 機能デバイス物理コース 社会システム工学科 モビリティコース 電気システムコース 社会基盤コース		面　　接	100 点	

【学校推薦型選抜Ⅱ】

学部・学科・課程等			試験の区分	国　語	地歴	公民	数　学	理　科	外国語	情　報	実技検査	小論文	面接	合　計	
国際資源学部	国際資源学科	資源政策コース	大学入学共通テスト	200 (200 × 1.0 × 1)	200 (100 × 1.0 × 2)		100 (100 × 1.0 × 1)		200 (200 × 1.0 × 1)	50 (100 × 0.5 × 1)				750	1150
			個別学力検査等										400	400	
		資源地球科学コース	大学入学共通テスト	200 (200 × 1.0 × 1)			300 (100 × 1.5 × 2)	300 (100 × 1.5 × 2)	200 (200 × 1.0 × 1)	50 (100 × 0.5 × 1)				1050	1400
			個別学力検査等										350	350	
		資源開発環境コース	大学入学共通テスト	200 (200 × 1.0 × 1)			300 (100 × 1.5 × 2)	300 (100 × 1.5 × 2)	200 (200 × 1.0 × 1)	50 (100 × 0.5 × 1)				1050	1400
			個別学力検査等										350	350	
教育文化学部	学校教育課程	初等中等教育コース	大学入学共通テスト	200×7/9×1	※100×7/9×1 ※100×7/9×1		※100×7/9×1 ※100×7/9×1	※100×7/9×1 ※100×7/9×1	200×7/9×1	50 (100 × 0.5 × 1)				750	1050
			個別学力検査等								#200	#200	100	300	
		特別支援教育コース	大学入学共通テスト	100 (200 × 0.5 × 1)	※ 50 (100 × 0.5 × 1) ※ 50 (100 × 0.5 × 1)		※ 50 (100 × 0.5 × 1) ※ 50 (100 × 0.5 × 1)	※ 50 (100 × 0.5 × 1) ※ 50 (100 × 0.5 × 1)	100 (200 × 0.5 × 1)	20 (100 × 0.2 × 1)				470	770
			個別学力検査等									200	100	300	
		こども発達コース	大学入学共通テスト	100 (200 × 0.5 × 1)	※ 50 (100 × 0.5 × 1) ※ 50 (100 × 0.5 × 1)		※ 50 (100 × 0.5 × 1) ※ 50 (100 × 0.5 × 1)	※ 50 (100 × 0.5 × 1) ※ 50 (100 × 0.5 × 1)	100 (200 × 0.5 × 1)	20 (100 × 0.2 × 1)				470	770
			個別学力検査等									200	100	300	
	地域文化学科		大学入学共通テスト	#100 (200 × 0.5 × 1)					#100 (200 × 0.5 × 1)					100	500
			個別学力検査等									200	200	400	
医学部	医　学　科		大学入学共通テスト	100 (200 × 0.5 × 1)	50 (100 × 0.5 × 1)		100 (100 × 0.5 × 2)	100 (100 × 0.5 × 2)	100 (200 × 0.5 × 1)	50 (100 × 0.5 × 1)				500	750
			個別学力検査等									100	150	250	

注１：大学入学共通テスト欄の（　）内は，大学入学共通テストの素点，傾斜率および科目数を示します。（素点×傾斜率×科目数）
注２：大学入学共通テストの地理歴史，公民の「地理総合/歴史総合/公共」の素点は，この中から２つ選択で100点とします。
注３：大学入学共通テストの理科の素点は，「物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎」から2つ選択で100点，「基礎を付さない科目」1科目選択で100点とします。
注４：大学入学共通テストの外国語において「英語」を選択した者で，リスニングの受験を免除された者については，リーディング（100点満点）の素点を200点満点に換算して利用します。
注５：教育文化学部の大学入学共通テスト欄の※印は，このうちから必要科目を選択するものです。
注６：教育文化学部学校教育課程初等中等教育コースの個別学力検査等欄の＃印は，1科目等を選択するものです。実技検査は，音楽，美術のいずれか１つを選択します。
注７：教育文化学部地域文化学科の大学入学共通テスト欄の＃印はどちらかの1教科を選択するものですが，2教科とも受験した場合は，高得点の教科を合格判定に用います。

６．実技検査の内容

[学校推薦型選抜Ⅰ]【教育文化学部】

学校教育課程　　初等中等教育コース

【体育】

次の運動種目①から⑥のうちから1種目を選択して受験してください。

運動種目　①陸上競技（競走，跳躍，または投てき）　②バレーボール　③サッカー
④卓球　　⑤柔道　　⑥ダンス

注）出願書類と同時に提出するもの：スポーツ活動の調書（本学指定の様式）
調書には，調書に記載した各種大会出場における成績（順位，タイムなど）を証明する資料を添付すること。
（記載事項がない場合も調書は必ず提出してください。）

※　証明する資料とは，大会プログラム，メンバー表，賞状，認定証，ランキング表，新聞や専門雑誌の切り抜きなどです。（いずれもコピーにて可。資料は可能な限りＡ４判としてください。）

[学校推薦型選抜Ⅱ]【教育文化学部】

学校教育課程　　初等中等教育コース

【音楽】

実技の内容：１～３のジャンルから２つを選択し，演奏する。

1.ピアノ（任意の楽曲を選び，暗譜で演奏）

2.声　楽（以下の４曲から１曲を選び，原語および暗譜で演奏）

ａ．中田章作曲　早春賦　変ホ長調（２番まで）

ｂ．A.スカルラッティ作曲　Se tu della mia morte　へ短調

ｃ．G.トレッリ作曲　Tu lo sai　ニ長調

ｄ．G.パイジェッロ作曲　Nel cor più non mi sento　へ長調

※　伴奏は本学教員が担当します。伴奏譜は本学で用意します。

3.管楽器，弦楽器，打楽器，和楽器
（１つの楽器を選び，任意の独奏曲を暗譜，無伴奏で演奏）

※　無伴奏の作品は独奏譜を，ピアノ伴奏付き独奏曲は伴奏譜を出願時に提出してください。
なお楽譜には楽器名を記載し，学校推薦型選抜Ⅱと明記してください。
使用する楽器は次に示すものとし，各自持参してください。
ただし，マリンバ（Ｃスケール，４オクターヴ）は大学で用意します。

管楽器‥‥フルート，オーボエ，クラリネット，サクソフォーン，ファゴット，ホルン，
トランペット，トロンボーン，ユーフォニアム，テューバ
弦楽器‥‥ヴァイオリン，ヴィオラ，チェロ，コントラバス
打楽器‥‥マリンバ
和楽器‥‥三味線，箏，尺八

【美術】

実技の内容：基礎的な立体および平面の造形（３時間）

※　実技検査に必要なものは本学で用意します。

Ⅳ－１　総合型選抜Ⅰ【国際資源学部】

１．選抜関係日程

出　願　期　間　：　令和８年　９月　４日（金）　～　令和８年　９月１０日（木）（必着）
試　　験　　日　：　令和８年１０月　３日（土）
合 格 発 表 日　：　令和８年１１月　４日（水）
入学手続期間　：　令和８年１１月　９日（月）　～　令和８年１１月１２日（木）（必着）

２．募集人員

学　　科	コ　　ー　　ス	募 集 人 員
国際資源学科	資 源 政 策 コ ー ス	４人
	資源地球科学コース	５人
	資源開発環境コース	６人
計		１５人

３．出願資格

学　　科	コ　　ー　　ス	出　　願　　資　　格
国際資源学科	資 源 政 策 コ ー ス 資源地球科学コース 資源開発環境コース	次のいずれかに該当する者で，合格した場合入学を確約できる者 ① 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者および令和９年３月卒業見込みの者 ② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および令和９年３月修了見込みの者 ③ 学校教育法施行規則第150条（第６号を除く。）の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および令和９年３月31日までにこれに該当する見込みの者

４．選抜方法

小論文と面接の結果を総合的に評価します。なお，大学入学共通テストは課しません。

学　　科	コ　　ー　　ス	実　施　教　科　等	
		教科等	採点・評価の観点，基準等
国際資源学科	資 源 政 策 コ ー ス	小論文	「知識・技能」,「思考力・判断力・表現力」を重点的に評価します。 計算問題を含むことがあります。
		面　接	いくつかの質問を英語で行います。 いくつかの質問には英語で答えてもらいます。 「知識・技能」,「思考力・判断力・表現力」,「主体性・多様性・協働性」を重点的に評価します。
	資源地球科学コース	小論文	「知識・技能」,「思考力・判断力・表現力」を重点的に評価します。 計算問題を含むことがあります。
		面　接	いくつかの質問を英語で行います。 いくつかの質問には英語で答えてもらいます。 「知識・技能」,「思考力・判断力・表現力」,「主体性・多様性・協働性」を重点的に評価します。
	資源開発環境コース	小論文	「知識・技能」,「思考力・判断力・表現力」を重点的に評価します。 計算問題を含むことがあります。
		面　接	いくつかの質問には英語で答えてもらいます。 「知識・技能」,「思考力・判断力・表現力」,「主体性・多様性・協働性」を重点的に評価します。

Ⅳ－２　総合型選抜Ⅰ【教育文化学部】

１．選抜関係日程

出　願　期　間　：　令和８年１１月　２日（月）　～　令和８年１１月　９日（月）（必着）
試　　験　　日　：　令和８年１１月２１日（土）
合 格 発 表 日　：　令和８年１２月　４日（金）
入学手続期間　：　令和８年１２月１０日（木）　～　令和８年１２月１１日（金）（必着）

２．募集人員

学　　科	募 集 人 員
地域文化学科	８人

３．出願要件

学　　科	出　　願　　要　　件
地域文化学科	次の(1)および(2)に該当する者で，合格した場合入学を確約できる者 (1)　次のいずれかに該当する者 ①　高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者および令和９年３月卒業見込みの者 ②　通常の課程による12年の学校教育を修了した者および令和９年３月修了見込みの者 ③　学校教育法施行規則第150条（第６号を除く）の規定により，高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および令和９年３月31日までにこれに該当する見込みの者 (2)　地域連携活動あるいは国際交流活動に関して，継続的な活動実績を有し，活動実績を客観的に確認できる根拠資料を提出できる者※ ※　総合型選抜Ⅰ（地域連携・国際交流）は，地域の方々と連携した活動または国際交流活動を主体的・継続的に行っている人を受け入れる募集枠です。学校・地方自治体・民間財団などでの活動をきっかけとしたものでも構いません。また，主体的・継続的な活動であれば，活動期間は問いません。学校での授業および部活動を中心とする場合には，主体性や継続性に加えて，多様な人々との協働性および活動での創意工夫を評価の対象とします。 地域連携活動とは地域社会の人々との協働という要素を含む活動を意味します。想定される具体例をいくつか挙げます。 ○地域の人々と協働して祭の企画・運営・実行などの活動に継続的に参加している。 ○地域ボランティアとして施設訪問などを継続的に行っている。 ○地域のスポーツ団体等で活動やその補助を継続的に行っている。 国際交流活動としては以下のようなものが想定されます。 ○オンラインを含む海外研修などを体験し，その後も継続的に交流を続けている。 ○留学生の受け入れなどを経験し，その後も継続的に交流を続けている。 ○学校外の団体等において継続的に外国人との交流活動を行っている。

４．選抜方法

出願書類，小論文，プレゼンテーションおよび面接の結果を総合して判定します。なお，大学入学共通テストは課しません。

学　　科	実　施　教　科　等		
	教科等	採点・評価の観点，基準等	配点
地域文化学科	小論文	社会や文化に関する課題文に提起されている問題点を的確に読み取り，高等学校等までで学んだ基礎知識に基づいてその問題点を考察し，自分の見解を論理的かつ説得力を持って文章化する能力をみます。	100 点
	プレゼンテーション※	地域文化学科における人材養成の目的・目標をよく理解したうえで，地域の方々と連携した活動または国際交流活動を主体的・継続的に行っているかをみます。また，その活動内容を明確かつ分かりやすく表現できる能力をみます。	50 点
	面　接	地域文化学科における人材養成の目的・目標をよく理解したうえで，志望理由および入学後の学修の目標等を明確かつ簡潔に表現できる能力をみます。さらに，地域連携・国際交流活動内容記載書に記載された活動とその意義について明確かつ分かりやすく説明できる能力および主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度をみます。	100 点

※プレゼンテーションでは，資料の使用も可としますがパソコン等の電子機器の使用は認めません。

Ⅳ－３　総合型選抜Ⅰ（出願資格Ａ）【総合環境理工学部】

１．選抜関係日程

出　願　期　間　：　令和８年　９月　４日（金）　～　令和８年　９月１０日（木）（必着）
試　　験　　日　：　令和８年１０月　３日（土）
合 格 発 表 日　：　令和８年１１月　４日（水）
入学手続期間　：　令和８年１１月　９日（月）　～　令和８年１１月１２日（木）（必着）

２．出願資格，募集人員

学　　科	コ　　ー　　ス	募集人員	出　　願　　資　　格
応用化学生物学科	生物学コース	１３人	次のいずれかに該当する者で，合格した場合入学を確約できる者 ①　高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者および令和９年３月卒業見込みの者 ②　通常の課程による12年の学校教育を修了した者および令和９年３月修了見込みの者 ③　学校教育法施行規則第150条（第６号を除く。）の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および令和９年３月31日までにこれに該当する見込みの者
	有機・高分子化学コース		
	応用化学コース		
環境数物科学科	数理科学・地球環境学コース	４人	
	機能デバイス物理コース	３人	
社会システム工学科	モビリティコース	５人	
	電気システムコース	２人	
	社会基盤コース	３人	
計		３０人	

３．選抜方法

小論文および面接を総合的に評価して選抜します。
なお，大学入学共通テストは課しません。

学　　科	コ　　ー　　ス	実　　施　　教　　科　　等
応用化学生物学科	生物学コース	次に実施する検査の結果を総合的に評価して選抜します。 ①　小論文 ②　面接［理科（化学基礎，生物基礎のうちから１科目を選択）の基礎学力に関する試問を含む。］
	有機・高分子化学コース	
	応用化学コース	
環境数物科学科	数理科学・地球環境学コース	次に実施する検査の結果を総合的に評価して選抜します。 ①　小論文 ②　面接（数学＊の基礎学力に関する試問を含む。）
	機能デバイス物理コース	次に実施する検査の結果を総合的に評価して選抜します。 ①　小論文 ②　面接［数学＊と理科（物理基礎，化学基礎のうちから１科目を選択）の基礎学力に関する試問を含む。］
社会システム工学科	モビリティコース	次に実施する検査の結果を総合的に評価して選抜します。 ①　小論文 ②　面接（数学＊と理科（物理基礎）の基礎学力に関する試問を含む。）
	電気システムコース	次に実施する検査の結果を総合的に評価して選抜します。 ①　小論文 ②　面接（数学＊と理科（物理基礎）の基礎学力に関する試問を含む。）
	社会基盤コース	次に実施する検査の結果を総合的に評価して選抜します。 ①　小論文 ②　面接（数学＊と理科（物理基礎）の基礎学力に関する試問を含む。）

＊　数学の出題範囲は，数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ａ，数学Ｂとします。数学Ⅰ，数学Ⅱの出題範囲は，高等学校学習指導要領に記載されている全項目とします。ただし，数学Ａは「図形の性質」および「場合の数と確率」，数学Ｂは「数列」を出題範囲とします。

４．配　点

選抜方法	配点
小　論　文	30 点
面　　接	70 点
合　　計	100 点

Ⅳ－４　総合型選抜Ⅰ（出願資格Ｂ）【総合環境理工学部】

１．選抜関係日程

出　願　期　間　：　令和８年　９月　４日（金）　～　令和８年　９月１０日（木）（必着）
試　　験　　日　：　令和８年１０月　３日（土）
合　格　発　表　日　：　令和８年１１月　４日（水）
入学手続期間　：　令和８年１１月　９日（月）　～　令和８年１１月１２日（木）（必着）

２．出願資格，募集人員

次の①および②に該当する者で，合格した場合入学を確約できる者
①　高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者および令和９年３月卒業見込みの者
②　令和９年３月 31 日までに次の志望するコースの出願要件を満たす者

学　　科	コ　　ー　　ス	募集人員	出　　願　　要　　件
応用化学生物学科	生物学コース	４人	工業および農業に関する教科・科目を 20 単位以上修得（見込みを含む。）した者［学科の指定なし］
	有機・高分子化学コース		
	応用化学コース		
環境数物科学科	機能デバイス物理コース	２人	工業および情報に関する教科・科目を 20 単位以上修得（見込みを含む。）した者［学科の指定なし］
社会システム工学科	モビリティコース	５人	工業に関する教科・科目を 20 単位以上修得（見込みを含む。）した者［学科の指定なし］
	電気システムコース	３人	工業および情報に関する教科・科目を 20 単位以上修得（見込みを含む。）した者［学科の指定なし］
	社会基盤コース	３人	工業および農業に関する教科・科目を 20 単位以上修得（見込みを含む。）した者［学科の指定なし］
計		１７人	

３．選抜方法

小論文および面接を総合的に評価して選抜します。
なお，大学入学共通テストは課しません。

学　　科	コ　　ー　　ス	実　　施　　教　　科　　等
応用化学生物学科	生物学コース	次に実施する検査の結果を総合的に評価して選抜します。 ①　小論文 ②　面接［理科（化学基礎，生物基礎のうちから１科目を選択）の基礎学力に関する試問を含む。］
	有機・高分子化学コース	
	応用化学コース	
環境数物科学科	機能デバイス物理コース	次に実施する検査の結果を総合的に評価して選抜します。 ①　小論文 ②　面接［数学＊と理科（物理基礎，化学基礎のうちから１科目を選択）の基礎学力に関する試問を含む。］
社会システム工学科	モビリティコース	次に実施する検査の結果を総合的に評価して選抜します。 ①　小論文 ②　面接（数学＊と理科（物理基礎）の基礎学力に関する試問を含む。）
	電気システムコース	次に実施する検査の結果を総合的に評価して選抜します。 ①　小論文 ②　面接（数学＊と理科（物理基礎）の基礎学力に関する試問を含む。）
	社会基盤コース	次に実施する検査の結果を総合的に評価して選抜します。 ①　小論文 ②　面接（数学＊と理科（物理基礎）の基礎学力に関する試問を含む。）

＊　数学の出題範囲は，数学Ⅰ，数学Ⅱとします。数学Ⅰ，数学Ⅱの出題範囲は，高等学校学習指導要領に記載されている全項目とします。

４．配　点

選抜方法	配点
小　論　文	30 点
面　　接	70 点
合　　計	100 点

Ⅳ－５　総合型選抜Ⅰ【情報データ科学部】

１．選抜関係日程

出　願　期　間　：　令和８年　９月　４日（金）　～　令和８年　９月１０日（木）（必着）
試　　験　　日　：　令和８年１０月１０日（土）
合 格 発 表 日　：　令和８年１１月　４日（水）
入学手続期間　：　令和８年１１月　９日（月）　～　令和８年１１月１２日（木）（必着）

２．出願資格，募集人員

学　　科	募集人員	出　　願　　資　　格
情報データ科学科	２０人	次のいずれかに該当する者で，合格した場合入学を確約できる者 ①　高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者および令和９年３月卒業見込みの者 ②　通常の課程による12年の学校教育を修了した者および令和９年３月修了見込みの者 ③　学校教育法施行規則第150条（第６号を除く。）の規定により，高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および令和９年３月31日までにこれに該当する見込みの者

３．選抜方法

講義と面接を実施し，講義を受講した後に提出するレポートおよび面接を総合的に評価して選抜します。
なお，大学入学共通テストは課しません。

学　　科	実　　施　　教　　科　　等
情報データ科学科	次に実施する検査の結果を総合的に評価して選抜します。 ①　講義を受講した後，その内容に係る課題に対する解答をレポートにまとめ，提出する。 ②　面接（数学＊分野に関する知識についての試問を含む。）

＊　数学の出題範囲は，数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ａ，数学Ｂ，数学Ｃとします。数学Ⅰ，数学Ⅱの出題範囲は，高等学校学習指導要領に記載されている全項目とします。ただし，数学Ａは「図形の性質」および「場合の数と確率」，数学Ｂは「数列」，数学Ｃは「ベクトル」を出題範囲とします。また，文系・理系の区分を設けませんので，高等学校等の文系・理系に共通する学びの範囲からとします。

４．配　点

選 抜 方 法	配点
講義レポート	30 点
面　　接	70 点
合　　計	100 点

Ⅳ－６　総合型選抜Ⅱ【医学部保健学科】

１．選抜関係日程

出　願　期　間　：　令和８年１０月　９日（金）　～　令和８年１０月１５日（木）（必着）
試　　験　　日　：　令和８年１１月２８日（土）　～　令和８年１１月２９日（日）
合 格 発 表 日　：　令和９年　２月１０日（水）
入学手続期間　：　令和９年　２月１６日（火）　～　令和９年　２月１７日（水）（必着）

２．募集人員

学部・学科・専攻			募集人員
医学部	保健学科	看護学専攻	３５人
		理学療法学専攻	８人
		作業療法学専攻	８人
		計	５１人

３．出願資格

学部・学科・専攻			出願要件
医学部	保健学科	看護学専攻	次の(1)から(2)の要件すべてに該当する者 (1)　次のいずれかに該当する者 ①　高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）もしくは中等教育学校を卒業した者および令和９年３月卒業見込みの者 ②　通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者および令和９年３月修了見込みの者 ③　学校教育法施行規則第 150 条（第６号を除く。）の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および令和９年３月 31 日までにこれに該当する見込みの者 (2)　本学医学部保健学科での勉学を強く志望し，合格した場合には入学を確約できる者
		理学療法学専攻	次の(1)から(2)の要件すべてに該当する者 (1)　次のいずれかに該当する者 ①　高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）もしくは中等教育学校を令和９年３月卒業見込みの者（令和８年度の途中に卒業を認められる者を含む。） ②　通常の課程による 12 年の学校教育を令和９年３月修了見込みの者 ③　文部科学大臣が高等学校の課程と同等または相当する課程を有するものとして認定または指定した在外教育施設の当該課程を令和９年３月修了見込みの者（令和８年度の途中に修了を認められる者を含む。） (2)　本学医学部保健学科での勉学を強く志望し，合格した場合には入学を確約できる者
		作業療法学専攻	次の(1)から(2)の要件すべてに該当する者 (1)　次のいずれかに該当する者 ①　高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）もしくは中等教育学校を卒業した者および令和９年３月卒業見込みの者 ②　通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者および令和９年３月修了見込みの者 ③　学校教育法施行規則第 150 条（第６号を除く。）の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および令和９年３月 31 日までにこれに該当する見込みの者 (2)　本学医学部保健学科での勉学を強く志望し，合格した場合には入学を確約できる者

４．選抜方法

小論文と面接を実施し，出願書類（自己推薦書，調査書），小論文，面接の結果を総合的に評価します。
なお，合格者になるためには，大学入学共通テストにおいて本学医学部保健学科が指定する科目の合計得点が，各専攻が定める以下の基準を満たす必要があります。

学部・学科・専攻			大学入学共通テストにおける配点合計	総合型選抜Ⅱの合格者となるための大学入学共通テストにおける基準点
医学部	保健学科	看護学専攻	835	合計得点が概ね460点以上
		理学療法学専攻	950	合計得点が概ね560点以上
		作業療法学専攻	940	合計得点が概ね470点以上

注：大学入学共通テスト平均点の動向や志願状況などによっては基準点を下げる場合があります。

【大学入学共通テスト】

教科・科目等 ＼ 学部・学科・専攻			パターン	受験を要する教科・科目名																								
				国語	地理歴史				公民			数学			理科								外国語					情報
				国語	地理総合、地理探究	歴史総合、日本史探究	歴史総合、世界史探究	地理総合／歴史総合／公共	公共、倫理	公共、政治・経済	地理総合／歴史総合／公共	数学Ⅰ、数学A	数学Ⅰ	数学Ⅱ、数学B、数学C	物理基礎	化学基礎	生物基礎	地学基礎	物理	化学	生物	地学	英語	ドイツ語	フランス語	中国語	韓国語	情報Ⅰ
医学部	保健学科	看護学専攻	①	◎	○	○	○	○	○	○	○	◎	×	◎	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	◎
				1	1							1		1	(2)								1				1	
			②	◎	○	○	○	○	○	○	○	◎	×	◎	×	×	×	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	◎
				1	1							1		1					1				1				1	
		理学療法学専攻 作業療法学専攻	①	◎	○	○	○	○	○	○	○	◎	×	◎	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	◎
				1	1							1		1	(2)				1				1				1	
			②	◎	○	○	○	○	○	○	○	◎	×	◎	×	×	×	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	◎
				1	1							1		1					2				1				1	
			③	◎	○	○	○	○	○	○	○	◎	×	◎	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	◎
				1	2							1		1	(2)								1				1	
			④	◎	○	○	○	○	○	○	○	◎	×	◎	×	×	×	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	◎
				1	2							1		1					1				1				1	

◎は必ず受験を要する科目，○は選択して受験を要する科目，×は受験を要しない科目，その下欄の数字は必要科目数を示します。但し理科「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」は科目として１つであり，カッコ内の数字は解答が必要な出題範囲数を示します。

〔医学部における注意事項〕

ア　上記の教科・科目一覧表において，物理基礎，化学基礎，生物基礎，地学基礎は，大学入学共通テストの受験教科・科目上では，それぞれを出題範囲と呼び，理科「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」として１科目扱いとなり，このなかから必ず２つの出題範囲を選択し受験することになります。

イ　理科で［「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」］と［「物理」，「化学」，「生物」，「地学」から１科目］を選択する場合には，「同一名称を含む科目・出題範囲」を選択することができます。なお，医学部保健学科においては「地学基礎」，「地学」を選択することはできません。

ウ　大学入学共通テストで１科目を指定しているもののうち，理科の試験時間において「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」，「物理」，「化学」，「生物」，「地学」から２科目を受験した場合は，解答順に，前半に受験した科目を第１解答科目，後半に受験した科目を第２解答科目とし，第１解答科目の得点を合格判定に用います。

エ　地理歴史および公民の「地理総合／歴史総合／公共」を受験する場合は，このなかから必ず２つを選択し受験することになります。

オ　地理歴史および公民においては，「公共、倫理」と「公共、政治・経済」の組み合わせを選択することはできません。また，「地理総合／歴史総合／公共」を選択した者は，選択解答したものと同一名称を含む科目の組み合わせを選択することはできません。

カ　大学入学共通テストで１科目を指定しているもののうち，地理歴史・公民の試験時間において２科目受験した場合は，解答順に，前半に受験した科目を第１解答科目，後半に受験した科目を第２解答科目とし，第１解答科目の得点を合格判定に用います。

キ　英語にはリスニングテストを含みます。なお，リスニングの受験を免除された者については，リーディング（100 点満点）の素点を 200 点満点に換算して利用します。

ク　それぞれのパターンのいずれかを満たすように受験してください。複数のパターンを満たす場合は，高得点のパターンを合格判定に用います。

【個別学力検査等】

学部・学科・専攻			実施教科等	
			教科等	採点・評価の観点，基準等
医学部	保健学科	看護学専攻	小論文	医療技術者としての適性と資質を判断するため，思考力，表現力，判断力などをみます。
			面接	地域における医療に貢献したいという強い意欲，人の健康・生活に対する関心や基本的理解，学習意欲と目的意識について評価します。出願書類（自己推薦書，調査書）を面接の参考資料とし，主体性を持って様々な人々と協調する態度を評価します。
		理学療法学専攻	小論文	医療技術者としての適性と資質を判断するため，思考力，表現力，判断力などをみます。
			面接	理学療法士としての適性と資質，主体性を持って多様な人々と協動して学ぶ態度を判断します。そのため，思考力，判断力，表現力などに加え，超少子高齢社会，及び地域社会への関心や貢献するための意欲・態度，コミュニケーション能力，協調性などをみます。出願書類（自己推薦書，調査書）を面接の参考資料とします。
		作業療法学専攻	小論文	医療技術者としての適性と資質を判断するため，思考力，表現力，判断力などをみます。
			面接	地域医療に貢献する強い意欲，人の健康・生活に対する関心や理解，学習意欲と目的意識，他者への共感とコミュニケーション能力，協調性などをみます。出願書類（自己推薦書，調査書）を面接の参考資料とします。

5．大学入学共通テストおよび個別学力検査等の配点

学部・学科・専攻			試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	小論文	面接	合計
医学部	保健学科	看護学専攻	大学入学共通テスト	200 (200×1.0×1)	100 (100×1.0×1)		200 (100×1.0×2)	100 (100×1.0×1)	200 (200×1.0×1)	35 (100×0.35×1)			835 注5
			個別学力検査等								200	200	400
		理学療法学専攻	大学入学共通テスト	200 (200×1.0×1)	※100 (100×1.0×1) ※100 (100×1.0×1)		200 (100×1.0×2)	※100 (100×1.0×1) ※100 (100×1.0×1)	200 (200×1.0×1)	50 (100×0.5×1)			950 注5
			個別学力検査等								200	300	500
		作業療法学専攻	大学入学共通テスト	200 (200×1.0×1)	※100 (100×1.0×1) ※100 (100×1.0×1)		200 (100×1.0×2)	※100 (100×1.0×1) ※100 (100×1.0×1)	200 (200×1.0×1)	40 (100×0.4×1)			940 注5
			個別学力検査等								200	300	500

注１：大学入学共通テスト欄の（　）内は，大学入学共通テストの素点，傾斜率および科目数を示します。（素点×傾斜率×科目数）
注２：大学入学共通テストの理科の素点は，「物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎」から2つ選択で100点，「基礎を付さない科目」1科目選択で100点とします。
注３：大学入学共通テストの外国語において「英語」を選択した者で，リスニングの受験を免除された者については，リーディング（100点満点）の素点を200点満点に換算して利用します。
注４：大学入学共通テスト欄の※印は，このうちから必要科目を選択するものです。
注５：大学入学共通テストの合計得点は，合格者を決定する際に，本学医学部保健学科が定める基準を満たしているか否かの判定に使用します。

6．合格者の決定方法

1．個別学力検査等の総合点に基づいて合格者を決めます。その際，大学入学共通テストの得点は，本学医学部保健学科が定める基準を満たす必要があります。
2．面接において面接員が「不可」の評価をした場合は，合格者としません。
3．総合型選抜Ⅱの合格者が募集人員に満たない場合，その欠員は一般選抜の前期日程の募集人員に加えます。

Ⅳ－７　総合型選抜Ⅱ【情報データ科学部】

１．選抜関係日程

出　願　期　間　：　令和８年１２月　９日（水）　～　令和８年１２月１５日（火）（必着）
試　　験　　日　：　令和９年　１月２２日（金）
合 格 発 表 日　：　令和９年　２月１０日（水）
入学手続期間　：　令和９年　２月１６日（火）　～　令和９年　２月１７日（水）（必着）

２．出願資格，募集人員

学　　科	募 集 人 員	出　　願　　資　　格
情 報 デ ー タ 科 学 科	１０人	次のいずれかに該当する者で，合格した場合入学を確約できる者 ①　高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者および令和９年３月卒業見込みの者 ②　通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者および令和９年３月修了見込みの者 ③　学校教育法施行規則第 150 条（第６号を除く。）の規定により，高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および令和９年３月 31 日までにこれに該当する見込みの者

３．選抜方法

大学入学共通テストの成績と個別学力検査等の結果を総合して判定します。

【大学入学共通テスト】

教科・科目等			受験を要する教科・科目名																									
			国語	地理歴史				公民			数学			理科								外国語					情報
学部・学科		パターン	国語	地理総合、地理探究	歴史総合、日本史探究	歴史総合、世界史探究	地理総合／歴史総合／公共	公共、倫理	公共、政治・経済	地理総合／歴史総合／公共	数学Ⅰ、数学A	数学Ⅰ	数学Ⅱ、数学B、数学C	物理基礎	化学基礎	生物基礎	地学基礎	物理	化学	生物	地学	英語	ドイツ語	フランス語	中国語	韓国語	情報Ⅰ
情報データ科学部	情報データ科学科	①	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	◎
			1	2							1		1	(2)								1					1
		②	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
			1	2							1		1					1				1					1
		③	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
			1	1							1		1	(2)				1				1					1
		④	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
			1	1							1		1					2				1					1

◎は必ず受験を要する科目，○は選択して受験を要する科目，×は受験を要しない科目，その下欄の数字は必要科目数を示します。但し理科「物理基礎 / 化学基礎 / 生物基礎 / 地学基礎」は科目として１つであり，カッコ内の数字は解答が必要な出題範囲数を示します。

〔情報データ科学部における注意事項〕

ア　国語は「近代以降の文章」の得点のみを合格判定に用います。
イ　上記の教科･科目一覧表において，物理基礎，化学基礎，生物基礎，地学基礎は，大学入学共通テストの受験教科･科目上では，それぞれを「出題範囲」と呼び，理科「物理基礎 / 化学基礎 / 生物基礎 / 地学基礎」として１科目扱いとなり，この中から必ず２つの出題範囲を選択し受験することになります。
ウ　理科で［「物理基礎 / 化学基礎 / 生物基礎 / 地学基礎」］と［「物理」，「化学」，「生物」，「地学」から１科目］を選択する場合には，「同一名称を含む科目・出題範囲」を選択することができます。
エ　大学入学共通テストで１科目を指定しているもののうち，理科の試験時間において「物理基礎 / 化学基礎 / 生物基礎 / 地学基礎」，「物理」，「化学」，「生物」，「地学」から２科目を受験した場合は，解答順に，前半に受験した科目を第１解答科目，後半に受験した科目を第２解答科目とし，第１解答科目の得点を合格判定に用います。
オ　地理歴史および公民の「地理総合 / 歴史総合 / 公共」を受験する場合は，この中から必ず２つを選択し受験することになります。
カ　地理歴史および公民においては，「公共、倫理」と「公共、政治・経済」の組み合わせを選択することはできません。また，「地理総合 / 歴史総合 / 公共」を選択した者は，選択解答したものと同一名称を含む科目の組み合わせを選択することはできません。
キ　大学入学共通テストで１科目を指定しているもののうち，地理歴史・公民の試験時間において２科目受験した場合は，解答順に，前半に受験した科目を第１解答科目，後半に受験した科目を第２解答科目とし，第１解答科目の得点を合格判定に用います。
ク　英語にはリスニングテストを含みます。なお，リスニングの受験を免除された者については，リーディング（100 点満点）の素点を 200 点満点に換算して利用します。
ケ　それぞれのパターンのいずれかを満たすように受験してください。複数のパターンを満たす場合は，高得点のパターンを合格判定に用います。

【個別学力検査等】

学部・学科		個　別　学　力　検　査　等
情報データ科学部	情報データ科学科	面　　接

4．大学入学共通テストおよび個別学力検査等の配点

学部・学科		試験の区分	国　語	地歴公民	数　学	理　科	外国語	情報	小論文	面接	合　計	
情報データ科学部	情報データ科学科	大学入学共通テスト	110 (110 × 1.0 × 1)	※100 (100 × 0.5 × 2) ※50 (100 × 0.5 × 1)	300 (100 × 1.5 × 2)	※50 (100 × 0.5 × 1) ※100 (100 × 0.5 × 2)	200 (200 × 1.0 × 1)	50 (100 × 0.5 × 1)			810	900
		個別学力検査等								90	90	

注１：大学入学共通テスト欄の（　）内は，大学入学共通テストの素点，傾斜率および科目数を示します。（素点×傾斜率×科目数）
注２：大学入学共通テストの地理歴史，公民の「地理総合/歴史総合/公共」の素点は，この中から2つ選択で100点とします。
注３：大学入学共通テストの理科の素点は，「物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎」の中から2つ選択で100点，「基礎を付さない科目」1科目選択で100点とします。
注４：大学入学共通テストの外国語において「英語」を選択した者で，リスニングの受験を免除された者については，リーディング（100点満点）の素点を200点満点に換算して利用します。
注５：大学入学共通テスト欄の※印は，このうちから必要科目を選択するものです。
注６：大学入学共通テストの国語は「近代以降の文章」のみ（素点は110点）を利用します。

Ⅴ－１　国際バカロレア入試【教育文化学部】

１．選抜関係日程

出　願　期　間　：　令和８年（2026年）　９月　４日（金）　～　令和８年　９月１０日（木）（必着）
試　　験　　日　：　令和８年（2026年）１０月　３日（土）
合 格 発 表 日　：　令和８年（2026年）１１月　４日（水）
入学手続期間　：　令和８年（2026年）１１月　９日（月）　～　令和８年１１月１２日（木）（必着）

２．募集人員

課程・学科およびコース		募 集 人 員
学校教育課程	初等中等教育コース	若干名
	特別支援教育コース	若干名
	こども発達コース	若干名
地 域 文 化 学 科		若干名

３．出願要件

次の①および②に該当する者
①　スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格を授与された者または令和９年（2027年）３月31日までに授与される見込の者
②　国際バカロレア資格の取得において，次のアおよびイに該当する者
ただし，イに該当する科目はアに該当する科目と別科目とする。
ア　言語Ａを「日本語」によりＨＬ（Higher Level）で履修した成績評価が４以上の者，または言語Ｂについて「日本語」をＨＬで履修した成績評価が６以上の者
イ　本学の指定する次表の科目を履修し，必要な成績評価を修めた者

課程・学科・コース		出　願　要　件
学校教育課程	初等中等教育コース	第１～６グループから１科目（ＨＬで成績評価が４以上）
	特別支援教育コース	第１～５グループから１科目（ＨＬで成績評価が４以上）
	こども発達コース	
地 域 文 化 学 科		第１グループまたは第３グループから１科目（ＨＬで成績評価が４以上）

４．選抜方法

書類審査（配点200点）および面接（配点200点）の結果に基づき総合的に評価します。出願書類の審査と面接試験によって「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」，「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。

課程・学科・コース		面　接　方　法
学校教育課程	初等中等教育コース	日本語で行います。 面接には，出願時提出書類（課題論文ＥＥ，及び知の理論ＴＯＫレポート）の内容に基づく口頭試問を含みます。
	特別支援教育コース	
	こども発達コース	
地 域 文 化 学 科		

Ⅴ－２　国際バカロレア入試【総合環境理工学部】

１．選抜関係日程

出　願　期　間　：　令和８年（2026年）　９月　４日（金）　～　令和８年　９月１０日（木）（必着）
試　　験　　日　：　令和８年（2026年）１０月　３日（土）
合 格 発 表 日　：　令和８年（2026年）１１月　４日（水）
入学手続期間　：　令和８年（2026年）１１月　９日（月）　～　令和８年１１月１２日（木）（必着）

２．募集人員

学　　科	コ　　ー　　ス	募 集 人 員
応用化学生物学科	生 物 学 コ ー ス 有機・高分子化学コース 応 用 化 学 コ ー ス	若干名
環境数物科学科	数理科学・地球環境学コース	若干名
	機能デバイス物理コース	若干名
社会システム工学科	モ ビ リ テ ィ コ ー ス	若干名
	電気システムコース	若干名
	社 会 基 盤 コ ー ス	若干名

３．出願要件

次の①，②のすべてに該当する者で，合格した場合入学を確約することができる者
① スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格証書を令和９年（2027年）３月までに授与された者および授与見込みの者
② 国際バカロレア資格の取得において，次のアおよびイに該当する者
　ア　言語Ａを「日本語」により履修した者，または言語Ｂについて「日本語」を履修した者
　イ　本学の指定する次表の科目を履修した者

学　　科	コ　　ー　　ス	出　　願　　要　　件
応用化学生物学科	生 物 学 コ ー ス 有機・高分子化学コース 応 用 化 学 コ ー ス	物理，化学，生物から１科目（ＨＬ）
環境数物科学科	数理科学・地球環境学コース	数学（ＨＬまたはＦＨＬ）
	機能デバイス物理コース	物理（ＨＬ）
社会システム工学科	モ ビ リ テ ィ コ ー ス	数学（ＨＬまたはＦＨＬ）および物理（ＨＬ）
	電気システムコース	数学（ＨＬまたはＦＨＬ）および物理（ＨＬ）
	社 会 基 盤 コ ー ス	数学（ＨＬまたはＦＨＬ）および物理（ＨＬ）

４．選抜方法

面接により評価します。面接を通じて「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」，「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。
なお，面接は日本語で行います。また，面接においては制作物等の持ち込みを認めません。

Ⅴ－３　国際バカロレア入試【情報データ科学部】

１．選抜関係日程

出　願　期　間　：　令和８年（2026年）　９月　４日（金）　～　令和８年　９月１０日（木）（必着）
試　　験　　日　：　令和８年（2026年）１０月１０日（土）
合 格 発 表 日　：　令和８年（2026年）１１月　４日（水）
入学手続期間　：　令和８年（2026年）１１月　９日（月）　～　令和８年１１月１２日（木）（必着）

２．募集人員

学　　科	募 集 人 員
情報データ科学科	若干名

３．出願要件

次の①，②のすべてに該当する者で，合格した場合入学を確約することができる者
① スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格証書を令和９年(2027年）３月までに授与された者及び授与見込みの者
② 国際バカロレア資格の取得において，次のアおよびイに該当する者
　ア　言語Ａを「日本語」により履修した者，または言語Ｂについて「日本語」を履修した者
　イ　本学の指定する次表の科目を履修した者

学　　科	出　　願　　要　　件
情報データ科学科	数学（ＨＬまたはＦＨＬ）

４．選抜方法

面接により評価します。面接を通じて「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」，「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。
なお，面接は日本語で行います。また，面接においては制作物等の持ち込みを認めません。

Ⅵ－１　私費外国人留学生入試

１．選抜関係日程

学　　部	出　願　期　間	試　験　日	合格発表日	入学手続期間
国際資源学部 教育文化学部 総合環境理工学部 情報データ科学部	令和８年（2026年） １２月１６日（水） ～ １２月１８日（金） （必着）	令和９年（2027年） １月２２日（金）	令和９年（2027年） ２月１０日（水）	令和９年（2027年） ２月１６日（火） ～ ２月１７日（水） （必着）
医　　学　　部	令和９年（2027年） １月２５日（月） ～ １月２７日（水） （必着）	令和９年（2027年） ２月２５日（木） ２６日（金） （保健学科は２５日のみ）	令和９年（2027年） ３月　７日（日）	令和９年（2027年） ３月１４日（日） ～ ３月１５日（月） （必着）

２．出願要件

・国際資源学部を志願する者は次の(1)(2)(4)に該当する者
・教育文化学部,医学部保健学科,総合環境理工学部および情報データ科学部を志願する者は次の（１）から（４）のすべてに該当する者
・医学部医学科を志願する者は次の（１）から（５）のすべてに該当する者

（１）日本国籍を有しない者（※１）
（２）次のいずれかに該当する者
　①　外国において，学校教育における12年の課程を修了した者（2027年３月31日までに修了見込みの者を含む。）またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
　②　スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者
　③　ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者
　④　フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者
　⑤　グレート・ブリテンおよび北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているGCEA資格を有する者
　⑥　アメリカ合衆国のWASCまたはACSI，もしくはグレート・ブリテンおよび北部アイルランド連合王国のCISから教育活動等に係る認定を受けた教育施設に置かれる12年の課程を修了した者（2027年３月31日までに修了見込みの者を含む。）
　⑦　本学において，個別の入学資格審査により，高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で，2027年３月31日までに18歳に達するもの（※２）
（３）独立行政法人日本学生支援機構が実施する2026年度（令和８年度）日本留学試験の本学が指定する教科・科目を受験した者
（４）出入国管理および難民認定法に規定する「留学」の在留資格を有する者または取得できる見込みの者（※３）
（５）日本留学試験科目の「日本語」において，読解，聴解・聴読解の得点が満点（400点）の90％以上,かつ,「数学および理科２科目」の得点の合計が満点（400点）の80％以上の者（医学部医学科志願者のみ）

※１　日本国籍を有しない者であっても，日本の高等学校（中等教育学校の後期課程を含みます。）を卒業した者，または同等以上の資格を得た者，および日本の永住許可を得ている者は，一般選抜の入学志願者と同じ扱いになり，「私費外国人留学生入試」には出願できません。

※２　個別の資格審査を要する場合は，82～83ページを参照の上，下記期日までに申請してください。
申請受付期限:令和８年（2026年）11月27日（金）（必着）

※３　「留学」以外の在留資格を有する者は，入学手続後速やかに「留学」の在留資格に変更する必要があります。

３．選抜方法

入学者の選抜は，教育文化学部，医学部医学科，医学部保健学科，総合環境理工学部，情報データ科学部では本学が実施する個別学力検査等および2026年度（令和８年度）日本留学試験（６月または11月実施の試験を利用）の結果を，国際資源学部では本学が実施する個別学力検査および2025（令和7）年１月以降に受験したTOEIC L&R,TOEFL iBTあるいはIELTSのいずれかの成績を総合して判定します。

４．入学者選抜の実施教科・科目等

学部	学科・課程・専攻・コース		個別学力検査等	募集人員	日本留学試験の利用科目					TOEIC L&R TOEFL iBT IELTS のいずれかのスコア
					日本語	総合科目	数　学	理　科	出題言語	
国際資源学部	国際資源学科	資源政策コース	面接　（日本語または英語，オンラインで実施）	6	×	×	×	×	—	○
		資源地球科学コース	面接　（日本語または英語，オンラインで実施）		×	×	×	×	—	
		資源開発環境コース	面接　（日本語または英語，オンラインで実施）		×	×	×	×	—	
教育文化学部	学校教育課程	初等中等教育コース	「実技検査（音楽・美術・体育から１）および面接」または「小論文および面接」	若干名	○	○	×	×	日本語	×
		特別支援教育コース	小論文および面接		○	○	×	×	日本語	
		こども発達コース	小論文および面接		○	○	○（コースは自由選択）	×	日本語	
	地域文化学科		小論文および面接		○	△	○（コースは自由選択）	△（2科目自由選択）	日本語	
						△から１つ選択				
医学部	医学科		数（数Ⅰ，数Ⅱ，数Ⅲ，数A，数B，数C） 英（英語コミュニケーションⅠ，Ⅱ，Ⅲ，論理・表現Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ） 面接	若干名	○	×	○（コース２）	○（2科目自由選択）	自由選択	×
	保健学科	看護学専攻 理学療法学専攻 作業療法学専攻	英（英語コミュニケーションⅠ，Ⅱ，Ⅲ，論理・表現Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ） 面接	若干名	○	×	○（コースは自由選択）	○（2科目自由選択）	自由選択	
総合環境理工学部	応用化学生物学科	生物学コース 有機・高分子化学コース 応用化学コース	面接（物理，化学，生物から受験者が選択する2科目についての基礎的な試問を含む）	8	○	×	○（コース２）	○（2科目自由選択）	自由選択	×
	環境数物科学科	数理科学・地球環境学コース	面接（数学の基礎学力に関する試問を含む）	5	○	×	○（コース２）	○（物理・化学）	自由選択	×
		機能デバイス物理コース	面接（物理の基礎学力に関する試問を含む）	4	○	×	○（コース２）	○（物理・化学）	自由選択	×
	社会システム工学科	モビリティコース	面接（数学および物理の基礎学力に関する試問を含む）	6	○	×	○（コース２）	○（物理・化学）	自由選択	×
		電気システムコース	面接（数学および物理の基礎学力に関する試問を含む）	2	○	×	○（コース２）	○（物理・化学）	自由選択	×
		社会基盤コース	面接（数学および物理の基礎学力に関する試問を含む）	2	○	×	○（コース２）	○（物理・化学）	自由選択	×
情報データ科学部	情報データ科学科		面接（数学分野に関する知識についての試問を含む）	若干名	○	×	○（コース２）	○（物理・化学）	自由選択	×

注１）○は利用する科目，△は選択科目，×は利用しない科目を表します。
　２）本学では，大学入学共通テストを課しません。
　３）国際資源学部の面接は，日本語あるいは英語のどちらでも受験することができます。
　４）日本留学試験についての照会先

日本留学試験受付センター
〒220-0004　神奈川県横浜市西区北幸2-6-26　HI横浜ビル７階　　電話　0570-55-0585※
※一部携帯電話，IP電話および海外からの電話は，045-620-7243

５．注意事項

①　学部により出願要件や試験日が違いますので，間違えないように注意してください。
②　今後，変更がある場合は秋田大学ホームページでお知らせしますので，確認してください。また，私費外国人留学生入試の詳細については，「私費外国人留学生入試学生募集要項」で必ず確認してください。

Ⅵ－２　渡日前入学許可制度による私費外国人留学生入試【総合環境理工学部】

「渡日前入学許可制度」とは，日本学生支援機構の実施する「日本留学試験」（**日本国外にて受験したもの**）の成績およびその他の出願書類（高校の成績，TOEFL等）により審査を行い，合格者の入学を許可する制度です。
この制度を利用すれば，受験者は日本で試験を受けることなく入学許可を得ることが可能となります。

１．選抜関係日程

出　願　期　間　：　令和８年（2026年）　９月　４日（金）　～　令和８年　９月１０日（木）（必着）
合格者の発表　：　令和８年（2026年）１１月　４日（水）
入学手続期間　：　令和８年（2026年）１１月２４日（火）　～　令和８年１１月２７日（金）（必着）

２．出願要件

次の（１）から（４）のすべてに該当する者
（１）日本国籍を有さず，日本国内に居住しない者
（２）次のいずれかに該当する者
　①　外国において，学校教育における12年の課程を修了した者(2027年３月31日までに修了見込みの者を含む。)またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
　②　スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者
　③　ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者
　④　フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者
　⑤　グレート・ブリテンおよび北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているGCEA資格を有する者
　⑥　アメリカ合衆国のWASCまたはACSI，もしくはグレート・ブリテンおよび北部アイルランド連合王国のCISから教育活動等に係る認定を受けた教育施設に置かれる12年の課程を修了した者（2027年３月31日までに修了見込みの者を含む。）
（３）独立行政法人日本学生支援機構が実施する2026年度（令和８年度）日本留学試験（本学が指定する教科・科目）を受験した者
（４）出入国管理および難民認定法に規定する「留学」の在留資格を有する者または取得できる者

３．選抜方法

入学者の選抜は，提出書類および日本留学試験（2026年実施の試験を利用）の結果を審査し，これをもって合否を判断します。

４．募集人員および入学者選抜の実施教科・科目等

<table>
<tr><th rowspan="2">学部</th><th rowspan="2">学　科</th><th rowspan="2">コース</th><th rowspan="2">募集人員</th><th rowspan="2">個別学力検査等</th><th colspan="5">日本留学試験の利用科目</th></tr>
<tr><th>日本語</th><th>総合科目</th><th>数　学</th><th>理　科</th><th>出題言語</th></tr>
<tr><td rowspan="7">総合環境理工学部</td><td rowspan="2">応用化学生物学科</td><td>生物学コース
有機・高分子化学コース
応用化学コース</td><td rowspan="7">若干名</td><td rowspan="7">書類審査</td><td rowspan="7">○</td><td rowspan="7">×</td><td rowspan="7">○
（コース２）</td><td>２科目自由選択</td><td rowspan="7">自由選択</td></tr>
<tr><td rowspan="2">環境数物科学科</td><td>数理科学・地球環境学コース</td><td rowspan="5">物理および化学</td></tr>
<tr><td>機能デバイス物理コース</td></tr>
<tr><td rowspan="3">社会システム工学科</td><td>モビリティコース</td></tr>
<tr><td>電気システムコース</td></tr>
<tr><td>社会基盤コース</td></tr>
</table>

注１）○は利用する科目，×は利用しない科目を表します。
　２）日本留学試験についての照会先

日本留学試験受付センター
〒220-0004　神奈川県横浜市西区北幸2-6-26　HI横浜ビル７階　　電話　0570-55-0585※
※一部携帯電話,IP電話および海外からの電話は,045-620-7243

Ⅵ－３　外国人留学生特別入試【国際資源学部】

国際資源学部では外国人留学生の受け入れを積極的に推進しています。そのため,「外国人留学生特別入試」を用意しています。

「外国人留学生特別入試」とは,日本国へ入国することなく,出願書類（英語検定試験の成績等）および面接（オンライン）により審査を行い，合格者の入学を許可する入試です。

１．選抜関係日程

出　願　期　間　：　令和８年（2026年）　８月１７日（月）　～　令和８年　９月１８日（金）（必着）
試　　験　　日　：　令和８年（2026年）１１月　５日（木）
合格者の発表　：　令和８年（2026年）１１月２０日（金）
入学手続期間　：　令和９年（2027年）　３月１５日（月）　～　令和９年　３月２２日（月）（必着）

２．出願要件

次の（１）から（３）のすべてに該当する者

（１）日本国籍を有しない者

（２）次のいずれかに該当する者

①　外国において，学校教育における12年の課程を修了した者（2027年3月31日までに修了見込みの者を含む。）またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者

②　スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者

③　ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者

④　フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者

⑤　グレート・ブリテンおよび北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているGCEA資格を有する者

⑥　アメリカ合衆国のWASCまたはACSI，もしくはグレート・ブリテンおよび北部アイルランド連合王国のCISから教育活動等に係る認定を受けた教育施設に置かれる12年の課程を修了した者（2027年3月31日までに修了見込みの者を含む。）

⑦上記以外で，文部科学大臣の認定した者（昭和23年度文部省告示第47号）

（３）出入国管理および難民認定法に規定する「留学」の在留資格を有する者または取得できる見込みの者

３．選抜方法

入学者の選抜は，出願書類（英語検定試験等）および面接（オンライン）を総合して判定します。

４．募集人員および入学者選抜の実施教科・科目等

学部	学科・コース		個別学力検査等	募集人員	TOEIC L&R，TOEFL iBT IELTS のいずれかのスコア
国際資源学部	国際資源学科	資源政策コース	面接（日本語または英語，オンラインで実施）	6	○
		資源地球科学コース	面接（日本語または英語，オンラインで実施）		
		資源開発環境コース	面接（日本語または英語，オンラインで実施）		

【参考：国費外国人留学生の優先配置特別プログラムについて】

国際資源学部の「国費外国人留学生の優先配置特別プログラム」への申請は，秋田大学国際資源学部ホームページに当該プログラムに関する詳細を掲載していますので，そちらを参照してください。

Ⅶ　秋田大学の理念と基本的な目標

基本理念

○国際的な水準の教育・研究を遂行します。
○地域の振興と地球規模の課題の解決に寄与します。
○国の内外で活躍する有為な人材を育成します。

基本的な目標

１．教育においては，質の国際通用性を高め，地域と世界の諸課題の解決に取り組む人材を育成する。
２．研究においては，地域の特性を活かした研究とグローバルな課題に対応する研究に取り組むことにより，イノベーションの創出を推進し，その成果を継続的に地域と世界に発信する。
３．社会連携においては，教育研究成果を地域社会に還元し，地域と協働した地域振興策の取組を推進するとともに，地域医療の中核的役割を担う。
４．国際化においては，資源産出国を中心とした諸外国の留学生・研究者との学術交流を推進するとともに，学生や教職員の海外留学・派遣を促進する。
５．大学経営においては，学長主導の下，学生及び教職員一人ひとりの活力を相乗的に高めた組織文化を浸透させ，透明性を確保した健全で効率的な大学経営を目指す。

『全学の入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）』

秋田大学では，２１世紀の日本ならびに国際社会において，指導的な役割を担うことができる人材の育成を目指しています。このため秋田大学は，学生が幅広い教養と深い専門性，そして高い倫理性に裏付けられた豊かな人間力を涵養できることを全学の教育目標としています。
このような目標のもと，次のような資質や意欲をもった人を，入学者として求めています。

１．学問への探求心を持ち，その発展に主体性と創造性を持って尽くしたい人
２．学士課程教育を受けるにふさわしい基礎的な知識・技能と，それらを活用して課題解決するために必要な思考力・判断力・表現力を持った人
３．地域社会や国際社会の諸課題を理解し，その解決に寄与したい人

『各学部・学科・課程等の入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）』

学部,学科,課程等の入学者受入方針（アドミッション･ポリシー）は,下記の項目によって成り立っており，入学を希望する人に求める能力や資質を具体的に示しています。

●育てる人間像と求める人物像

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

●入学者選抜の基本方針（どのような力を評価するか）

●入学者選抜方法における重点評価項目

※学力の３要素
・知識・技能
・思考力・判断力・表現力
・主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度（主体性・多様性・協働性）

【国際資源学部】

[国際資源学科]

◆育てる人間像

国際資源学部では，地球規模となった資源問題の解決を目指し，豊かな人間性と国際的視野を併せ持ち，新たな資源探査・開発技術や環境保全技術と資源・エネルギー戦略の発展・革新を担う人材を育成します。

●求める人物像

1．資源・エネルギー・環境問題への強い関心を持ち，その解決策をねばり強く，柔軟に思考・探求できる人
2．自然科学と人文社会科学の両面から資源問題を総合的に捉え，実務家，技術者，研究者として社会の発展に貢献したいという意欲を持ち，新たな課題へ立ち向かうチャレンジ精神のある人
3．国際的に通用する論理的思考力と判断力および外国語による表現力とコミュニケーション能力を身につけ，グローバルなフィールドで活躍しようとする人

≪資源政策コース≫

●求める人物像

1．資源・エネルギー・環境等の地球全体の課題に関心を持ち，持続可能な社会形成に貢献したいと思っている人
2．国際社会の様々な分野で活躍したいと考えている人
3．多様な価値観を持つ人々との交流に強い関心を持っている人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容
国　　語－多様な価値観の理解に求められるコミュニケーション能力，表現力，読解力
英　　語－国際社会で活躍するために基礎となるコミュニケーション能力，表現力，読解力
数学・理科－自然科学に対する基礎学力と論理的思考能力
地 理 歴 史－世界の文化・歴史・産業に対する関心の高さと理解力
情　　報－情報科目の理解に基づく基本的な情報活用能力

●入学者選抜の基本方針

《一般選抜（前期日程）》

十分な基礎学力を持ち，国際社会の動向に高い関心を有し，かつ日本語および外国語（英語）の文章から的確に情報を読み取る読解力と論理的表現力に優れた人を求めます。
そのため，大学入学共通テストで「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」を重点的に評価します。個別学力検査等で国語および外国語（英語）を課して「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」を重点的に評価します。調査書で「主体性・多様性・協働性」を重点的に評価します。

《一般選抜（後期日程）》

十分な基礎学力を持ち，国際社会の動向に高い関心を有し，背景となる地理および歴史の基礎知識を持ち，かつ自らの考えを論理的かつ説得力をもって展開できる人を求めます。
そのため，大学入学共通テストで「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」を重点的に評価します。また，個別学力検査等で面接を課して「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」，「主体性・多様性・協働性」を重点的に評価します。調査書は，面接で主に「主体性・多様性・協働性」を評価する際の参考資料とします。

《総合型選抜Ⅰ》

十分な基礎学力を持ち，資源問題に関わる国際社会の動向に対する興味と強い学習意欲を有し，持続可能な社会の実現に強い関心を持つ人を求めます。
そのため，小論文で「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」を重点的に評価します。面接で「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」，「主体性・多様性・協働性」を重点的に評価します。提出書類は，面接で主に「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」，「主体性・多様性・協働性」を評価する際の参考資料とします。

《学校推薦型選抜Ⅱ》

十分な基礎学力を持ち，資源問題に関わる国際社会の動向に対する興味と強い学習意欲を有し，かつ高等学校等において学業・課外活動に優れた成績を修め，豊かな人間性と創造性を備えた人を求めます。
そのため，大学入学共通テストで「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」を重点的に評価します。個別学力検査等で面接を課して「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」，「主体性・多様性・協働性」を重点的に評価します。提出書類は，面接で主に「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」，「主体性・多様性・協働性」を評価する際の参考資料とします。

●入学者選抜方法における重点評価項目

入試区分	入学者選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度（主体性・多様性・協働性）
一般選抜（前期）	大学入学共通テスト	○	○	
	個別学力検査（教科）	○	○	
	調　査　書			○
一般選抜（後期）	大学入学共通テスト	○	○	
	面　　接	○	○	○
	調　査　書			○
総合型選抜Ⅰ	小　論　文	○	○	
	面　　接	○	○	○
	自己アピール書	○	○	○
	調　査　書			○
学校推薦型選抜Ⅱ	大学入学共通テスト	○	○	
	面　　接	○	○	○
	推　薦　書	○	○	○
	調　査　書			○

≪資源地球科学コース≫

●求める人物像

1．自然現象への好奇心が強く，地球の成り立ちを解明することや新たな資源を探求することに挑戦する意欲のある人
2．物事を深く洞察し，野外調査や実験にねばり強く取り組める人
3．将来，地下資源探査・開発に関わる技術者として，または資源地球科学分野の研究者として国際的に活躍したい人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容
国　　語－文章を読む読解力，論理的な思考力，自分の考えを表現できる表現力
英　　語－英語の読解力と基礎的なコミュニケーション能力
数　　学－数学の基本的な概念の理解と計算力
地 理 歴 史－国内外で活躍するために必要な基本的な知識，教養
理　　科－物理，化学，生物，または地学分野の内容の理解と科学的探究心
情　　報－情報科目の理解に基づく基本的な情報活用能力

●入学者選抜の基本方針

《一般選抜（前期日程）》

十分な基礎学力を持ち，地球の成り立ち，地質や岩石などの地球科学に対する知的好奇心と学習意欲を有し，科学的根拠に基づいた論理的思考力および多面的なものの考え方を備えた人を求めます。
そのため，大学入学共通テストで「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」を重点的に評価します。個別学力検査等で数学，理科，外国語(英語)を課して「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」を重点的に評価します。調査書で「主体性・多様性・協働性」を重点的に評価します。

《一般選抜（後期日程）》

十分な基礎学力を持ち，地球の成り立ち，地質や岩石などの地球科学に対する知的好奇心と学習意欲を有し，かつ自らの考えを論理的かつ説得力をもって展開できる人を求めます。
そのため，大学入学共通テストで「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」を重点的に評価します。また，個別学力検査等で面接を課して「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」，「主体性・多様性・協働性」を重点的に評価します。調査書は，面接で主に「主体性・多様性・協働性」を評価する際の参考資料とします。

《総合型選抜Ⅰ》

十分な基礎学力を持ち，地球の成り立ち，地質や岩石などの地球科学に対する強い知的好奇心と学習意欲を有し，地球科学分野の貢献による資源の探索・供給に関心を持つ人を求めます。
そのため，小論文で「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」を重点的に評価します。面接で「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」，「主体性・多様性・協働性」を重点的に評価します。提出書類は，面接で

主に「知識・技能」,「思考力・判断力・表現力」,「主体性・多様性・協働性」を評価する際の参考資料とします。

《学校推薦型選抜Ⅱ》

十分な基礎学力を持ち，地球の成り立ち，地質や岩石などの地球科学に対する知的好奇心と強い学習意欲を有し，かつ高等学校等において学業・課外活動に優れた成績を修め，豊かな人間性と創造性を備えた人を求めます。

そのため，大学入学共通テストで「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」を重点的に評価します。個別学力検査等で面接を課して「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」，「主体性・多様性・協働性」を重点的に評価します。提出書類は，面接で主に「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」，「主体性・多様性・協働性」を評価する際の参考資料とします。

●入学者選抜方法における重点評価項目

入試区分	入学者選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度（主体性・多様性・協働性）
一般選抜（前期）	大学入学共通テスト	○	○	
	個別学力検査（教科）	○	○	
	調　査　書			○
一般選抜（後期）	大学入学共通テスト	○	○	
	面　　接	○	○	○
	調　査　書			○
総合型選抜Ⅰ	小　論　文	○	○	
	面　　接	○	○	○
	自己アピール書	○	○	○
	調　査　書			○
学校推薦型選抜Ⅱ	大学入学共通テスト	○	○	
	面　　接	○	○	○
	推　薦　書	○	○	○
	調　査　書			○

≪資源開発環境コース≫

●求める人物像

1．資源の探査，資源・エネルギーの生産手法，リサイクルなどに強い興味を持つ人
2．多様な観点で物事を観察し，新たな価値の創造へ果敢に挑戦する意欲を持つ人
3．自然環境と調和した技術やシステムの開発を実現し，環境に配慮した資源開発と資源循環型社会の創出に貢献したい人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容
国語・英語－国際社会で活躍するための基礎となるコミュニケーション能力，読解力，思考力，表現力
数　　学－「数学Ⅰ」,「数学Ⅱ」,「数学Ⅲ」,「数学A」,「数学B」,「数学C」における内容の理解と数学的応用力，論理的な思考力
地歴・公民－地理歴史，公民における基礎知識と世界的な視点に基づく地理，歴史，文化・制度，政治・経済などを通した考察力
理　　科－物理，化学，生物または地学分野における内容の理解と自然科学を理解するための知識の活用と思考力
情　　報－情報科目の理解に基づく基本的な情報活用能力

●入学者選抜の基本方針

《一般選抜（前期日程)》

十分な基礎学力を持ち，資源開発，地球環境問題，エネルギーやリサイクルに対する興味と学習意欲を有し，科学的根拠に基づいた論理的思考力および多面的なものの考え方を備えた人を求めます。

そのため，大学入学共通テストで「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」を重点的に評価します。個別学力検査等で数学，理科，外国語(英語)を課して「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」を重点的に評価します。調査書で「主体性・多様性・協働性」を重点的に評価します。

《一般選抜（後期日程）》

十分な基礎学力を持ち，資源開発，地球環境問題，エネルギーやリサイクルに対する興味と学習意欲，知的好奇心を有し，かつ自らの考えを論理的かつ的確に表現できる人を求めます。
そのため，大学入学共通テストで「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」を重点的に評価します。また，個別学力検査等で面接を課して「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」，「主体性・多様性・協働性」を重点的に評価します。調査書は，面接で主に「主体性・多様性・協働性」を評価する際の参考資料とします。

《総合型選抜Ⅰ》

十分な基礎学力を持ち，資源開発，地球環境問題，エネルギーやリサイクルに対する興味と強い学習意欲，資源を通じて地域や世界の持続可能な発展に強い関心を持つ人を求めます。
そのため，小論文で「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」を重点的に評価します。面接で「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」，「主体性・多様性・協働性」を重点的に評価します。提出書類は，面接で主に「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」，「主体性・多様性・協働性」を評価する際の参考資料とします。

《学校推薦型選抜Ⅱ》

十分な基礎学力を持ち，資源開発，地球環境問題，エネルギーやリサイクルに対する興味と強い学習意欲を有し，かつ高等学校等において学業・課外活動に優れた成績を修め，豊かな人間性と創造性を備えた人を求めます。
そのため，大学入学共通テストで「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」を重点的に評価します。個別学力検査等として面接を課して「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」，「主体性・多様性・協働性」を重点的に評価します。提出書類は，面接で主に「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」，「主体性・多様性・協働性」を評価する際の参考資料とします。

●入学者選抜方法における重点評価項目

入試区分	入学者選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度（主体性・多様性・協働性）
一般選抜（前期）	大学入学共通テスト	○	○	
	個別学力検査（教科）	○	○	
	調　査　書			○
一般選抜（後期）	大学入学共通テスト	○	○	
	面　　接	○	○	○
	調　査　書			○
総合型選抜Ⅰ	小　論　文	○	○	
	面　　接	○	○	○
	自己アピール書	○	○	○
	調　査　書			○
学校推薦型選抜Ⅱ	大学入学共通テスト	○	○	
	面　　接	○	○	○
	推　薦　書	○	○	○
	調　査　書			○

【教育文化学部】

◆育てる人間像

教育文化学部では人間存在をめぐる現代的課題を総合的に探究し，教員および新たな生活文化の創造を担う人材を育成します。

[学校教育課程]

●求める人物像

多様な教育的諸課題に対処できるように，豊かな人間性と専門的知識・技術，幅広い教養を基盤とする実践的な指導力を備えた教員を目指す強い意志のある人を求めています。

≪初等中等教育コース≫

●求める人物像

1．学校の教員として働こうとする強い意志のある人
2．児童・生徒に対する理解と教育に強い情熱を持つ人
3．小学校の全教科等に関する幅広い理解と一つ以上の教科（国語，社会，数学，理科，英語，家庭，音楽，美術，保健体育）における高い専門性によって，学校教育のさまざまな課題に積極的に取り組もうとする意欲のある人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容
国　　語－国語を適切に表現し的確に理解する能力，伝え合う力，思考力・想像力と，言語文化に対する関心および国語を尊重する態度
英　　語－言語や文化に対する理解と，情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする英語コミュニケーション能力
数　　学－数学の基本的な概念や原理・法則についての体系的な理解と，それらを活用し，数学的論拠に基づいて判断する態度
地歴・公民－日本および世界の歴史と生活・文化の地域的特色についての理解と，国際社会で主体的に生き平和で民主的な国家・社会を形成する公民的資質
理　　科－自然の事物・現象に対する関心や探究心と，そのために必要な科学的に探究する能力と態度，および，自然の事物・現象についての理解と科学的な自然観
保健体育・芸術－実技実践能力を養うために求められる知識，技術力や表現力
情　　報－情報に関する科学的な見方・考え方の理解と，問題の発見解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する能力，情報社会に主体的に参加するための資質・能力

●入学者選抜の基本方針

《一般選抜（前期日程）》

十分な基礎学力を持ち，学校教育を広い視野から論理的・実践的に学ぶための能力を備えた人を求めます。
そのため，大学入学共通テストで各教科内容に関連した「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」を評価し，個別学力検査等で国語，数学，英語，理科の４教科と実技検査（音楽，美術，体育）をあわせた５教科等から２教科等を課すことによって，学校教育を考え実践するための「知識・技能」および「思考力・判断力・表現力」を評価します。
また，調査書等で「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。

《一般選抜（後期日程）》

十分な基礎学力を持ち，教員として学校教育の課題に積極的に取り組むうえでの，論理的思考能力や技能を備えた人を求めます。
そのため，大学入学共通テストで各教科内容に関連した「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を評価し，個別学力検査等で小論文または実技検査（音楽・美術・体育）を課すことによって，「読解力，論理的思考能力，発想力，文章表現力，技能・表現力，教科に関する興味・関心，および主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。
また，調査書は，面接において活用します。

《学校推薦型選抜Ⅰ》

高等学校等において学業・課外活動に優れた成績を修め，論理的思考能力と保健体育分野で優れた能力を有し，豊かな人間性と教員になる強い意志を持つ人を求めます。
そのため，個別学力検査等として小論文，実技検査（体育）および面接（口頭試問を含む）を課して，主として「理解力・論理的思考能力・文章表現力，運動技能，意欲，基礎的知識，および主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。
なお，調査書および推薦書等は，実技検査（体育）および面接（口頭試問を含む）において活用します。

《学校推薦型選抜Ⅱ》

十分な基礎学力を持つとともに高等学校等において学業・課外活動に優れた成績を修め，論理的思考能力と教員になる強い意志を持つ人の内，国語，社会，数学，理科，英語，家庭，音楽，美術の分野で優れた能力を有する人を求めます。
そのため，大学入学共通テストで各教科内容に関連した「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」を評価し，個別学力検査等で「小論文および面接」または「実技検査（音楽か美術）および面接」を課すことによって，主として「教員に求められる基礎的知識とコミュニケーション能力，教育に対する情熱と意欲，技能，教科に関する興味・関心および主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。
なお，調査書および推薦書等は，実技検査（音楽・美術）および面接において活用します。

●入学者選抜方法における重点評価項目

入試区分	入学者選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力		主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度（主体性・多様性・協働性）	
			思考力・判断力	表現力	主体性	多様な人々との協働性
一般選抜（前期）	大学入学共通テスト	○	○	○		
	個別学力検査（教科）	○	○	○		
	個別学力検査（実技）	○		○	○	
	実技検査関係資料				○	○
	調　査　書				○	○
一般選抜（後期）	大学入学共通テスト	○	○	○		
	小　論　文	○	○	○	○	
	個別学力検査（実技）	○		○	○	
	面　　接				○	○
	実技検査関係資料				○	○
	調　査　書				○	○
学校推薦型選抜Ⅰ	個別学力検査（実技）	○		○	○	
	小　論　文	○	○	○	○	
	面接（口頭試問を含む）	○	○		○	○
	実技検査関係資料				○	○
	志願理由書				○	○
	推薦書・調査書				○	○
学校推薦型選抜Ⅱ	大学入学共通テスト	○	○	○		
	個別学力検査（実技）	○		○	○	
	小　論　文	○	○	○	○	
	面　　接				○	○
	推薦書・調査書				○	○

≪特別支援教育コース≫

●求める人物像

1．特別支援学校や小学校・中学校等で働くことを強く希望する人
2．障害のある子どもに対する理解と教育に強い情熱を持つ人
3．特別支援教育のさまざまな教育課題に積極的に取り組む意欲のある人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容
国　　語－国語を適切に表現し的確に理解する能力，伝え合う力，思考力・想像力と，言語文化に対する関心および国語を尊重する態度

英　　語－言語や文化に対する理解と，情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする英語コミュニケーション能力
数　　学－数学の基本的な概念や原理・法則についての体系的な理解と，それらを活用し，数学的論拠に基づいて判断する態度
地歴・公民－日本および世界の歴史と生活・文化の地域的特色についての理解と，国際社会で主体的に生き平和で民主的な国家・社会を形成する公民的資質
理　　科－自然の事物・現象に対する関心や探究心と，そのために必要な科学的に探究する能力と態度，および，自然の事物・現象についての理解と科学的な自然観
情　　報－情報に関する科学的な見方・考え方の理解と，問題の発見解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する能力，情報社会に主体的に参加するための資質・能力

●入学者選抜の基本方針

《一般選抜（前期日程）》

十分な基礎学力と読解，表現，論理的思考に十分な能力および特別支援学校や小学校・中学校等での仕事に高い関心と意欲を持つ人を求めます。
そのため，大学入学共通テストで各教科内容に関連した「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」を評価し，個別学力検査等で国語，数学，英語の３教科から２教科を課して，主として「大学での学習に必要とされる基礎的知識・技能と，言語・数理に関する読解力・表現力・論理的思考力」を評価します。
また，調査書で「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。

《一般選抜（後期日程）》

十分な基礎学力，他の人と力を合わせて課題解決にあたる能力および特別支援学校や小学校・中学校等での仕事に高い関心と意欲を持つ人を求めます。
そのため，大学入学共通テストで各教科内容に関連した「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」を評価し，個別学力検査等で小論文および面接を課して，主として「主体性を持って多様な人々と協働して物事に取り組み学ぶ態度および特別支援教育を学ぶ意欲」を評価します。
なお，調査書は，面接において活用します。

《学校推薦型選抜Ⅱ》

高等学校等において学業・課外活動に優れた成績を修め，特別支援学校や小学校・中学校等での仕事に高い関心と意欲を持つとともに，論理的思考力，読解力，表現力に優れた人を求めます。
そのため，大学入学共通テストで各教科の内容に関連した「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」を評価し，個別学力検査等で小論文と面接を課して，主として「特別支援教育コースでの学習および障害のある子どもの教育に携わる仕事に高い関心・意欲と，論理的思考力，読解力，表現力，主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。
なお，調査書および推薦書は，面接において活用します。

●入学者選抜方法における重点評価項目

入試区分	入学者選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力		主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度（主体性・多様性・協働性）	
			思考力・判断力	表現力	主体性	多様な人々との協働性
一般選抜（前期）	大学入学共通テスト	○	○	○		
	個別学力検査（教科）	○	○	○		
	調　査　書				○	○
一般選抜（後期）	大学入学共通テスト	○	○	○		
	小　論　文	○	○	○		
	面　　接				○	○
	調　査　書				○	○
学校推薦型選抜Ⅱ	大学入学共通テスト	○	○	○		
	小　論　文	○	○	○		
	面　　接	○	○	○	○	○
	推薦書・調査書				○	○

≪こども発達コース≫

●求める人物像

1．幼稚園・保育関連施設・小学校の仕事に携わることを強く希望する人
2．子どもに対する理解と教育・保育に強い情熱を持つ人
3．乳幼児期から児童期の子どもに関わるさまざまな教育・保育課題や，子どもへの発達支援に積極的に取り組もうとする意欲のある人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容
国　　語－国語を適切に表現し的確に理解する能力，伝え合う力，思考力・想像力と，言語文化に対する関心および国語を尊重する態度
英　　語－言語や文化に対する理解と，情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする英語コミュニケーション能力
数　　学－数学の基本的な概念や原理・法則についての体系的な理解と，それらを活用し，数学的論拠に基づいて判断する態度
地歴・公民－日本および世界の歴史と生活・文化の地域的特色についての理解と，国際社会で主体的に生き平和で民主的な国家・社会を形成する公民的資質
理　　科－自然の事物・現象に対する関心や探究心と，そのために必要な科学的に探究する能力と態度，および，自然の事物・現象についての理解と科学的な自然観
情　　報－情報に関する科学的な見方・考え方の理解と，問題の発見解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する能力，情報社会に主体的に参加するための資質・能力

●入学者選抜の基本方針

《一般選抜（前期日程）》

十分な基礎学力を持ち，読解，表現，論理的思考に十分な能力を有するとともに，こども発達コースでの学習および子どもに関連した教育・保育施設等でのより専門的な仕事に高い関心と意欲を持つ人を求めます。
そのため，大学入学共通テストで各教科内容に関連した「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」を評価し，個別学力検査等で国語，数学，英語の３教科から２教科を課して，主として「大学での学習に必要とされる基礎的知識・技能と，言語・数理に関する読解力・表現力・論理的思考力」を評価します。
また，調査書で「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。

《一般選抜（後期日程）》

十分な基礎学力を持ち，資料の分析と読解および自分の考えの表現に十分な能力を有するとともに，こども発達コースでの学習および子どもに関連した教育・保育施設等でのより専門的な仕事に高い関心と意欲を持つ人を求めます。
そのため，大学入学共通テストで各教科内容に関連した「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」を評価し，個別学力検査等で記述問題および面接（集団討論を含む）を課して，主として「資料の分析と読解および自分の考えを表現する能力と，こども発達コースでの学習および子どもに関連した教育・保育施設等でのより専門的な仕事に対する関心と意欲，主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。
なお，調査書は，面接において活用します。

《学校推薦型選抜Ⅱ》

高等学校等において学業・課外活動に優れた成績を修め，こども発達コースでの学習および子どもに関連した教育・保育施設での仕事に高い関心と意欲を持つとともに，論理的思考力，読解力，表現力に優れた人を求めます。
そのため，大学入学共通テストで各教科内容に関連した「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」を評価し，個別学力検査等で小論文と面接（口頭試問を含む）を課して，主として「こども発達コースでの学習および子どもに関連した教育・保育施設等での仕事に対する関心・意欲と，論理的思考力，読解力，表現力，主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。
なお，調査書および推薦書は，面接において活用します。

●入学者選抜方法における重点評価項目

入試区分	入学者選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力		主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度（主体性・多様性・協働性）	
			思考力・判断力	表現力	主体性	多様な人々との協働性
一般選抜（前期）	大学入学共通テスト	○	○	○		
	個別学力検査（教科）	○	○	○		
	調　査　書				○	○
一般選抜（後期）	大学入学共通テスト	○	○	○		
	記述問題	○	○	○		
	面接(集団討論を含む)	○	○	○	○	○
	調　査　書				○	○
学校推薦型選抜Ⅱ	大学入学共通テスト	○	○	○		
	小　論　文	○	○	○		
	面接(口頭試問を含む)	○	○	○	○	○
	推薦書・調査書				○	○

[地域文化学科]

●求める人物像

1．地域社会の将来を展望し，行政・経済・生活・文化などの各方面において地域の活性化に貢献したいという強い情熱のある人
2．地域の抱えるさまざまな問題に対して，人文・社会科学や生活科学，自然科学，情報科学，心理学の総合的な成果を踏まえて分析し，これに実践的に応えていこうという意欲のある人
3．地域の特性・伝統を理解しながら，日本および世界の歴史・文化に対しても幅広い関心を有し，学業で得た知識・経験を積極的に活用し，地域文化の継承・発展に取り組もうという意欲のある人
4．地域情報を世界に向けて発信し，世界の各地域との交流を促進しようという意欲のある人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容
国　　語－国語を適切に表現し的確に理解する能力，伝え合う力，思考力・想像力と，言語文化に対する関心および国語を尊重する態度
英　　語－言語や文化に対する理解と，情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする英語コミュニケーション能力
数　　学－数学の基本的な概念や原理・法則についての体系的な理解と，それらを活用し，数学的論拠に基づいて判断する態度
地歴・公民－日本および世界の歴史と生活・文化の地域的特色についての理解と，国際社会で主体的に生き平和で民主的な国家・社会を形成する公民的資質
理　　科－自然の事物・現象に対する関心や探究心と，そのために必要な科学的に探究する能力と態度，および，自然の事物・現象についての理解と科学的な自然観
情　　報－情報に関する科学的な見方・考え方にもとづいて，情報モラルに留意しながら問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する能力，情報社会に主体的に参画する態度

●入学者選抜の基本方針

《一般選抜（前期日程）》

高等学校等で学ぶ全科目のバランスのとれた基礎知識を有し，さらに読解力や語学力，論理的思考についてより高い能力を持つ人を求めます。
そのため，大学入学共通テストで各教科内容に関連した「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」を評価し，個別学力検査等で国語，数学，英語の３教科から２教科を課して，主として「大学での学習に必要とされる基礎的知識・技能と，言語・数理に関する読解力・表現力・論理的思考力・判断力」を評価します。
また，調査書で「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。

《一般選抜（後期日程）》

十分な基礎学力を持ち，日本語による表現力と自己の見解を論理的かつ説得力を持って展開する能力を有する人を求めます。
そのため，大学入学共通テストで各教科内容に関連した「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」を評価

し，個別学力検査等で小論文および面接を課して，主として「幅広い知識・技能に基づく論理的思考力・判断力と読解力や表現力を含む言語運用能力，主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。
なお，調査書は，面接において活用します。

《総合型選抜Ⅰ》

豊かで個性的な人間性を持ち，かつ論理的思考力や表現力を持つとともに，特に地域連携あるいは国際交流を通した地域への貢献に強い関心を持ち，行動している人を求めます。
そのため，個別学力検査等として小論文，地域連携あるいは国際交流に関するプレゼンテーションおよび面接を課して，主として「幅広い知識・技能に基づく論理的思考力・判断力と読解力や表現力を含む言語運用能力，コミュニケーション能力および地域貢献への意欲，主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。
なお，調査書等は，プレゼンテーションおよび面接において活用します。

《学校推薦型選抜Ⅱ》

豊かで個性的な人間性を持ち，高等学校等において学業・課外活動に優れた成績を修め，かつ論理的思考力や表現力を持つとともに地域貢献に強い関心を持ち，行動しているあるいはしようとする人を求めます。
そのため，大学入学共通テストで各教科内容に関連した「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を評価し，個別学力検査等で，小論文および面接を課して，主として「幅広い知識・技能に基づく論理的思考力・判断力と読解力や表現力を含む言語運用能力，コミュニケーション能力および地域貢献への意欲，主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。
なお，調査書および推薦書は，面接において活用します。

●入学者選抜方法における重点評価項目

入試区分	入学者選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力		主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度（主体性・多様性・協働性）	
			思考力・判断力	表現力	主体性	多様な人々との協働性
一般選抜（前期）	大学入学共通テスト	○	○	○		
	個別学力検査（教科）	○	○	○		
	調　査　書				○	○
一般選抜（後期）	大学入学共通テスト	○	○	○		
	小　論　文	○	○	○		
	面　　接				○	○
	調　査　書				○	○
総合型選抜Ⅰ	小　論　文	○	○	○		
	プレゼンテーション	○	○	○	○	○
	面　　接				○	○
	調　査　書				○	○
	活動内容記載書				○	○
学校推薦型選抜Ⅱ	大学入学共通テスト	○	○	○		
	小　論　文	○	○	○		
	面　　接				○	○
	推薦書・調査書				○	○

【医学部】

◆育てる人間像

医学部では，豊かな教養に支えられた人間性と高い倫理観および学問の進歩に対応しうる柔軟な適応能力と課題探求・問題解決能力を養い，医学・健康科学に対する充分な理解のもとに，人々の健康と医療・福祉に貢献できる国際的視野を備えた使命感にあふれる人材を育成します。

●求める人物像

1．病気に悩む人々の痛みや苦しみを理解し真摯な態度で接することができる人
2．医療・保健・福祉の発展を目指して一生涯にわたり医学の研鑽にたゆみない努力を継続できる人
3．素直で協調性に富み，周囲の人々と円滑な人間関係を築けるコミュニケーション能力を持つ人

[医学科]

●求める人物像

1．地域医療への理解と共感を有し，将来の医師としての強い倫理観を持ち，住民の健康・福祉に寄与できる人
2．基礎および臨床医学や社会医学の研究に深い関心を持ち，国際性を備えた研究者としての資質を有する人
3．大学入学後の学業に支障ないだけの隔たりのない基礎学力を持ち，生命科学に対する関心を持つ将来性豊かな人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容
国　　語－文化・社会の理解に求められる読解と表現に関わる幅広い基礎知識およびコミュニケーション能力
英　　語－国際社会に求められる読解と表現に関わる幅広い基礎知識およびコミュニケーション能力
数　　学－「数学Ⅰ」,「数学Ⅱ」,「数学Ⅲ」,「数学A」,「数学B」,「数学C」における内容の理解とそれらを活かせる数学的思考力
地歴・公民－将来，地域や国際社会で良識をもった人間として活躍するために必要な知識や教養
理　　科－「生物」,「化学」および「物理」の幅広い知識と科学的な探究心
情　　報－各高校の教育課程で学ぶ情報科目（例えば，「情報Ⅰ」など）の理解に基づく基本的な情報活用能力
そ　の　他－ストレスに負けない体力と精神力，周囲の人々との協調性

●入学者選抜の基本方針

《一般選抜（前期日程）》

論理的思考能力と国際性に優れ，医師としての適性を備えた学生を選抜します。特に，地域医療への理解，医学に対する知的関心と学習意欲，社会貢献への意欲を有する学生を求めます。
そのため，大学入学共通テストで「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」を評価し，個別学力検査等で英語および数学の２教科と面接を課して「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」，「主体性・多様性・協働性」，「将来性」を評価し，調査書を面接の参考資料として「主体性・多様性・協働性」「将来性」を評価します。

《一般選抜（後期日程）》

幅広い人間的視野を備え，人間性・創造性豊かな医師や医学研究者となりうる適性，資質，意欲を備えた人材を求めます。
そのため，大学入学共通テストで「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」を評価し，個別学力検査等で，小論文と面接を課して「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」，「主体性・多様性・協働性」「将来性」を評価し，調査書を面接の参考資料として「主体性・多様性・協働性」，「将来性」を評価します。
秋田県地域枠による選抜については，秋田県修学資金受給の意思，卒業後に秋田県内の公的医療機関に勤務する意欲，地域医療の充実と向上に貢献する気概と意欲を重視して選抜します。

《学校推薦型選抜Ⅱ》

高等学校等において学業その他に優れた成績を修め，感性豊かな人間性を持ち，他者に対するいたわりと共感する心を有するとともに，医療・医学への研究志向を有する知的好奇心に満ちた学生を求めます。
そのため，大学入学共通テストで「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」を評価し，個別学力検査等で，小論文と面接を課して「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」，「主体性・多様性・協働性」「将来性」を評価し，調査書を面接の参考資料として「主体性・多様性・協働性」，「将来性」を評価します。
東北地域枠による選抜については，卒業後に秋田大学医学部附属病院および秋田県内の公的医療機関に勤務する意欲，地域医療の充実と向上に貢献する気概と意欲を重視して選抜します。
秋田県地域枠による選抜については，秋田県修学資金受給の意思，卒業後に秋田県内の公的医療機関に勤務する意欲，地域医療の充実と向上に貢献する気概と意欲を重視して選抜します。

●入学者選抜方法における重点評価項目

入試区分	入学者選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度（主体性・多様性・協働性）		将来性
				関心・意欲・態度	協働性	
一般選抜（前期）	大学入学共通テスト	○	○			
	個別学力検査（教科）	○	○			
	面　　接		○	○	○	○
	調　査　書			○	○	○
一般選抜（後期）	大学入学共通テスト	○	○			
	小　論　文	○	○	○		
	面　　接		○	○	○	○
	調　査　書			○	○	○
学校推薦型選抜Ⅱ	大学入学共通テスト	○	○			
	小　論　文	○	○	○		
	面　　接		○	○	○	○
	推　薦　書			○	○	○
	調　査　書			○	○	○

［保健学科］

≪看護学専攻≫

●求める人物像

1．看護学に関する高い関心と看護職として人々の健康や生活を支えたいという意欲を持つ人
2．豊かな人間性と協調性を備え，高い倫理性を育んでいける人
3．十分な基礎学力を持ち，探究心を持って主体的に学習できる人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容
国　　語－文章の的確な理解と論理的に思考し表現する力，およびコミュニケーション能力
英　　語－読解・表現に関わる幅広い基礎知識と英語でコミュニケーションをとろうとする積極性
数　　学－数学の基本的原理・法則の理解，正確な計算力と論理的な思考力
地歴・公民－地域社会の地理的・歴史的背景や仕組みを理解する力と社会情勢の変化に対する関心
理　　科－生命現象や自然の諸現象を科学的に考察し説明する能力
情　　報－情報・情報技術の基本的な知識の理解，情報活用能力と論理的な思考力

●入学者選抜の基本方針

《一般選抜（前期日程）》

十分な基礎学力を持ち，かつ論理的に思考し，看護の実践ができる資質を備えた人を求めます。同時に国際的な視野を持ち，知的関心度が高く，かつ人間性に優れた人を求めます。
そのため，大学入学共通テストで「総合的な基礎学力」を評価し，個別学力検査等で英語と面接を課して「知識・技能」，「思考力・判断力」，「表現力」，「関心・意欲・態度」，「協調性」を評価します。
なお，調査書は面接の参考資料として評価に活用します。

《一般選抜（後期日程）》

十分な基礎学力を持ち，地域における保健医療活動への理解と共感を持ち，論理性を備え幅広い人間性を持った看護職となりうる資質と意欲を備えた人を求めます。
そのため，大学入学共通テストで「総合的な基礎学力」を評価し，個別学力検査等として小論文と面接を課して「関心・意欲・態度」「表現力」「知識」「思考力・判断力」「協調性」を評価します。

《総合型選抜Ⅱ》

看護学を学ぶために必要な基礎学力と看護職に対する興味と向上心を持ち，かつ地域社会における課題に関心がある学生を求めます。また，他者と協働しながらリーダーシップを発揮し，課題解決に向けて主体的に行動できる人を求めます。
そのため，大学入学共通テストで「総合的な基礎学力」を評価し，個別学力検査等の小論文で「思考力・判断力」，「表現力」を，面接で「思考力・判断力」，「表現力」，「関心・意欲・態度」，「協調性」を評価します。
なお，調査書と自己推薦書は面接の参考資料として評価に活用します。

●入学者選抜方法における重点評価項目

入試区分	入学者選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力		主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	
			思考力・判断力	表現力	関心・意欲・態度	協調性
一般選抜（前期）	大学入学共通テスト	○				
	個別学力検査（教科）	○	○			
	面　　接		○	○	○	○
	調　査　書				○	○
一般選抜（後期）	大学入学共通テスト	○				
	小　論　文		○	○		
	面　　接		○	○	○	○
	調　査　書				○	○
総合型選抜Ⅱ	大学入学共通テスト	○				
	小　論　文		○	○		
	面　　接		○	○	○	○
	調　査　書				○	○
	自己推薦書			○	○	

≪理学療法学専攻≫

●求める人物像

1．理学療法学に対する強い関心や学習意欲を持つ人
2．地域住民の健康増進や福祉に寄与したいとする意志と豊かな人間性を持つ人
3．グローバルな視野を持ち，科学的探究心の強い人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容
国語・英語－地域社会や国際的分野において活躍できるための基礎的なコミュニケーション能力，読解力，思考力
数　　学－数学の基本的な概念や原理・法則の理解，計算力と論理的な思考力
地歴・公民－地域や国際社会で良識を持った人間として活躍するために必要な知識や素養
理　　科－全般的な基礎知識と科学的な探究心
情　　報－情報・情報技術の基本的な知識の理解，情報活用能力と論理的な思考力

●入学者選抜の基本方針

《一般選抜（前期日程）》

十分な基礎学力を持ち，理学療法士としての適性，科学的・論理的思考能力とグローバルな視野を持った人を求めます。特に人間の理解と障害のある人への関心度の高い人を求めます。
そのため，大学入学共通テストで「総合的な基礎学力」を評価し，個別学力検査等で英語と面接を課して「知識・技能」，「思考力・判断力」，「関心・意欲・態度」，「協調性」を評価します。
なお，調査書は面接の参考資料として評価に活用します。

《一般選抜（後期日程）》

十分な基礎学力を持ち，理学療法士としての資質，意欲そして幅広い人間的視野を備えた人を求めます。
そのため，大学入学共通テストで「総合的な基礎学力」を評価し，個別学力検査等として，小論文と面接を課して「思考力・判断力」「関心・意欲・態度」「知識」「協調性」を評価します。

《総合型選抜Ⅱ》

超少子高齢社会および地域社会において，理学療法士として活躍できる有為な人材を求めます。
そのため，大学入学共通テストで「総合的な基礎学力」を評価します。個別学力検査等の小論文で「思考力・判断力」「表現力」を，面接で「思考力・判断力」「表現力」「関心・意欲・態度」「協調性」を評価します。
なお，調査書と自己推薦書は面接の参考資料として評価に活用します。

●入学者選抜方法における重点評価項目

入試区分	入学者選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力		主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	
			思考力・判断力	表現力	関心・意欲・態度	協調性
一般選抜（前期）	大学入学共通テスト	○				
	個別学力検査（教科）	○	○			
	面　　接		○	○	○	○
	調　査　書				○	○
一般選抜（後期）	大学入学共通テスト	○				
	小　論　文		○	○		
	面　　接		○	○	○	○
	調　査　書				○	○
総合型選抜Ⅱ	大学入学共通テスト	○				
	小　論　文		○	○		
	面　　接		○	○	○	○
	調　査　書				○	○
	自己推薦書			○	○	

≪作業療法学専攻≫

●求める人物像

1．作業療法学に興味・関心があり，学習意欲と論理的思考能力を持つ人
2．国際的な視野を持ち，科学的探究心の強い人
3．地域の抱える諸問題に関心があり，他者をよく理解し，細やかな配慮や行動・発言ができる人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容
国語・英語－地域社会や国際的分野において活躍できるための基礎的なコミュニケーション能力，読解力，思考力
数　　学－数学の基本的な概念や原理の理解，計算力と論理的な思考力
地歴・公民－将来，地域や国際社会で良識をもった人間として活躍するために必要な幅広い知識と教養
理　　科－全般的な基礎知識と科学的な探究心
情　　報－情報・情報技術の基本的な知識の理解，情報活用能力と論理的な思考力

●入学者選抜の基本方針

《一般選抜（前期日程）》

作業療法を学ぶために必要な，十分な基礎学力と優れたコミュニケーション能力および対人技能，国際的視野を持った人を求めます。特に，欧米や日本において発展してきた作業療法学の多様な考えかたや理論を理解する能力のある人を求めます。

そのため，大学入学共通テストで「総合的な基礎学力」を評価し，個別学力検査等で英語と面接を課して「英語の学力」，「コミュニケーション能力と対人技能」を評価します。

なお，調査書は面接の参考資料として評価に活用します。

《一般選抜（後期日程）》

十分な基礎学力と対人技能としての優れたコミュニケーション能力を持ち，作業療法士としての資質を備えた人を求めますが，特に豊かな人間性と論理的思考能力を併せ持つ人を求めます。

そのため，大学入学共通テストで「総合的な基礎学力」を評価し，個別学力検査等として，小論文と面接を課して「論理的な思考能力と対人技能としてのコミュニケーション能力」を評価します。

《総合型選抜Ⅱ》

地域が抱える諸問題に関心があり，その解決に取り組む意欲のある人を求めます。

そのため大学入学共通テストで「総合的な基礎学力」を評価し，個別学力検査等の小論文で「思考力・判断力・表現力」を，面接で「思考力・表現力・判断力」，「主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。

なお，調査書と自己推薦書は面接の参考資料として評価に活用します。

●入学者選抜方法における重点評価項目

入試区分	入学者選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力		主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	
			思考力・判断力	表現力	関心・意欲・態度	協調性
一般選抜（前期）	大学入学共通テスト	○				
	個別学力検査（教科）	○	○			
	面　　接		○	○	○	○
	調　査　書				○	○
一般選抜（後期）	大学入学共通テスト	○				
	小　論　文		○	○		
	面　　接		○	○	○	○
	調　査　書				○	○
総合型選抜Ⅱ	大学入学共通テスト	○				
	小　論　文		○	○		
	面　　接		○	○	○	○
	調　査　書				○	○
	自己推薦書			○	○	

【総合環境理工学部】

◆育てる人間像

総合環境理工学部では，理工学に関する高い専門性を身に付け，かつ，他者と共創して柔軟で総合的に課題を解決できる人，また，自然環境や環境技術について正しい知識を身に付け，高い倫理観を持ち，科学技術による環境問題の解決に貢献できる人を育成します。世界や地域で活躍できるこのような人材を輩出するために，次のような能力と意欲をもつ人を入学者として求めます。

●求める人物像

1．科学技術を学ぶために必要な基礎学力を身に付けた人
2．グリーン社会の実現に興味があり，積極的に自己学習のできる人
3．研究者や技術者として世界や地域の発展に貢献する意欲を持つ人

[応用化学生物学科]

●求める人物像

さまざまな社会の課題の解決に向けて化学と生物学を総合した科学技術を柔軟に活用できる人材を養成するために，次のような人を入学者として求めます。
1．化学と生物学のいずれかまたは両方に興味を持つ人
2．化学と生物学を基盤とした科学技術を修得し，人の健康や持続可能な社会の実現に関わる課題の解決に取り組みたい人
3．研究者や技術者として世界や地域の発展に貢献する意欲を持つ人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容（入学者選抜試験の範囲とは異なります）
数　　学－各高校の教育課程で学ぶ数学科目（例えば「数学Ⅰ」,「数学Ⅱ」,「数学Ⅲ」,「数学Ａ」,「数学Ｂ」,「数学Ｃ」など）の理解に基づく数学的思考力
理　　科－各高校の教育課程で学ぶ理科科目（例えば「物理基礎・物理」,「化学基礎・化学」,「生物基礎・生物」など）の理解に基づく科学的思考力
国語・英語・情報－国際社会で活躍する人材の素養としてのコミュニケーション能力，表現力，読解力，思考力，情報通信技術を使う能力，論理的な構成能力
そ　の　他－教養のある豊かな人間性をはぐくむために必要な，地理歴史，公民などの素養と社会事象に対する関心や探究心

●入学者選抜の基本方針

《一般選抜（前期日程）》

十分な基礎学力を持ち，希望する分野を理論的・実践的に学び，社会に貢献する意欲を持っている人を求めます。そのため，大学入学共通テストで「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」を評価します。個別学力検査等で，数学と理科（「物理基礎・物理」，「化学基礎・化学」，「生物基礎・生物」から一つ選択）の２教科を課して「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」を評価します。調査書で「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。

《一般選抜（後期日程）》

十分な基礎学力を持ち，希望する分野に対して，高い関心と旺盛な勉学意欲を持っている人を求めます。
そのため，大学入学共通テストで「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」を評価します。個別学力検査等で，数学を課して「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」を評価します。また，面接を行い「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」，「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。なお，調査書を面接の参考資料とします。

《総合型選抜Ⅰ（出願資格Ａ）》

①きらりと光る個性,②応用化学生物学科で学ぶことに強い意欲,③地域や世界の発展に強い関心，を持つ人を求めます。
そのため，小論文で「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」を評価します。面接（理科（化学基礎，生物基礎のうちから１科目を選択）の基礎学力に関する試問を含む）を行い「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」，「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。なお，提出書類を面接の参考資料とします。

《総合型選抜Ⅰ（出願資格Ｂ）》

①高校で学んだ専門性を生かした持続可能な社会の実現にむけた研究への関心，②応用化学生物学科で学ぶことに強い意欲，③地域や世界の発展に対する強い関心，を持つ人を求めます。

そのため，小論文で「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」を評価します。面接（理科（化学基礎，生物基礎のうちから１科目を選択）の基礎学力に関する試問を含む）を行い「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」，「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。なお，提出書類を面接の参考資料とします。

《学校推薦型選抜Ⅰ（女子枠）》

人の健康や持続可能な社会を実現するには，科学技術を多様な視点から見つめ，柔軟に活用し取り組む必要があります。応用化学生物学科では，十分な基礎学力を持つと共に，高等学校等において優れた学業成績を修め，①化学，生物学に対する強い勉学意欲，②持続可能な社会の実現への強い貢献意欲，③地域や世界の発展に対する強い関心，を持っている女性を求めます。

そのため，面接（理科（物理基礎，化学基礎，生物基礎のうちから２科目を選択）の基礎学力に関する試問を含む）を行い「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」，「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。

なお，面接の際には，提出書類を参考資料とします。

●入学者選抜方法における重点評価項目

入試区分	入学者選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度（主体性・多様性・協働性）
一般選抜（前期）	大学入学共通テスト	○	○	
	個別学力検査（教科）	○	○	
	調　査　書			○
一般選抜（後期）	大学入学共通テスト	○	○	
	個別学力検査（教科）	○	○	
	面　　接	○	○	○
	調　査　書			○
総合型選抜Ⅰ（出願資格Ａ）	小　論　文	○	○	
	面接（口頭試問を含む）	○	○	○
	自己アピール書		○	○
	調　査　書	○		○
総合型選抜Ⅰ（出願資格Ｂ）	小　論　文	○	○	
	面接（口頭試問を含む）	○	○	○
	自己アピール書		○	○
	調　査　書	○		○
学校推薦型選抜Ⅰ（女子枠）	面接（口頭試問を含む）	○	○	○
	志願理由書		○	○
	推薦書・調査書			○

［環境数物科学科］

●求める人物像

数学，理論物理学，地球科学，または，先端電子機器や機能材料の知識を学び，加えて，高度なデータ解析・AI技術を習得し，地球環境の課題解決やグリーン社会の実現を志す人材を養成するために，次のような人を入学者として求めます。

１．数学，物理学，地学のいずれかに興味を持つ人
２．数理科学の知識を駆使して科学の真理を明らかにするとともに地球環境などの諸課題に取り組む人や物理学を活用した新テクノロジーや新機能素材の開発によって世界と地域のイノベーションを目指す人
３．研究者や技術者として世界や地域の発展に貢献する意欲を持つ人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容（入学者選抜試験の範囲とは異なります）

数　　学－各高校の教育課程で学ぶ数学科目（例えば「数学Ⅰ」，「数学Ⅱ」，「数学Ⅲ」，「数学Ａ」，「数学Ｂ」，「数学Ｃ」など）の理解に基づく数学的思考力

理　　科－各高校の教育課程で学ぶ理科科目（例えば「物理基礎・物理」，「化学基礎・化学」，「生物基礎・生物」など）の理解に基づく科学的思考力

国語・英語・情報－国際社会で活躍する人材の素養としてのコミュニケーション能力，表現力，読解力，思考力，情報通信技術を使う能力，論理的な構成能力

そ　の　他－教養のある豊かな人間性をはぐくむために必要な，地理歴史，公民などの素養と社会事象に対する関心や探究心

●入学者選抜の基本方針

《一般選抜（前期日程）》

十分な基礎学力を持ち，希望する分野を理論的・実践的に学び，社会に貢献する意欲を持っている人を求めます。

そのため，大学入学共通テストで「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」を評価します。個別学力検査等で，数学と理科（「物理基礎・物理」，「化学基礎・化学」から一つ選択）の２教科を課して「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」を評価します。調査書で「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。

《一般選抜（後期日程）》

十分な基礎学力を持ち，希望する分野に対して，高い関心と旺盛な勉学意欲を持っている人を求めます。

そのため，大学入学共通テストで「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」を評価します。個別学力検査等で，数学を課して「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」を評価します。また，面接を行い「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」，「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。

なお，調査書を面接の参考資料とします。

●入学者選抜方法における重点評価項目

入試区分	入学者選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度（主体性・多様性・協働性）
一般選抜（前期）	大学入学共通テスト	○	○	
	個別学力検査（教科）	○	○	
	調　査　書			○
一般選抜（後期）	大学入学共通テスト	○	○	
	個別学力検査（教科）	○	○	
	面　　接	○	○	○
	調　査　書			○

≪数理科学・地球環境学コース≫

●求める人物像

1．数学，物理学，計算機科学，地球科学に興味を持ち深く学んでみたい人
2．論理的かつ客観的な視点で粘り強く考えることが好きな人
3．自然の原理や仕組みについて考えたり話したりすることを楽しく感じる人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容（入学者選抜試験の範囲とは異なります）

数　　学－各高校の教育課程で学ぶ数学科目（例えば「数学Ⅰ」，「数学Ⅱ」，「数学Ⅲ」，「数学Ａ」，「数学Ｂ」，「数学Ｃ」など）の理解に基づく数学的思考力

理　　科－各高校の教育課程で学ぶ理科科目（例えば「物理基礎・物理」，「化学基礎・化学」，「生物基礎・生物」など）の理解に基づく科学的思考力

国語・英語・情報－国際社会で活躍する人材の素養としてのコミュニケーション能力，表現力，読解力，思考力，情報通信技術を使う能力，論理的な構成能力

そ　の　他－教養のある豊かな人間性をはぐくむために必要な，地理歴史，公民などの素養と社会事象に対する関心や探究心

●入学者選抜の基本方針

《総合型選抜Ⅰ（出願資格Ａ）》

数学，物理学，計算機科学，地球科学に対する強い関心と学習意欲を持つ，人間性豊かで個性に輝く人を求めます。

そのため，小論文で「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」を評価します。面接（数学［数学Ⅰ，数学Ⅱの全項目と数学Ａは「図形の性質」および「場合の数と確率」，数学Ｂは「数列」を出題範囲とする］の基礎学力に関する試問を含む）を行い「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」，「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。

なお，提出書類を面接の参考資料とします。

《学校推薦型選抜Ⅰ（女子枠）》

①多様なものの見方・考え方，②数学，物理学，計算機科学，地球科学での幅広い学習・知識欲，③環境問題の解決，地域や世界の発展への強い関心，を持っている女性を求めます。面接（数学［数学Ⅰ，数学Ⅱの全項目と数学Aは「図形の性質」および「場合の数と確率」，数学Bは「数列」を出題範囲とする］の基礎学力に関する試問を含む）を行い「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」，「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。

なお，提出書類を面接の参考資料とします。

●入学者選抜方法における重点評価項目

入試区分	入学者選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度（主体性・多様性・協働性）
総合型選抜Ⅰ	小　論　文	○	○	
	面接（口頭試問を含む）	○	○	○
	自己アピール書		○	○
	調　査　書	○		○
学校推薦型選抜Ⅰ（女子枠）	面接（口頭試問を含む）	○	○	○
	志願理由書		○	○
	推薦書・調査書			○

≪機能デバイス物理コース≫

●求める人物像

1．数学や物理や化学が好きで，探求心が旺盛な人
2．発展する科学技術の基礎となる磁性材料，電子・光学材料，半導体材料，センサー材料，環境・新エネルギー材料に興味がある人
3．環境に調和した創意や工夫にあふれる光・電子デバイス，人にやさしく知的な情報通信機器などに興味のある人
4．最先端の機能性材料・エレクトロニクス分野において，創造性を発揮して国際的に活躍する技術者や研究者を目指す意欲のある人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容（入学者選抜試験の範囲とは異なります）
数　　学－各高校の教育課程で学ぶ数学科目（例えば「数学Ⅰ」，「数学Ⅱ」，「数学Ⅲ」，「数学A」，「数学B」，「数学C」など）の理解に基づく数学的思考力
理　　科－各高校の教育課程で学ぶ理科科目（例えば「物理基礎・物理」，「化学基礎・化学」，「生物基礎・生物」など）の理解に基づく科学的思考力
国語・英語・情報－国際社会で活躍する人材の素養としてのコミュニケーション能力，表現力，読解力，思考力，情報通信技術を使う能力，論理的な構成能力
そ　の　他－教養のある豊かな人間性をはぐくむために必要な，地理歴史，公民などの素養と社会事象に対する関心や探究心

●入学者選抜の基本方針

《総合型選抜Ⅰ（出願資格A）》

①積極的な好奇心と行動力，②機能性材料・エレクトロニクス分野での幅広い学習・知識欲，③環境問題の解決，地域や世界の発展への強い関心，を持っている人を求めます。

そのため，小論文で「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」を評価します。面接（数学［数学Ⅰ，数学Ⅱの全項目と数学Aは「図形の性質」および「場合の数と確率」，数学Bは「数列」を出題範囲とする］，理科（物理基礎，化学基礎のうちから1科目を選択）の基礎学力に関する試問を含む）を行い「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」，「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。

なお，提出書類を面接の参考資料とします。

《総合型選抜Ⅰ（出願資格B）》

①ものづくりに対する夢と情熱，②機能性材料・エレクトロニクス分野での幅広い学習・知識欲，③環境問題の解決，地域や世界の発展への強い関心，を持っている人を求めます。

そのため，小論文で「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」を評価します。面接（数学［数学Ⅰ，数学Ⅱの全項目を出題範囲とする］，理科（物理基礎，化学基礎のうちから1科目を選択）の基礎学力に関する試問を含む）を行い「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」，「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。

なお，提出書類を面接の参考資料とします。

《学校推薦型選抜Ⅰ（女子枠）》

①多様なものの見方・考え方，②機能性材料・エレクトロニクス分野での幅広い学習・知識欲，③環境問題の解決，地域や世界の発展への強い関心，を持っている女性を求めます。
そのため，面接（数学［数学Ⅰ，数学Ⅱの全項目と数学Aは「図形の性質」および「場合の数と確率」，数学Bは「数列」を出題範囲とする］，理科（物理基礎，化学基礎のうちから１科目を選択）の基礎学力に関する試問を含む）を行い「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」，「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。
なお，提出書類を面接の参考資料とします。

●入学者選抜方法における重点評価項目

入試区分	入学者選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度（主体性・多様性・協働性）
総合型選抜Ⅰ（出願資格A）	小　論　文	○	○	
	面接（口頭試問を含む）	○	○	○
	自己アピール書		○	○
	調　査　書	○		○
総合型選抜Ⅰ（出願資格B）	小　論　文	○	○	
	面接（口頭試問を含む）	○	○	○
	自己アピール書		○	○
	調　査　書	○		○
学校推薦型選抜Ⅰ（女子枠）	面接（口頭試問を含む）	○	○	○
	志願理由書		○	○
	推薦書・調査書			○

［社会システム工学科］

●求める人物像

持続可能な社会の実現に寄与できるモビリティ，電気システム，または社会基盤に関する高い専門性とそれを拡充する学際知識を身に付けた人材を養成するために，次のような人を入学者として求めます。
１．数学，物理学，化学のいずれかに興味を持つ人
２．社会の持続的発展の必要性を理解し，その実現に向けた創造的な技術開発に挑戦したい人
３．研究者や技術者として世界や地域の発展に貢献する意欲を持つ人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容（入学者選抜試験の範囲とは異なります）
数　　学－各高校の教育課程で学ぶ数学科目（例えば「数学Ⅰ」，「数学Ⅱ」，「数学Ⅲ」，「数学A」，「数学B」，「数学C」など）の理解に基づく数学的思考力
理　　科－各高校の教育課程で学ぶ理科科目（例えば「物理基礎・物理」，「化学基礎・化学」，「生物基礎・生物」など）の理解に基づく科学的思考力
国語・英語・情報－国際社会で活躍する人材の素養としてのコミュニケーション能力，表現力，読解力，思考力，情報通信技術を使う能力，論理的な構成能力
そ　の　他－教養のある豊かな人間性をはぐくむために必要な，地理歴史，公民などの素養と社会事象に対する関心や探究心

●入学者選抜の基本方針

《一般選抜（前期日程）》

十分な基礎学力を持ち，希望する分野を理論的・実践的に学び，社会に貢献する意欲を持っている人を求めます。
そのため，大学入学共通テストで「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」を評価します。個別学力検査等で，数学と理科（「物理基礎・物理」，「化学基礎・化学」から一つ選択）の２教科を課して「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」を評価します。調査書で「知識・技能」，「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。

《一般選抜（後期日程）》

十分な基礎学力を持ち，希望する分野に対して，高い関心と旺盛な勉学意欲を持っている人を求めます。
そのため，大学入学共通テストで「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」を評価します。個別学力検査等で，数学を課して「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」を評価します。また，面接を行い「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」，「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。
なお，調査書を面接の参考資料とします。

●入学者選抜方法における重点評価項目

入試区分	入学者選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度（主体性・多様性・協働性）
一般選抜（前期）	大学入学共通テスト	○	○	
	個別学力検査（教科）	○	○	
	調　査　書			○
一般選抜（後期）	大学入学共通テスト	○	○	
	個別学力検査（教科）	○	○	
	面　　接	○	○	○
	調　査　書			○

≪モビリティコース≫

●求める人物像

1．数学や物理などの自然科学の知識をベースとして工学の基礎学力を高めたい人
2．力学，制御および設計を学び，ものづくりによりエンジニアの素養を得たい人
3．輸送機械の電動化や環境にやさしい機械および再生可能エネルギー開発の分野に興味を持ち，深く学びたい人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容（入学者選抜試験の範囲とは異なります）
数　　学－各高校の教育課程で学ぶ数学科目（例えば「数学Ⅰ」，「数学Ⅱ」，「数学Ⅲ」，「数学A」，「数学B」，「数学C」など）の理解に基づく数学的思考力
理　　科－各高校の教育課程で学ぶ理科科目（例えば「物理基礎・物理」，「化学基礎・化学」，「生物基礎・生物」など）の理解に基づく科学的思考力
国語・英語・情報－国際社会で活躍する人材の素養としてのコミュニケーション能力，表現力，読解力，思考力，情報通信技術を使う能力，論理的な構成能力
そ　の　他－教養のある豊かな人間性をはぐくむために必要な，地理歴史，公民などの素養と社会事象に対する関心や探究心

●入学者選抜の基本方針

《総合型選抜Ⅰ（出願資格A）》

①きらりと光る個性，②モビリティ，機械，材料の分野について学ぶことに強い意欲，③地域や世界の発展に強い関心，を持っている人を求めます。
そのため，小論文で「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」を評価します。面接（数学［数学Ⅰ，数学Ⅱの全項目と数学Aは「図形の性質」および「場合の数と確率」，数学Bは「数列」を出題範囲とする］，理科（物理基礎）の基礎学力に関する試問を含む）を行い「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」，「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。
なお，提出書類を面接の参考資料とします。

《総合型選抜Ⅰ（出願資格B）》

①ものづくりに対する関心，②モビリティ，機械，材料の分野について学ぶことに強い意欲，③地域や世界の発展に強い関心，を持っている人を求めます。
そのため，小論文で「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」を評価します。面接（数学［数学Ⅰ，数学Ⅱの全項目を出題範囲とする］，理科（物理基礎）の基礎学力に関する試問を含む）を行い「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」，「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。

《学校推薦型選抜Ⅰ（女子枠）》

持続可能な社会を実現するには，様々な視点から課題に取り組まなければなりません。そこで，社会システム工学科モビリティコースでは，十分な基礎学力を持つと共に，高等学校等において優れた学業成績を修め，①グリーン社会の実現への強い貢献意欲，②機械工学・材料工学に対する強い勉学意欲，③世界や地域の発展に貢献するための将来展望，を持っている女性を求めます。
そのため，面接（数学［数学Ⅰ，数学Ⅱの全項目と数学Aは「図形の性質」および「場合の数と確率」，数学Bは「数列」を出題範囲とする］，理科（物理基礎）の基礎学力に関する試問を含む）を行い「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」，「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。
なお，面接の際には，提出書類を参考資料とします。

●入学者選抜方法における重点評価項目

入試区分	入学者選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度（主体性・多様性・協働性）
総合型選抜Ⅰ（出願資格Ａ）	小　論　文	○	○	
	面接（口頭試問を含む）	○	○	○
	自己アピール書		○	○
	調　査　書	○		○
総合型選抜Ⅰ（出願資格Ｂ）	小　論　文	○	○	
	面接（口頭試問を含む）	○	○	○
	自己アピール書		○	○
	調　査　書	○		○
学校推薦型選抜Ⅰ（女子枠）	面接（口頭試問を含む）	○	○	○
	志願理由書		○	○
	推薦書・調査書			○

≪電気システムコース≫

●求める人物像

1．数学や物理が好きで，ものやシステムの原理や仕組みを論理的に思考・理解しようとする人
2．脱炭素社会の実現に必要な輸送機の電動化や，再生可能エネルギーを積極的に導入したエネルギーシステムなど，環境と調和した社会システムの構築に寄与できる技術に興味のある人
3．創造性を発揮して国際的に活躍する最先端の電気システム分野の技術者や研究者を目指す意欲のある人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容（入学者選抜試験の範囲とは異なります）
数　　学－各高校の教育課程で学ぶ数学科目（例えば「数学Ⅰ」，「数学Ⅱ」，「数学Ⅲ」，「数学Ａ」，「数学Ｂ」，「数学Ｃ」など）の理解に基づく数学的思考力
理　　科－各高校の教育課程で学ぶ理科科目（例えば「物理基礎・物理」，「化学基礎・化学」，「生物基礎・生物」など）の理解に基づく科学的思考力
国語・英語・情報－国際社会で活躍する人材の素養としてのコミュニケーション能力，表現力，読解力，思考力，情報通信技術を使う能力，論理的な構成能力
そ　の　他－教養のある豊かな人間性をはぐくむために必要な，地理歴史，公民などの素養と社会事象に対する関心や探究心

●入学者選抜の基本方針

《総合型選抜Ⅰ（出願資格Ａ）》

①積極的な好奇心と行動力，②電気システム分野での幅広い学習・知識欲，③地域や世界の発展への強い関心，を持っている人を求めます。
そのため，小論文で「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」を評価します。面接（数学［数学Ⅰ，数学Ⅱの全項目と数学Ａは「図形の性質」および「場合の数と確率」，数学Ｂは「数列」を出題範囲とする］，理科（物理基礎）の基礎学力に関する試問を含む）を行い「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」，「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。
なお，提出書類を面接の参考資料とします。

《総合型選抜Ⅰ（出願資格Ｂ）》

①ものづくりに対する夢と情熱，②電気システム分野での幅広い学習・知識欲，③地域社会や国際社会に貢献する意欲，を持っている人を求めます。
そのため，小論文で「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」を評価します。面接（数学［数学Ⅰ，数学Ⅱの全項目を出題範囲とする］，理科（物理基礎）の基礎学力に関する試問を含む）を行い「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」，「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。
なお，提出書類を面接の参考資料とします。

《学校推薦型選抜Ⅰ（女子枠）》

持続可能な社会を実現するには，様々な視点から課題に取り組まなければなりません。そこで，社会システム工学科電気システムコースでは，十分な基礎学力を持つと共に，高等学校等において優れた学業成績を修め，①グリーン社会の実現への強い貢献意欲，②電気システム工学に対する強い勉学意欲，③世界や地域の発展に貢献するための将来展望，を持っている女性を求めます。
そのため，面接（数学［数学Ⅰ，数学Ⅱの全項目と数学Ａは「図形の性質」および「場合の数と確率」，数学

Bは「数列」を出題範囲とする］，理科（物理基礎）の基礎学力に関する試問を含む）を行い「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」，「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。
なお，面接の際には，提出書類を参考資料とします。

●入学者選抜方法における重点評価項目

入試区分	入学者選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度（主体性・多様性・協働性）
総合型選抜Ⅰ（出願資格Ａ）	小　論　文	○	○	
	面接（口頭試問を含む）	○	○	○
	自己アピール書		○	○
	調　査　書	○		○
総合型選抜Ⅰ（出願資格Ｂ）	小　論　文	○	○	
	面接（口頭試問を含む）	○	○	○
	自己アピール書		○	○
	調　査　書	○		○
学校推薦型選抜Ⅰ（女子枠）	面接（口頭試問を含む）	○	○	○
	志願理由書		○	○
	推薦書・調査書			○

≪社会基盤コース≫

●求める人物像

1．数学や物理などの自然科学の知識を社会基盤の整備と維持管理，ならびに発展に活かしたい人
2．すべての人が安心して生活できる社会基盤をつくるには，どうすればよいのかに興味がある人
3．自然環境と人間環境が調和した社会基盤の整備と発展に役立ちたい人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容（入学者選抜試験の範囲とは異なります）
数　　学－各高校の教育課程で学ぶ数学科目（例えば「数学Ⅰ」，「数学Ⅱ」，「数学Ⅲ」，「数学Ａ」，「数学Ｂ」，「数学Ｃ」など）の理解に基づく数学的思考力
理　　科－各高校の教育課程で学ぶ理科科目（例えば「物理基礎・物理」，「化学基礎・化学」，「生物基礎・生物」など）の理解に基づく科学的思考力
国語・英語・情報－国際社会で活躍する人材の素養としてのコミュニケーション能力，表現力，読解力，思考力，情報通信技術を使う能力，論理的な構成能力
そ　の　他－教養のある豊かな人間性をはぐくむために必要な，地理歴史，公民などの素養と社会事象に対する関心や探究心

●入学者選抜の基本方針

《総合型選抜Ⅰ（出願資格Ａ）》

①積極的な好奇心と行動力ならびに協調性，②社会基盤工学分野を学ぶことに対する強い意欲，③地域や世界の発展に強い関心，を持っている人を求めます。
そのため，小論文で「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」を評価します。面接（数学［数学Ⅰ，数学Ⅱの全項目と数学Ａは「図形の性質」および「場合の数と確率」，数学Ｂは「数列」を出題範囲とする］，理科（物理基礎）の基礎学力に関する試問を含む）を行い「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」，「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。
なお，提出書類を面接の参考資料とします。

《総合型選抜Ⅰ（出願資格Ｂ）》

①ものづくりに対する夢と情熱，②社会基盤工学分野での幅広い学習・知識欲，③地域社会や国際社会に貢献する意欲，を持っている人を求めます。
そのため，小論文で「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」を評価します。面接（数学［数学Ⅰ，数学Ⅱの全項目を出題範囲とする］，理科（物理基礎）の基礎学力に関する試問を含む）を行い「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」，「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。
なお，提出書類を面接の参考資料とします。

《学校推薦型選抜Ⅰ（女子枠）》

持続可能な社会を実現するには，様々な視点から課題に取り組まなければなりません。そこで，社会システム工学科社会基盤コースでは，十分な基礎学力を持つと共に，高等学校等において優れた学業成績を修め，①グリーン社会の実現への強い貢献意欲，②社会基盤工学に対する強い勉学意欲，③世界や地域の発展に貢献するための将来展望，を持っている女性を求めます。

そのため，面接（数学［数学Ⅰ，数学Ⅱの全項目と数学Aは「図形の性質」および「場合の数と確率」，数学Bは「数列」を出題範囲とする］，理科（物理基礎）の基礎学力に関する試問を含む）を行い「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」，「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。

なお，面接の際には，提出書類を参考資料とします。

●入学者選抜方法における重点評価項目

入試区分	入学者選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度（主体性・多様性・協働性）
総合型選抜Ⅰ（出願資格A）	小　論　文	○	○	
	面接（口頭試問を含む）	○	○	○
	自己アピール書		○	○
	調　査　書	○		○
総合型選抜Ⅰ（出願資格B）	小　論　文	○	○	
	面接（口頭試問を含む）	○	○	○
	自己アピール書		○	○
	調　査　書	○		○
学校推薦型選抜Ⅰ（女子枠）	面接（口頭試問を含む）	○	○	○
	志願理由書		○	○
	推薦書・調査書			○

【情報データ科学部】

［情報データ科学科］

◆育てる人間像

情報データ科学部では，情報学とデータサイエンスを体系的に学び，身に付けた情報技術の知識とデータ解析スキルを活用して諸課題の解決を図り，新たな価値を創造し実装することができるデジタル人材を育成します。

●求める人物像

情報データ科学部では，IoTやビッグデータ等の情報技術の知識を身に付け，統計学やAI等による高度なデータ解析能力を養い，さらに，これらを実践的に活用し新たな価値を創造することができる能力を修得し，ITエンジニアやシステムエンジニア，データサイエンティスト等として，社会の様々な分野で活躍できる「デジタル人材」の育成を目指しており，次のような人を求めています。

1．情報学・データサイエンスを学ぶために必要な数学や英語の基礎学力を身に付けている人
2．論理的に物事を考え，自身の考えを文章あるいは口頭で表現できる人
3．情報社会に深い関心と興味を持ち，社会課題の解決及び新たな価値の創造に強い意欲を持っている人
4．基本的なコミュニケーション力を備え，多様な考えや意見に耳を傾けて対話できる人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容（入学者選抜試験の範囲とは異なります。）
数　　学－各高校の教育課程で学ぶ数学科目の理解に基づく数学的思考力
理　　科－各高校の教育課程で学ぶ理科科目（例えば，「物理基礎･物理」，「化学基礎･化学」，「生物基礎･生物」，「地学基礎・地学」など）の理解に基づく科学的思考力
国語・英語－国際社会で活躍する人材の素養としてのコミュニケーション能力，表現力，読解力，思考力，論理的な構成能力
情　　報－各高校の教育課程で学ぶ情報科目（例えば，「情報Ⅰ」など）の理解に基づく基本的な情報活用能力
そ　の　他－教養のある豊かな人間性をはぐくむために必要な，地理歴史，公民などの素養と社会事象に対する関心や探求心

●入学者選抜の基本方針

《一般選抜（前期日程）》

十分な基礎学力を持ち，情報学・データサイエンスを体系的に学び，これらのデジタル技術を活用して諸課題の解決を図る新たな価値を見出し，社会の発展に貢献する高い意欲を持っている人を求めます。
そのため，大学入学共通テストで「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」を評価します。個別学力検査等で，数学と英語の２教科を課して「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」を評価します。調査書で「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。

《一般選抜（後期日程）》

十分な基礎学力を持ち，情報学・データサイエンスを体系的に学んで知識や技能を身に付け，これらを活用して諸課題を解決する新たな価値を見出し，デジタル社会の構築に貢献する高い意欲を持っている人を求めます。
そのため，大学入学共通テストで「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」を評価します。個別学力検査等で，数学を課して「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」を評価します。また，面接を行い「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」，「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。
なお，調査書を面接の参考資料とします。

《総合型選抜Ⅰ》

①情報学・データサイエンスに対する強い関心と学習意欲，②社会の変化を受容し新たなことにチャレンジする精神，③デジタル技術の活用と高度化への強い関心，を持っている人を求めます。
そのため，講義を受講した後に提出するレポートで「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」を評価します。面接（数学［数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ａの「図形の性質」および「場合の数と確率」，数学Ｂの「数列」，数学Ｃの「ベクトル」を出題範囲とする］分野に関する知識についての試問を含む）を行い「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」，「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。
なお，提出書類を面接の参考資料とします。

《総合型選抜Ⅱ》

①情報学・データサイエンスに対する強い関心と学習意欲，②社会の変化を受容し新たなことにチャレンジする精神，③デジタル技術の活用と高度化への強い関心，を持っている人を求めます。

そのため，大学入学共通テストで「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」を評価します。個別学力検査等で，面接を行い「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」，「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。

なお，提出書類を面接の参考資料とします。

●入学者選抜方法における重点評価項目

入試区分	入学者選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度（主体性・多様性・協働性）
一般選抜（前期）	大学入学共通テスト	○	○	
	個別学力検査（教科）	○	○	
	調　査　書			○
一般選抜（後期）	大学入学共通テスト	○	○	
	個別学力検査（教科）	○	○	
	面　　接	○	○	○
	調　査　書			○
総合型選抜Ⅰ	提出レポート	○	○	
	面接（口頭試問を含む）	○	○	○
	自己アピール書		○	○
	調　査　書			○
総合型選抜Ⅱ	大学入学共通テスト	○	○	
	面　　接	○	○	○
	自己アピール書		○	○
	調　査　書			○

国際バカロレア入試

【教育文化学部】

◆育てる人間像

教育文化学部では人間存在をめぐる現代的課題を総合的に探究し，教員および新たな生活文化の創造を担う人材を育成します。

[学校教育課程]

●求める人物像

多様な教育的諸課題に対処できるように，豊かな人間性と専門的知識・技術，幅広い教養を基盤とする実践的な指導力を備えた教員を目指す強い意志のある人を求めています。

《初等中等教育コース》

●求める人物像

1．学校の教員として働こうとする強い意志のある人
2．児童・生徒に対する理解と教育に強い情熱を持つ人
3．小学校の全教科等に関する幅広い理解と一つ以上の教科（国語，社会，数学，理科，英語，家庭，音楽，美術，保健体育）における高い専門性によって，学校教育のさまざまな課題に積極的に取り組もうとする意欲のある人

●入学者選抜の基本方針

日本の高等学校卒業者と同レベルの十分な基礎学力とともに,国際的視野に立って,学校教育への興味関心を持ち,論理的・実践的に学ぶ能力を備えた人を求めます。
そのため，出願書類の審査と面接試験によって「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」，「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。

《特別支援教育コース》

●求める人物像

1．特別支援学校や小学校・中学校等で働くことを強く希望する人
2．障害のある子どもに対する理解と教育に強い情熱を持つ人
3．特別支援教育のさまざまな教育課題に積極的に取り組む意欲のある人

●入学者選抜の基本方針

日本の高等学校卒業者と同レベルの十分な基礎学力を持ち，他の人と力を合わせて課題解決にあたる能力および特別支援学校や小学校・中学校等での仕事に高い関心と意欲を持つ人を求めます。
そのため，出願書類の審査と面接試験によって「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」，「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。

《こども発達コース》

●求める人物像

1．幼稚園・保育関連施設・小学校の仕事に携わることを強く希望する人
2．子どもに対する理解と教育・保育に強い情熱を持つ人
3．乳幼児期から児童期の子どもに関わるさまざまな教育・保育課題や，子どもへの発達支援に積極的に取り組もうとする意欲のある人

●入学者選抜の基本方針

日本の高等学校卒業者と同レベルの十分な基礎学力を持ち，本学部の授業科目を履修できる日本語能力を有し，将来，国際的な視野を持ちながら保育・教育に貢献できる人を求めます。
そのため，出願書類の審査と面接試験によって「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」，「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。

[地域文化学科]

●求める人物像

1．地域社会の将来を展望し，行政・経済・生活・文化などの各方面において地域の活性化に貢献したいという強い情熱のある人

2．地域の抱えるさまざまな問題に対して，人文・社会科学や生活科学，自然科学，情報科学，心理学の総合的な成果を踏まえて分析し，これに実践的に応えていこうという意欲のある人
3．地域の特性・伝統を理解しながら，日本および世界の歴史・文化に対しても幅広い関心を有し，学業で得た知識・経験を積極的に活用し，地域文化の継承・発展に取り組もうという意欲のある人
4．地域情報を世界に向けて発信し，世界の各地域との交流を促進しようという意欲のある人

●入学者選抜の基本方針

日本の高等学校卒業者と同レベルの十分な基礎学力を持ち，論理的思考力や表現力について高い能力を有し，地域への貢献に強い関心を持って行動しようとする人を求めます。
そのため，出願書類の審査と面接試験によって「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」，「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。

【総合環境理工学部】

◆育てる人間像

総合環境理工学部では，理工学に関する高い専門性を身に付け，かつ，他者と共創して柔軟で総合的に課題を解決できる人，また，自然環境や環境技術について正しい知識を身に付け，高い倫理観を持ち，科学技術による環境問題の解決に貢献できる人を育成します。世界や地域で活躍できるこのような人材を輩出するために，次のような能力と意欲をもつ人を入学者として求めます。

●求める人物像

1．科学技術を学ぶために必要な基礎学力を身に付けた人
2．グリーン社会の実現に興味があり，積極的に自己学習のできる人
3．研究者や技術者として世界や地域の発展に貢献する意欲を持つ人

［応用化学生物学科］

●求める人物像

1．化学と生物学のいずれかまたは両方に興味を持つ人
2．化学と生物学を基盤とした科学技術を修得し，人の健康や持続可能な社会の実現に関わる課題の解決に取り組みたい人
3．研究者や技術者として世界や地域の発展に貢献する意欲を持つ人

●入学者選抜の基本方針

①きらりと光る個性，②応用化学生物学科で学ぶことに強い意欲，③化学，生物学の貢献による地域や世界の発展に強い関心，を持つ人を求めます。また，国際的な視野を持ち，創造的に行動できる人を求めます。
そのため，面接を行い「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」，「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。
なお，提出書類を面接の参考資料とします。

［環境数物科学科］

《数理科学・地球環境学コース》

●求める人物像

1．数学，物理学，計算機科学，地球科学に興味を持ち深く学んでみたい人
2．論理的かつ客観的な視点で粘り強く考えることが好きな人
3．自然の原理や仕組みについて考えたり話したりすることを楽しく感じる人

●入学者選抜の基本方針

数学，物理学，計算機科学，地球科学に対する強い関心と学習意欲を持つ，人間性豊かで個性に輝く人を求めます。また，国際的な視野を持ち，創造的に行動できる人を求めます。
そのため，面接を行い「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」，「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。
なお，提出書類を面接の参考資料とします。

《機能デバイス物理コース》

●求める人物像

1．数学や物理や化学が好きで，探求心が旺盛な人

2．発展する科学技術の基礎となる磁性材料，電子・光学材料，半導体材料，センサー材料，環境・新エネルギー材料に興味がある人
3．環境に調和した創意や工夫にあふれる光・電子デバイス，人にやさしく知的な情報通信機器などに興味のある人
4．最先端の機能性材料・エレクトロニクス分野において，創造性を発揮して国際的に活躍する技術者や研究者を目指す意欲のある人

●入学者選抜の基本方針

①積極的な好奇心と行動力，②機能性材料・エレクトロニクス分野での幅広い学習・知識欲，③環境問題の解決，地域や世界の発展への強い関心，を持っている人を求めます。
そのため，面接（数学および理科（物理基礎）の基礎学力に関する試問を含む）を行い「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」，「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。
なお，提出書類を面接の参考資料とします。

[社会システム工学科]

《モビリティコース》

●求める人物像

1．数学や物理が好きで学習意欲があり，工学の基礎学力を高めたい人
2．設計，力学，制御を学び，ものづくりによりエンジニアの素養を得たい人
3．輸送機械の電動化や環境にやさしい機械および再生可能エネルギー開発の分野に興味を持ち，深く学びたい人

●入学者選抜の基本方針

①きらりと光る個性，②モビリティ，機械，材料の分野について学ぶことに強い意欲，③地域や世界の発展に強い関心，を持っている人を求めます。
そのため，面接を行い「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」，「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。
なお，提出書類を面接の参考資料とします。

《電気システムコース》

●求める人物像

1．数学や物理が好きで，ものやシステムの原理や仕組みを論理的に思考・理解しようとする人
2．脱炭素社会の実現に必要な輸送機の電動化や，再生可能エネルギーを積極的に導入したエネルギーシステムなど，環境と調和した社会システムの構築に興味のある人
3．創造性を発揮して国際的に活躍する最先端の電気システム分野の技術者や研究者を目指す意欲のある人

●入学者選抜の基本方針

①積極的な好奇心と行動力，②電気システム分野での幅広い学習・知識欲，③世界の発展への強い関心，を持っている人を求めます。また，国際的な視野を持ち，創造的に行動できる人を求めます。
そのため，面接を行い「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」，「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。
なお，提出書類を面接の参考資料とします。

《社会基盤コース》

●求める人物像

1．数学や物理などの自然科学の知識を社会基盤の整備と発展に活かしたい人
2．すべての人が安心して生活できる社会基盤をつくるには，どうすればよいのかに興味がある人
3．自然環境と人間環境が調和した社会基盤の整備と発展に役立ちたい人

●入学者選抜の基本方針

①積極的な好奇心と行動力ならびに協調性，②社会基盤工学分野を学ぶことに対する強い意欲，③地域や世界の発展に強い関心，を持っている人を求めます。
そのため，面接を行い「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」，「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。
なお，提出書類を面接の参考資料とします。

【情報データ科学部】

［情報データ科学科］

◆育てる人間像

情報データ科学部では，情報学とデータサイエンスを体系的に学び，身に付けた情報技術の知識とデータ解析スキルを活用して諸課題の解決を図り，新たな価値を創造し実装することができるデジタル人材を育成します。

●求める人物像

情報データ科学部では，IoTやビッグデータ等の情報技術の知識を身に付け，統計学やAI等による高度なデータ解析能力を養い，さらに，これらを実践的に活用し新たな価値を創造することができる能力を修得し，ITエンジニアやシステムエンジニア，データサイエンティスト等として，社会の様々な分野で活躍できる「デジタル人材」の育成を目指しており，次のような人を求めています。

１．情報学・データサイエンスを学ぶために必要な数学や英語の基礎学力を身に付けている人
２．論理的に物事を考え，自身の考えを文章あるいは口頭で表現できる人
３．情報社会に深い関心と興味を持ち，社会課題の解決及び新たな価値の創造に強い意欲を持っている人
４．基本的なコミュニケーション力を備え，多様な考えや意見に耳を傾けて対話できる人

●入学者選抜の基本方針

①情報学・データサイエンスに対する強い関心と学習意欲，②社会の変化を受容し新たなことにチャレンジする精神，③デジタル技術の活用と高度化への強い関心，を持っている人を求めます。また，国際的な視野を持ち，創造的に行動できる人を求めます。

そのため，面接を行い「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」，「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。

なお，提出書類を面接の参考資料とします。

私費外国人留学生入試

【国際資源学部】

［国際資源学科］

《資源政策コース》

●求める人物像

1．資源・エネルギー・環境等の地球全体の課題に関心を持ち，持続可能な社会形成に貢献したいと思っている人
2．国際社会の様々な分野で活躍したいと考えている人
3．多様な価値観を持つ人々との交流に強い関心を持っている人

●入学者選抜の基本方針

日本の高等学校卒業者と同等の十分な基礎学力を持ち，国際社会の動向に対する興味と学習意欲を有し，豊かな感性と国際的な広い視野で，資源分野の発展に貢献できる学生を選抜します。
そのため，面接で「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」，「主体性・多様性・協働性」を重点的に評価します。英語の検定試験で「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」を重点的に評価します。

《資源地球科学コース》

●求める人物像

1．自然現象への好奇心が強く，地球の成り立ちを解明することや新たな資源を探求することに挑戦する意欲のある人
2．物事を深く洞察し，野外調査や実験にねばり強く取り組める人
3．将来，地下資源探査・開発に関わる技術者として，または資源地球科学分野の研究者として国際的に活躍したい人

●入学者選抜の基本方針

日本の高等学校卒業者と同等の十分な基礎学力を持ち，地球の成り立ち，地質や岩石などの地球科学に対する知的好奇心と強い学習意欲を有し，豊かな感性と国際的な広い視野で，資源分野の発展に貢献できる学生を選抜します。
そのため，面接で「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」，「主体性・多様性・協働性」を重点的に評価します。英語の検定試験で「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」を重点的に評価します。

《資源開発環境コース》

●求める人物像

1．資源の探査，資源・エネルギーの生産手法，リサイクルなどに強い興味を持つ人
2．多様な観点で物事を観察し，新たな価値の創造へ果敢に挑戦する意欲を持つ人
3．自然環境と調和した技術やシステムの開発を実現し，環境に配慮した資源開発と資源循環型社会の創出に貢献したい人

●入学者選抜の基本方針

日本の高等学校卒業者と同等の十分な基礎学力を持ち，資源開発，地球環境問題，エネルギーやリサイクルに対する興味と強い学習意欲を有し，豊かな感性と国際的な広い視野で，資源分野の発展に貢献できる学生を選抜します。
そのため，面接で「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」，「主体性・多様性・協働性」を重点的に評価します。英語の検定試験で「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」を重点的に評価します。

【教育文化学部】

［学校教育課程］

《初等中等教育コース》

●求める人物像

1．学校の教員として働こうとする強い意志のある人
2．児童・生徒に対する理解と教育に強い情熱を持つ人

3．小学校の全教科等に関する幅広い理解と一つ以上の教科（国語，社会，数学，理科，英語，家庭，音楽，美術，保健体育）における高い専門性によって，学校教育のさまざまな課題に積極的に取り組もうとする意欲のある人

●入学者選抜の基本方針

日本の高等学校卒業者と同レベルの十分な基礎学力を持ち,本学部の授業科目を履修できる日本語能力を有し,将来,学校教育の分野で国際交流に貢献できる人を求めます。
そのため,日本留学試験に加え,個別学力検査等として,「実技検査（音楽・美術・体育から１）および面接」または「小論文および面接」を課して「読解力,論理的思考能力,発想力,文章表現力,および技能・表現力」を評価します。

《特別支援教育コース》

●求める人物像

1．特別支援学校や小学校・中学校等で働くことを強く希望する人
2．障害のある子どもに対する理解と教育に強い情熱を持つ人
3．特別支援教育のさまざまな教育課題に積極的に取り組む意欲のある人

●入学者選抜の基本方針

日本の高等学校卒業者と同レベルの十分な基礎学力を持ち，本学部の授業科目を履修できる日本語能力を有し，将来，学校教育の分野で国際交流に貢献できる人を求めます。
そのため，日本留学試験に加え，個別学力検査等として小論文および面接を課して「他者と協働して物事に取り組む態度および特別支援教育を学ぶ意欲」を評価します。

《こども発達コース》

●求める人物像

1．幼稚園・保育関連施設・小学校の仕事に携わることを強く希望する人
2．子どもに対する理解と教育・保育に強い情熱を持つ人
3．乳幼児期から児童期の子どもに関わるさまざまな教育・保育課題や，子どもへの発達支援に積極的に取り組もうとする意欲のある人

●入学者選抜の基本方針

日本の高等学校卒業者と同レベルの十分な基礎学力を持ち，本学部の授業科目を履修できる日本語能力を有し，将来，学校教育の分野で国際交流に貢献できる人を求めます。
そのため，日本留学試験に加え，個別学力検査等として小論文と面接を課して「こども発達コースでの学習および子どもに関連した教育・保育施設での仕事に対する関心・意欲と，論理的思考力，読解力，表現力」を評価します。

[地域文化学科]

●求める人物像

1．地域社会の将来を展望し，行政・経済・生活・文化などの各方面において地域の活性化に貢献したいという強い情熱のある人
2．地域の抱えるさまざまな問題に対して，人文・社会科学や生活科学，自然科学，情報科学，心理学の総合的な成果を踏まえて分析し，これに実践的に応えていこうという意欲のある人
3．地域の特性・伝統を理解しながら，日本および世界の歴史・文化に対しても幅広い関心を有し，学業で得た知識・経験を積極的に活用し，地域文化の継承・発展に取り組もうという意欲のある人
4．地域情報を世界に向けて発信し，世界の各地域との交流を促進しようという意欲のある人

●入学者選抜の基本方針

日本の高等学校卒業者と同レベルの十分な基礎学力と，本学部の授業科目を履修できる日本語能力を有し，将来，国際交流推進や国際化支援の分野で地域に貢献できる人を求めます。
そのため，日本留学試験に加え，個別学力検査等として，小論文および面接を課して「幅広い知識・教養に基づく論理的思考力・判断力と読解力や表現力を含む言語運用能力，コミュニケーション能力および地域貢献への意欲」を評価します。

【医学部】

［医学科］

●求める人物像

1．地域医療への理解と共感を有し，将来の医師としての強い倫理観を持ち，住民の健康・福祉に寄与できる人
2．基礎および臨床医学や社会医学の研究に深い関心を持ち，国際性を備えた研究者としての資質を有する人
3．大学入学後の学業に支障ないだけの隔たりのない基礎学力を持ち，生命科学に対する関心を持つ将来性豊かな人

●入学者選抜の基本方針

日本の高等学校卒業者と同等の十分な基礎学力を有し，本医学科の教育に耐え得る日本語能力を有し，将来の医学分野の国際交流に貢献できる学生を求めます。
そのため，日本留学試験に加え，個別学力検査等として，英語および数学の２教科と面接を課して「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」，「主体性・多様性・協調性」，「将来性」を評価します。

［保健学科］

《看護学専攻》

●求める人物像

1．看護学に関する高い関心と看護職として人々の健康や生活を支えたいという意欲を持つ人
2．豊かな人間性と協調性を備え，高い倫理性を育んでいける人
3．十分な基礎学力を持ち，探究心を持って主体的に学習できる人

●入学者選抜の基本方針

日本の高等学校卒業者と同等の十分な基礎学力を持ち，看護学専攻の教育に耐え得る日本語能力を有し，将来，看護の分野で国際交流に貢献できる学生を選抜します。
そのため，日本留学試験に加え，個別学力検査等で英語と面接を課して「知識・技能」，「思考力・判断力」，「表現力」，「関心・意欲・態度」，「協調性」を評価します。

《理学療法学専攻》

●求める人物像

1．理学療法学に対する強い関心や学習意欲を持つ人
2．地域住民の健康増進や福祉に寄与したいとする意志と豊かな人間性を持つ人
3．グローバルな視野を持ち，科学的探究心の強い人

●入学者選抜の基本方針

日本の高等学校卒業者と同等の十分な基礎学力を持ち，理学療法学専攻の教育に耐え得る日本語能力を有し，将来，保健・医療・福祉の分野で国際交流に貢献できる学生を求めます。
そのため，日本留学試験に加え，個別学力検査等で英語と面接を課して「知識・技能」，「思考力・判断力」，「関心・意欲・態度」，「協調性」を評価します。

《作業療法学専攻》

●求める人物像

1．作業療法学に興味・関心があり，学習意欲と論理的思考能力を持つ人
2．国際的な視野を持ち，科学的探究心の強い人
3．地域の抱える諸問題に関心があり，他者をよく理解し，細やかな配慮や行動・発言ができる人

●入学者選抜の基本方針

日本の高等学校卒業者と同等の十分な基礎学力と対人技能としての優れたコミュニケーション能力を持ち，作業療法学専攻の教育に耐え得る日本語能力を有し，将来，保健・医療・福祉の分野で国際交流に貢献できる学生を求めます。
そのため，日本留学試験に加え，個別学力検査等で英語と面接を課して「英語の学力」，「コミュニケーション能力と対人技能」を評価します。

【総合環境理工学部】

［応用化学生物学科］

●求める人物像

１．化学と生物学のいずれかまたは両方に興味を持つ人
２．化学と生物学を基盤とした科学技術を修得し，人の健康や持続可能な社会の実現に関わる課題の解決に取り組みたい人
３．研究者や技術者として世界や地域の発展に貢献する意欲を持つ人

●入学者選抜の基本方針

理学や工学，特に化学，生物学分野に意欲的に取り組み，国際レベルで活躍できる優秀な技術者や研究者を目指す外国人留学生を積極的に受け入れます。
そのため，日本留学試験に加え，個別学力検査等として面接（物理，化学および生物から受験者が選択する２科目についての基礎的な試問を含む）を行い「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」，「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価し選抜します。

［環境数物科学科］

《数理科学・地球環境学コース》

●求める人物像

１．数学，物理学，計算機科学，地球科学に興味を持ち深く学んでみたい人
２．論理的かつ客観的な視点で粘り強く考えることが好きな人
３．自然の原理や仕組みについて考えたり話したりすることを楽しく感じる人

●入学者選抜の基本方針

数学，物理学，計算機科学，地球科学に意欲的に取り組み，国際レベルで活躍できる優秀な科学者や研究者を目指す外国人留学生を積極的に受け入れます。
そのため，日本留学試験に加え，個別学力検査等として面接（数学の基礎学力に関する試問を含む）を行い「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」，「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価し選抜します。

《機能デバイス物理コース》

●求める人物像

１．数学や物理や化学が好きで，探求心が旺盛な人
２．発展する科学技術の基礎となる磁性材料，電子・光学材料，半導体材料，センサー材料，環境・新エネルギー材料に興味がある人
３．環境に調和した創意や工夫にあふれる光・電子デバイス，人にやさしく知的な情報通信機器などに興味のある人
４．最先端の機能性材料・エレクトロニクス分野において，創造性を発揮して国際的に活躍する技術者や研究者を目指す意欲のある人

●入学者選抜の基本方針

機能性材料・エレクトロニクス分野に興味を持ち，国際レベルで活躍できる優秀な技術者や研究者を目指す外国人留学生を積極的に受け入れます。
そのため，日本留学試験に加え，個別学力検査等として面接（物理の基礎学力に関する試問を含む）を行い「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」，「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価し選抜します。

［社会システム工学科］

《モビリティコース》

●求める人物像

１．数学や物理などの自然科学の知識をベースとして工学の基礎学力を高めたい人
２．力学，制御および設計を学び，ものづくりによりエンジニアの素養を得たい人
３．輸送機械の電動化や環境にやさしい機械および再生可能エネルギー開発の分野に興味を持ち，深く学びたい人

●入学者選抜の基本方針

日本の高等学校卒業者と同じレベルの十分な基礎学力を持ち，本コースの教育に耐え得る日本語能力を有し，モビリティ，機械，材料分野の技術に強い興味を有する，国際レベルで活躍できる優秀な技術者や研究者を目指す外国人留学生を積極的に受け入れます。

そのため，日本留学試験に加え，個別学力検査等として面接（数学および物理の基礎学力に関する試問を含む）を行い「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」，「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価し選抜します。

《電気システムコース》

●求める人物像

1．数学や物理が好きで，ものやシステムの原理や仕組みを論理的に思考・理解しようとする人
2．脱炭素社会の実現に必要な輸送機の電動化や，再生可能エネルギーを積極的に導入したエネルギーシステムなど，環境と調和した社会システムの構築に寄与できる技術に興味のある人
3．創造性を発揮して国際的に活躍する最先端の電気システム分野の技術者や研究者を目指す意欲のある人

●入学者選抜の基本方針

日本の高等学校卒業者と同じレベルの十分な基礎学力を持ち，本コースの教育に耐え得る日本語能力を有し，電気システム分野の技術に強い興味を有する，国際レベルで活躍できる優秀な技術者や研究者を目指す外国人留学生を積極的に受け入れます。

そのため，日本留学試験に加え，個別学力検査等として面接（数学および物理の基礎学力に関する試問を含む）を行い「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」，「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価し選抜します。

《社会基盤コース》

●求める人物像

1．数学や物理などの自然科学の知識を社会基盤の整備と維持管理，ならびに発展に活かしたい人
2．すべての人が安心して生活できる社会基盤をつくるには，どうすればよいのかに興味がある人
3．自然環境と人間環境が調和した社会基盤の整備と発展に役立ちたい人

●入学者選抜の基本方針

日本の高等学校卒業者と同じレベルの十分な基礎学力を持ち，本コースの教育に耐え得る日本語能力を有し，社会基盤工学分野の技術に強い興味を有する，国際レベルで活躍できる優秀な技術者や研究者を目指す外国人留学生を積極的に受け入れます。

そのため，日本留学試験に加え，個別学力検査等として面接（数学および物理の基礎学力に関する試問を含む）を行い「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」，「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価し選抜します。

【情報データ科学部】

[情報データ科学科]

●求める人物像

情報データ科学部では，IoTやビッグデータ等の情報技術の知識を身に付け，統計学やAI等による高度なデータ解析能力を養い，さらに,これらを実践的に活用し新たな価値を創造することができる能力を修得し，ITエンジニアやシステムエンジニア，データサイエンティスト等として，社会の様々な分野で活躍できる「デジタル人材」の育成を目指しており，次のような人を求めています。

1．情報学・データサイエンスを学ぶために必要な数学や英語の基礎学力を身に付けている人
2．論理的に物事を考え，自身の考えを文章あるいは口頭で表現できる人
3．情報社会に深い関心と興味を持ち，社会課題の解決及び新たな価値の創造に強い意欲を持っている人
4．基本的なコミュニケーション力を備え，多様な考えや意見に耳を傾けて対話できる人

●入学者選抜の基本方針

情報学・データサイエンスの学問分野に意欲的に取り組み，国際レベルで活躍できる優秀な技術者や研究者を目指す外国人留学生を積極的に受け入れます。

そのため，日本留学試験に加え，個別学力検査等として面接（数学分野に関する知識についての試問を含む）を行い「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」，「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価し選抜します。

Ⅷ　その他

１．配慮を必要とする入学志願者の事前相談について

病気・負傷,身体障害および発達障害等の心身の機能の障害（以下,「障害等」という。）により,受験上および修学上の配慮を必要とする可能性のある入学志願者は,出願に先立ち,「受験上および修学上の配慮を必要とする入学志願者の事前相談書」に必要事項を記入の上,医師の診断書等を添えて,下記の期限までに本学入試課に相談してください。日常生活においてごく普通に使用している補聴器,松葉杖,車椅子等を使用して受験する場合や期限後に不慮の事故等により,受験上の配慮が必要となった場合には,速やかに相談してください。

また,障害等の程度によっては,事前の準備が必要となる場合がありますので,本学への出願を迷っている場合でもあらかじめ相談いただき,進路決定等により特別措置が不要となった場合には,その旨入試課までお知らせください。

なお,事前相談の内容等が合否判定のための資料になることはありません。

○事前相談の期限

試　験　区　分　等	事前相談の期限
国際資源学部　総合型選抜Ⅰ 総合環境理工学部　総合型選抜Ⅰ 情報データ科学部　総合型選抜Ⅰ 国際バカロレア入試 国際資源学部　外国人留学生特別入試	令和８年　８月１８日（火）
医学部保健学科　総合型選抜Ⅱ	令和８年　９月２５日（金）
学校推薦型選抜Ⅰ 教育文化学部　総合型選抜Ⅰ	令和８年１０月１４日（水）
学校推薦型選抜Ⅱ 情報データ科学部　総合型選抜Ⅱ 私費外国人留学生入試（医学部以外）	令和８年１１月２５日（水）
一般選抜 私費外国人留学生入試（医学部）	令和９年　１月　８日（金）

○相談先

秋田大学入試課

〒010-8502　秋田市手形学園町１番１号

電話　018-889-2256

「受験上および修学上の配慮を必要とする入学志願者の事前相談書」は，秋田大学ホームページを参照してください。(様式がダウンロードできます。)

秋田大学ホームページ　　https://www.akita-u.ac.jp/

「入試情報 → 特別措置」

２．令和９年度秋田大学「個別の入学資格審査」について

学校教育法施行規則第150条第7号による「大学において，個別の入学資格審査により，高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で，18歳に達したもの」として本学へ出願を希望する者は，事前に本学の入学資格審査を受け，入学資格を認められた場合に限り出願できることになります。
令和９年度入試に関する入学資格審査は，次のとおり実施します。

１）個別の入学資格審査を申請できる者

本学へ入学する意志があり，令和９年３月31日までに18歳に達し，本学の指定する書類を提出できる者で，次のいずれかに該当する者

（１）高等学校に対応する学校の課程（当該課程を合わせて学校教育における 12 年の課程を有していることが認められるもの）に在学した者または在学している者
（２）上記（１）以外の者で，各種の学校等での学習歴および社会での実務経験等（資格取得を含む）が，高等学校卒業と同等以上であると客観的に確認できる者

２）申請受付期限

（１）一般選抜	令和８年 12 月 11 日（金）（必着）
国際資源学部総合型選抜Ⅰ	令和８年　８月　７日（金）（必着）
教育文化学部総合型選抜Ⅰ	令和８年 10 月　５日（月）（必着）
総合環境理工学部総合型選抜Ⅰ（出願資格Ａ）	令和８年　８月　７日（金）（必着）
情報データ科学部総合型選抜Ⅰ	令和８年　８月　７日（金）（必着）
医学部保健学科総合型選抜Ⅱ	令和８年　９月 18 日（金）（必着）
情報データ科学部総合型選抜Ⅱ	令和８年 11 月 20 日（金）（必着）

ただし，大学入学共通テスト出願のための申請は，令和８年８月 20 日（木）（必着）とします。

（２）大学入学共通テスト受験後に，審査を申請する場合
令和９年１月 18 日（月）～ 20 日（水）（必着）

３）申請書類

審査を希望する者は,秋田大学入学資格認定申請書［別紙様式］に次の各号の区分毎に掲げる書類を添えて，本学に申請してください。

（１）上記１）の（１）による申請者
ア　修業年限および学年・学期に関する事項が記載された書類
イ　課程の組織に関する事項が記載された書類
ウ　教育課程および授業日数に関する事項が記載された書類
エ　学習の評価および教育課程修了の認定に関する事項が記載された書類
オ　入学および卒業に関する事項が記載された書類
カ　当該申請者に係る教科・科目の履修状況の証明書

（２）上記１）の（２）による申請者
ア　学校教育における９年の課程修了後の公的な教育施設における学習歴を証明する書類
イ　社会での実務経験等（資格取得を含む）が高等学校卒業と同等以上であることを客観的に確認できる書類

４）審査方法

申請書類により審査を行いますが，申請書類の不備や疑義等がある場合は，期間を定めて当該申請書類の補正を求め，それが満たされないときは審査を拒否することがあります。

５）審査基準

（１）上記１）の（１）による申請者については，当該学校の教育内容等が高等学校学習指導要領に準じているかを精査し，高等学校と同等以上であるかを審査します。
（２）上記１）の（２）による申請者は,学習歴および社会での実務経験等（資格取得を含む）について精査し，高等学校を卒業した者と同等以上の学力があるかを審査します。

６）認　定

審査の結果，入学資格を認める場合は，申請者に対して秋田大学入学資格認定書を交付します。
入学資格を認めない場合は，申請者に対してその理由を付して通知します。

７）認定の取消

申請者が高等学校に対応する学校の課程の修了見込みまたは学習歴もしくは実務経験等の終了見込みで申請した場合であって，その要件が満たされない場合は，入学資格認定を取り消します。

８）申請書類の提出方法および提出先・照会先

申請書類を郵送する場合は，簡易書留郵便とし封筒のおもて面に「入学資格認定申請書在中」と朱書きしてください。また，返信用封筒（長形３号，簡易書留速達料金760円分の切手を貼付し，あて先を明記したもの）を同封してください。（持参の場合も返信用封筒を提出してください。）
なお，審査を申請するに当たっては，事前に次に照会願います。

〒010-8502　秋田市手形学園町１番１号
秋田大学入試課（電話 018-889-2256）

○別紙様式（A4判）

秋田大学入学資格認定申請書

令和　　年　　月　　日

秋田大学長　殿

(ふりがな)
申請者氏名　　（ 男・女 ）
(自署)

生年月日　　年　　月　　日生

私は，令和９年度秋田大学入学者選抜試験を受験したいので，必要書類を添えて入学資格の認定を申請します。

記

出願希望学部　：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

申請者 住 所　：〒＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

電 話 番 号　：＿＿＿＿（　　）＿＿＿＿

３．検定料免除について

秋田大学では，災害救助法が適用される自然災害により被災した方が,経済的理由により大学進学を断念することがないよう,検定料について免除措置を行います。詳細については,秋田大学ホームページ（https://www.akita-u.ac.jp/）「入試情報→検定料免除」で確認してください。

４．一般選抜における入試過去問題の使用について

○　本学のアドミッション・ポリシーを実現するため，必要と認める範囲で「入試過去問題活用宣言」に参加している大学の入試過去問題を使用して出題することがあります。

○　入試過去問題を使用する際は，そのまま使用することも，一部改変することもあります。
また，使用した過去問題については，入試終了後，受験者にわかるような形で公表します。

５．学生募集要項の公表・請求方法

（１）学生募集要項の公表

秋田大学ホームページで公表しますので，ダウンロードまたは閲覧してください。

公表の時期

一般選抜学生募集要項	令和８年１１月下旬
学校推薦型選抜学生募集要項	令和８年　９月下旬
総合型選抜学生募集要項	学部によって時期が異なるのでホームページで確認してください。（６月～９月頃）
私費外国人留学生入試学生募集要項	令和８年　９月下旬
国際バカロレア入試	学部によって時期が異なるのでホームページで確認してください。（６月～９月頃）

なお，一般選抜，学校推薦型選抜および総合型選抜については，インターネット出願となります。

（２）請求方法

◆テレメールで請求する場合

１）本学ホームページからの請求

詳しくは，秋田大学ホームページ（https://www.akita-u.ac.jp/）「入試情報→資料請求」をご覧ください。

２）インターネットでの請求

①下記の方法でテレメールにアクセスしてください。

Ｕ　Ｒ　Ｌ　　https://telemail.jp

資料請求はこちら（資料請求番号の入力不要）▶

②請求を希望する資料請求番号（６桁）を入力してください。
なお，一般選抜学生募集要項はテレメールの印刷・発送サービスでのみ冊子（紙媒体）の請求が可能です。

資　　料　　名	資料請求番号	料金（予定）
入学案内	５６０９９２	215円
一般選抜学生募集要項	５８０９５２	330円
一般選抜学生募集要項・入学案内	５４０９５２	400円
国際資源学部総合型選抜Ⅰ-案内-	９５３１１２	180円
情報データ科学部総合型選抜入試案内	７０９４４２	180円
私費外国人留学生入試願書・入学案内	５８０９８２	250円
国際資源学部案内	５４８８４２	180円
教育文化学部案内	５６０９６２	180円
医学部保健学科案内	５８０９７２	180円
総合環境理工学部案内	５６０９７２	180円
情報データ科学部案内	７０９１２２	180円

※医学部医学科案内は冊子配布を行いません。完成後に本学ホームページにて公開します。

③ガイダンスに従って登録してください。

注意事項

1．16 時までの受付は当日発送，16 時以降の受付は翌日発送となります。ただし，発送開始日前に請求された資料は予約受付となり，発送開始日に一斉に発送します。なお，発送開始日は変更になる場合があります。

2．通常は発送日のおおむね３～５日後にお届けできます。ただし，土曜・日曜・祝日の配達はありません。また，資料を請求する曜日やお届け先地域，郵便事情によってはお届けに１週間以上要する場合があります。あらかじめご了承ください。

3．資料は個別に発送されます。複数の資料を同時に請求された場合，お届け日が異なることがあります。
4．一般選抜募集要項の受付期間は 2027 年１月 28 日（木）正午までです。
5．発行部数に限りがありますので，早期終了する資料もあります。お早めにご請求ください。
6．資料請求受付終了時および受付確認メール内に表示される 10 桁の「受付番号」は，資料到着まで保管しておいてください。
7．随時発送の資料が１週間以上経っても届かない場合は，テレメールカスタマーセンターまでお問い合わせください。予約受付の資料が発送開始日を１週間過ぎても届かない場合，資料の完成遅れや在庫不足等の理由により発送開始日が変更になっていることがあります。なお，土曜・日曜・祝日の配達は通常ありませんのでお急ぎでない場合は翌配達日のお届けを確認した上で，お問い合わせください。
8．資料の料金は，お届けする資料に同封の料金支払い用紙をご確認の上，資料到着後２週間以内に表示料金をお支払いください。なお，料金は資料の重量により変更になる場合があります。
9．料金のお支払い方法は「PayPay」「携帯キャリア払い」「クレジットカード払い」「コンビニ支払い」「スマホアプリの請求書支払い（PayPay 請求書払い，au PAY 請求書支払い）」がご利用になれます。PayPay，携帯キャリア払い，クレジットカード払いはテレメールお支払いサイト利用料 30 円が，コンビニ支払いとスマホアプリの請求書支払いは支払い手数料 118 円が，支払い時に別途必要です。

お問い合わせ先
テレメールカスタマーセンター　　ＩＰ電話　050-8601-0102　（9：30 ～ 18：00）

◆モバっちょで請求する場合

インターネット（携帯電話・スマートフォン・パソコン）を利用してください。

Ｕ　Ｒ　Ｌ　　https://djc-mb.jp/akita-u3/

ＱＲコード

お問い合わせ先
モバっちょカスタマーセンター　　電　話　050-3540-5005　（平日 10：00 ～ 18：00）

◆直接来訪する場合

秋田大学入試課の窓口で配付します（8:30 ～ 17:00）
ただし，土曜日，日曜日，祝日，８月 13 日～ 19 日および 12 月 29 日～１月３日は，窓口配付を行いません。

資料の請求先および出願等に関する照会先
秋田大学入試課
〒 010-8502　秋田市手形学園町１番１号
電　話　018-889-2256
ＵＲＬ　https://www.akita-u.ac.jp/admission/

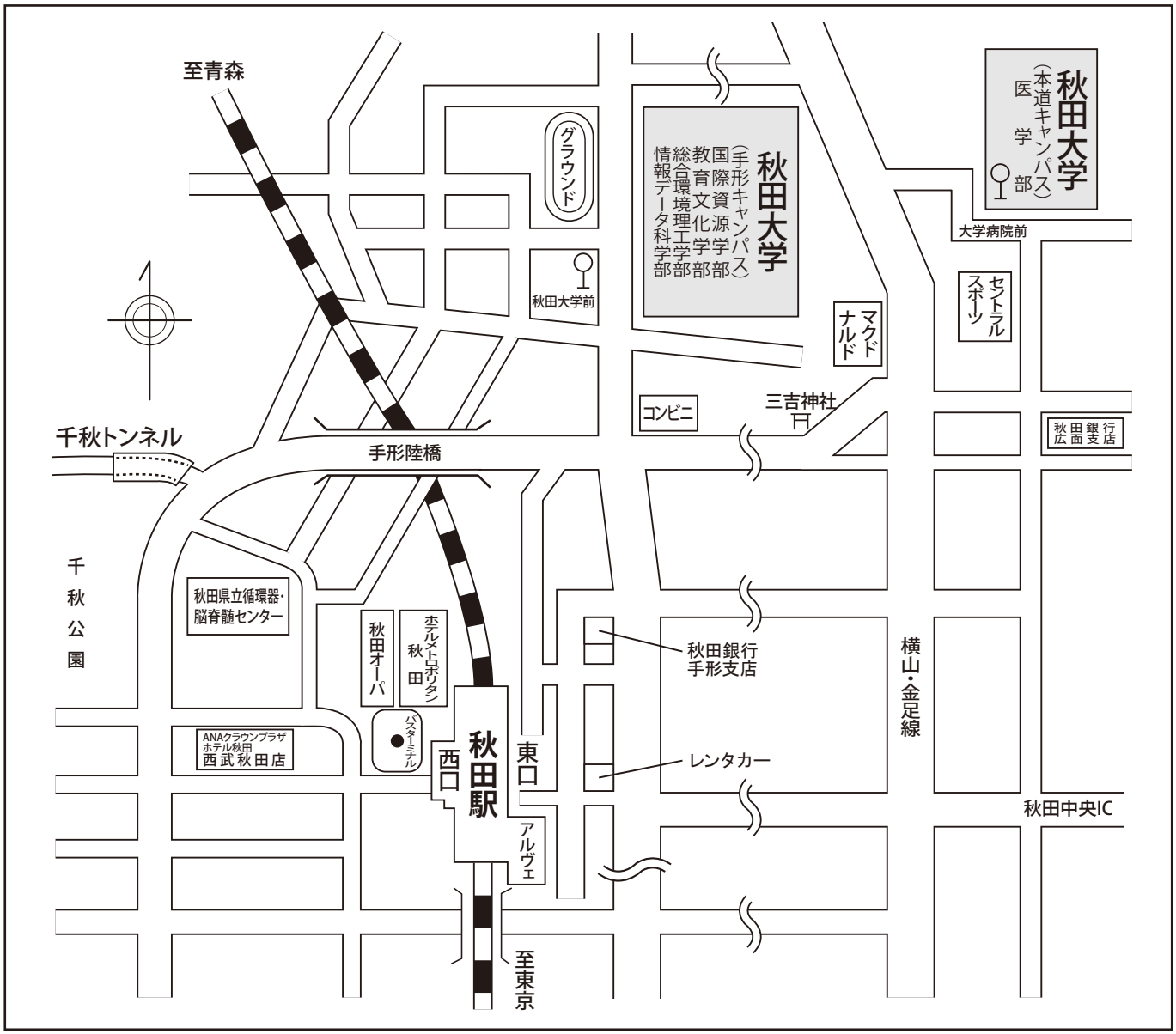
秋田大学受験生ポータルサイトＱＲコード

◆ＬＩＮＥで請求する場合

LINE アプリをインストールしたスマートフォンから請求してください。

ＱＲコード

６．大学の案内図



国際資源学部
教育文化学部
総合環境理工学部
情報データ科学部　の交通案内

●秋田駅西口バスのりば 12番から
秋田中央交通バス　手形山大学病院線

秋田大学前下車　徒歩１分

●秋田駅東口から秋田大学手形キャンパスまで
徒歩15分（約1.3km）

医　学　部　の交通案内

●秋田駅西口バスのりば12番から
秋田中央交通バス　手形山大学病院線

●秋田駅西口バスのりば11番から
秋田中央交通バス　太平線，松崎団地線，
赤沼線

●秋田駅東口バスのりば２番から
秋田中央交通バス　赤沼線

各線とも大学病院前下車　徒歩約５分

秋田大学入試課
〒010-8502 秋田市手形学園町１番１号
TEL:018-889-2256　FAX:018-835-9924
URL https://www.akita-u.ac.jp/